

## 第2章 県民の自己像

### 1. 自己及び家族に対する意識（問1）

#### （1）人と人とのつながり（問1-1）

10年前の沖縄に比べて、人と人とのつながりは強まったと思うかについては、「弱まった」(45.7%)の割合が最も高く、次いで「変わらない」(24.6%)、「わからない」(23.7%)、「10年前より強まった」(4.5%)となっている。

過去3回の調査と比較すると、「弱まった」との回答は最も高く、「10年前より強まった」との回答が最も低い。

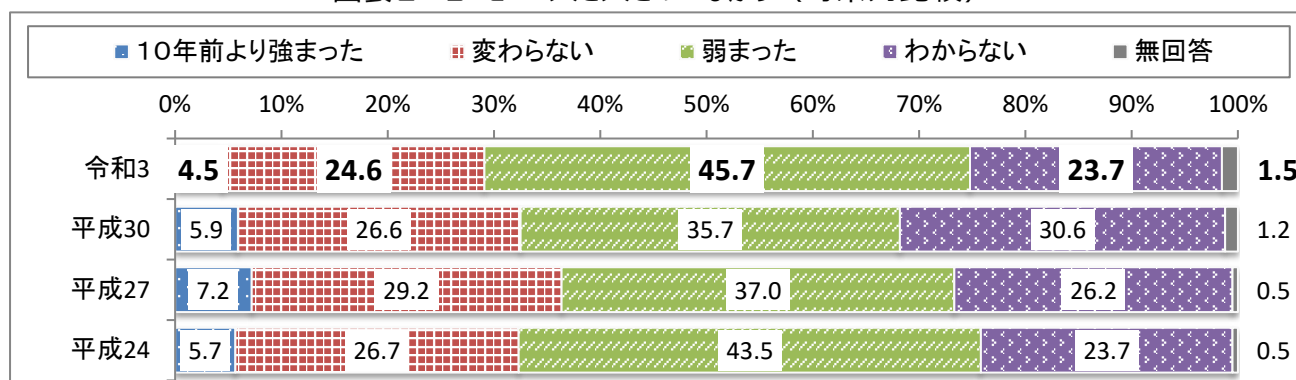
地域別にみると、「10年前より強まった」の割合は八重山(5.5%)で、「変わらない」の割合は北部(31.0%)で、「弱まった」の割合は中部(47.2%)や南部(46.6%)、那覇市(46.4%)で他の地域に比べて高い。

年代別にみると、「わからない」の割合は10代の若年層では5割を超えるが、年齢が高まるとともに低下し、代わって「変わらない」、「弱まった」と具体的に判断する人の割合が高まっている。また、20代以上の年代で「弱まった」の割合が最も高い。

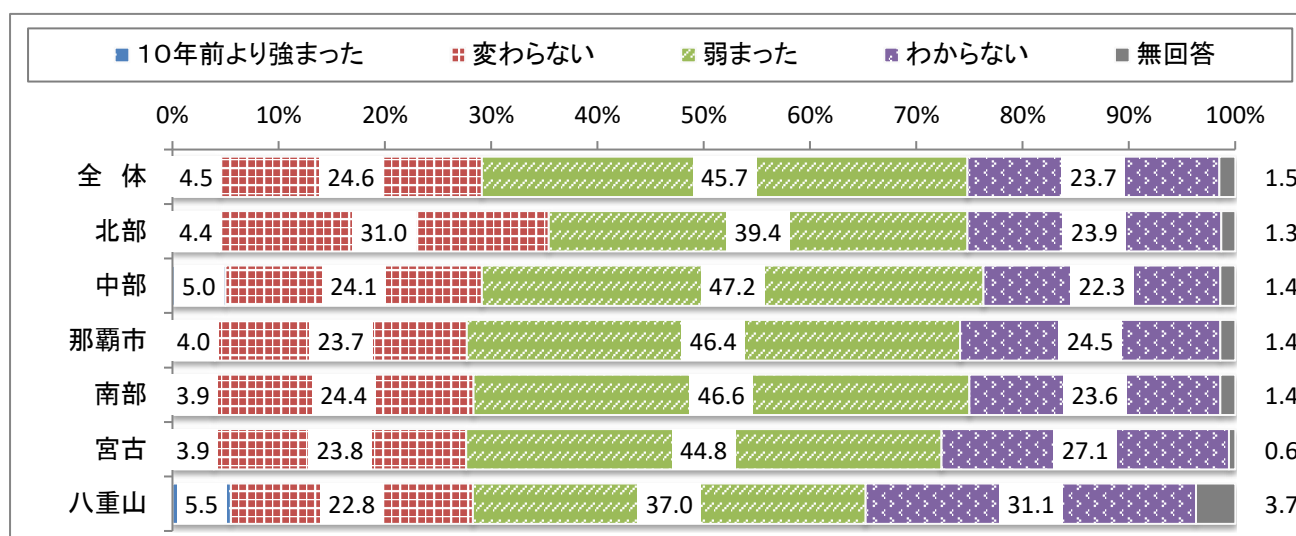
性別にみると、男女とも「弱まった」の割合が最も高く、男性(43.2%)よりも女性(47.8%)で高い。

世帯年収別にみると、「弱まった」の割合は年収100万円以上の所得層で4割半ばから5割強となっており、年収600～700万円未満(52.9%)で特に高くなっている。

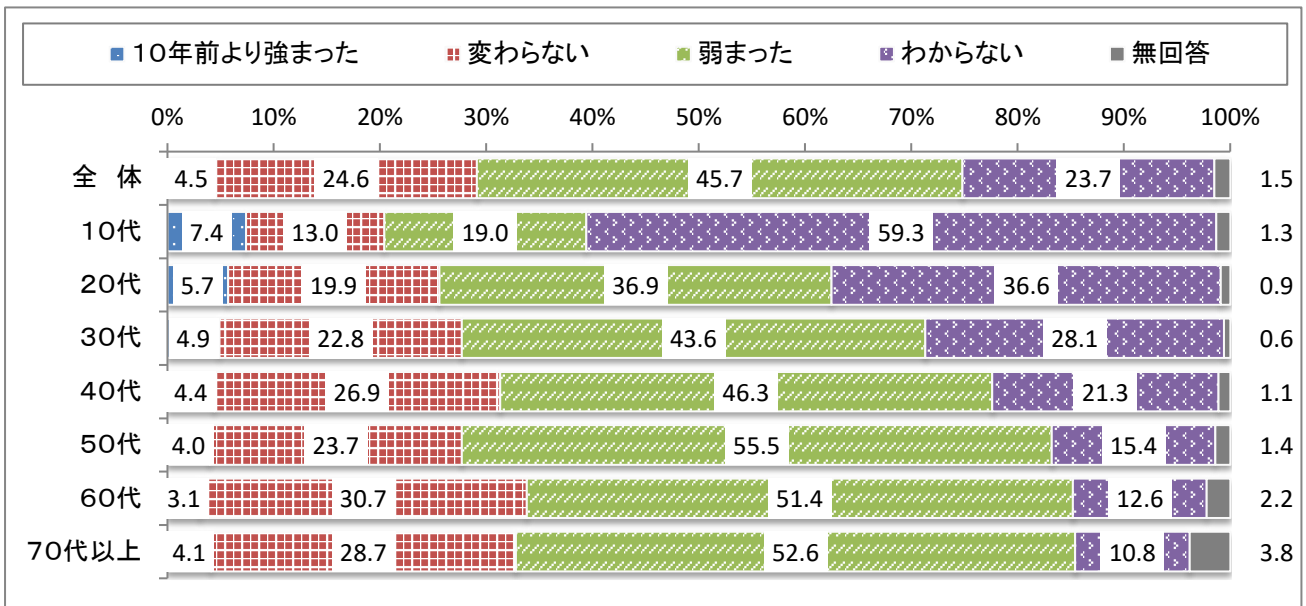
図表Ⅱ-2-1 人と人とのつながり（時系列比較）



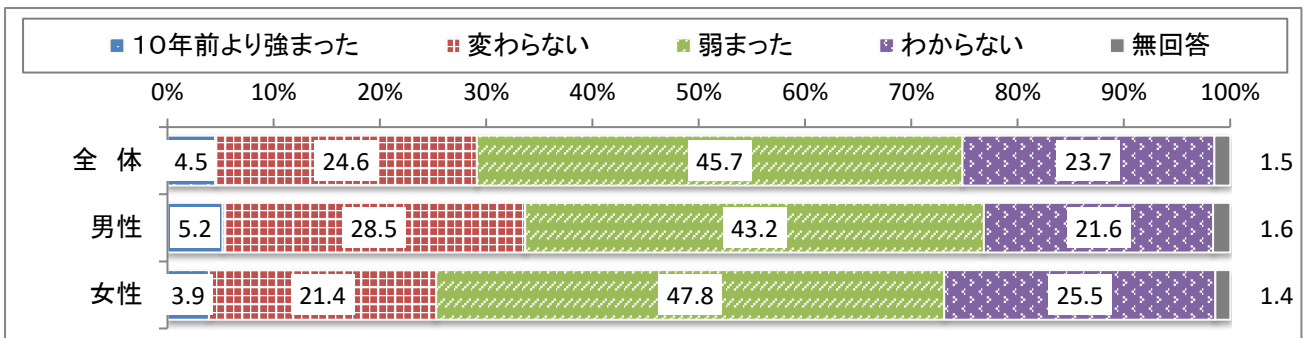
図表Ⅱ-2-2 人と人とのつながり（地域別）



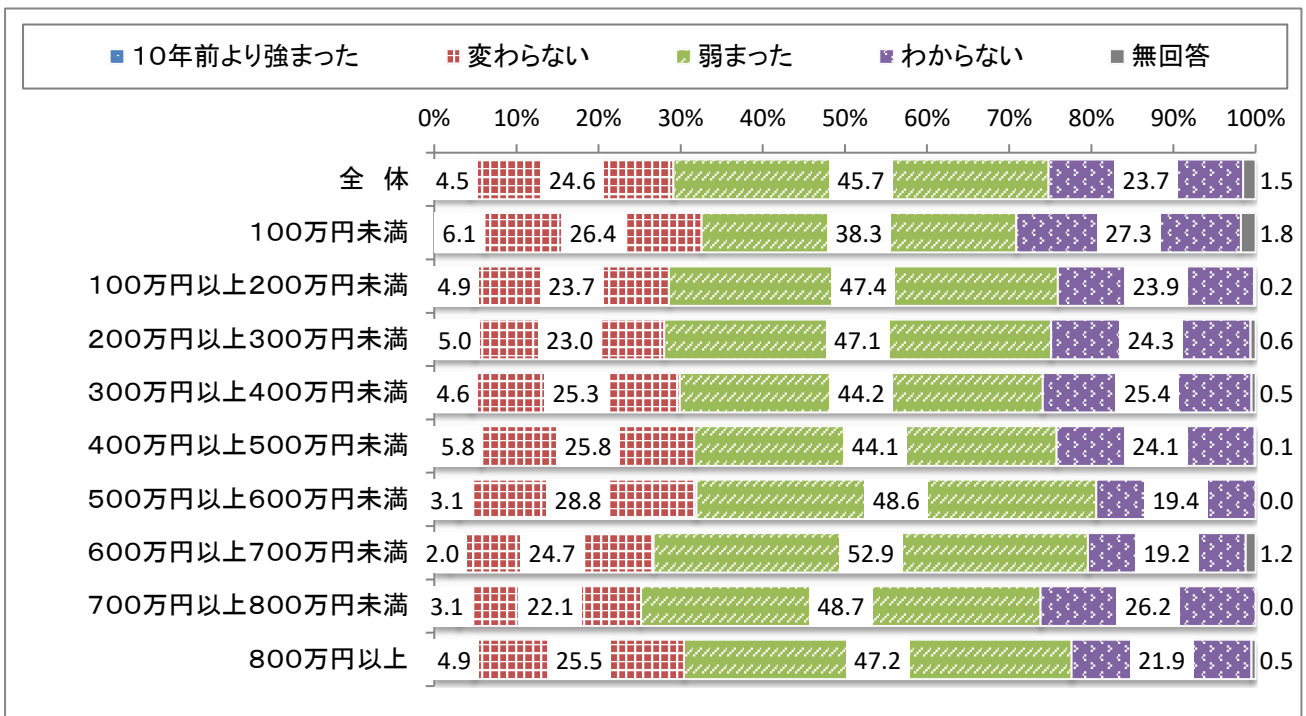
図表Ⅱ-2-3 人と人とのつながり（年代別）



図表Ⅱ-2-4 人と人とのつながり（性別）



図表Ⅱ-2-5 人と人とのつながり（世帯年収別）



## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

### (2) 20年先の沖縄 (問1-2)

20年先の沖縄は現在よりも発展し、輝いているかについては、「今より発展し、輝いている」(35.8%)の割合が最も高く、次いで「今とあまり変わらない」(26.2%)、「そうは思わない」(20.5%)、「わからない」(16.3%)となっている。

平成30年度調査と比較すると、「そうは思わない」との回答は増加し、「わからない」と回答を保留にする人が減っている。

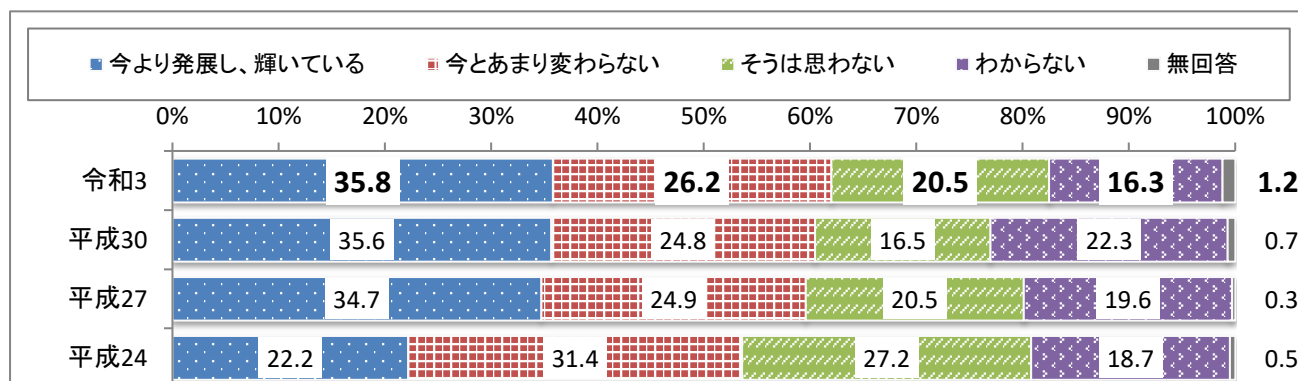
地域別にみると、「今より発展し、輝いている」の割合が那覇市(38.8%)、中部(37.1%)で、「今とあまり変わらない」の割合は八重山(32.0%)、「わからない」の割合は宮古(22.7%)で他の地域に比べて高い。

年代別にみると、「今より発展し、輝いている」の割合は、10代・20代の若年層では4割を超えるが、年齢が高まるとともに低下し、「今とあまり変わらない」と「そうは思わない」の割合が高まっている。

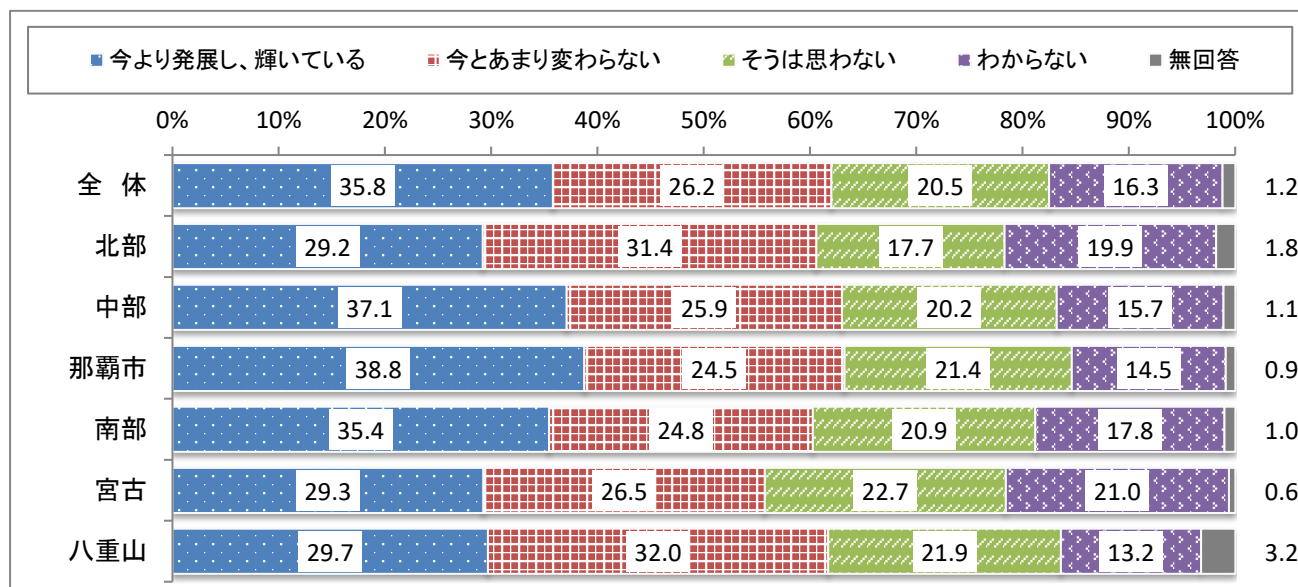
性別でみると、男女とも「今より発展し、輝いている」の割合が3割以上と最も高いが、女性が男性より高い。

世帯年収別にみると、「今より発展し、輝いている」の割合は年収500万円以上600万円未満(46.6%)が特に高く、次いで800万円以上(43.8%)の高所得者層が高い。

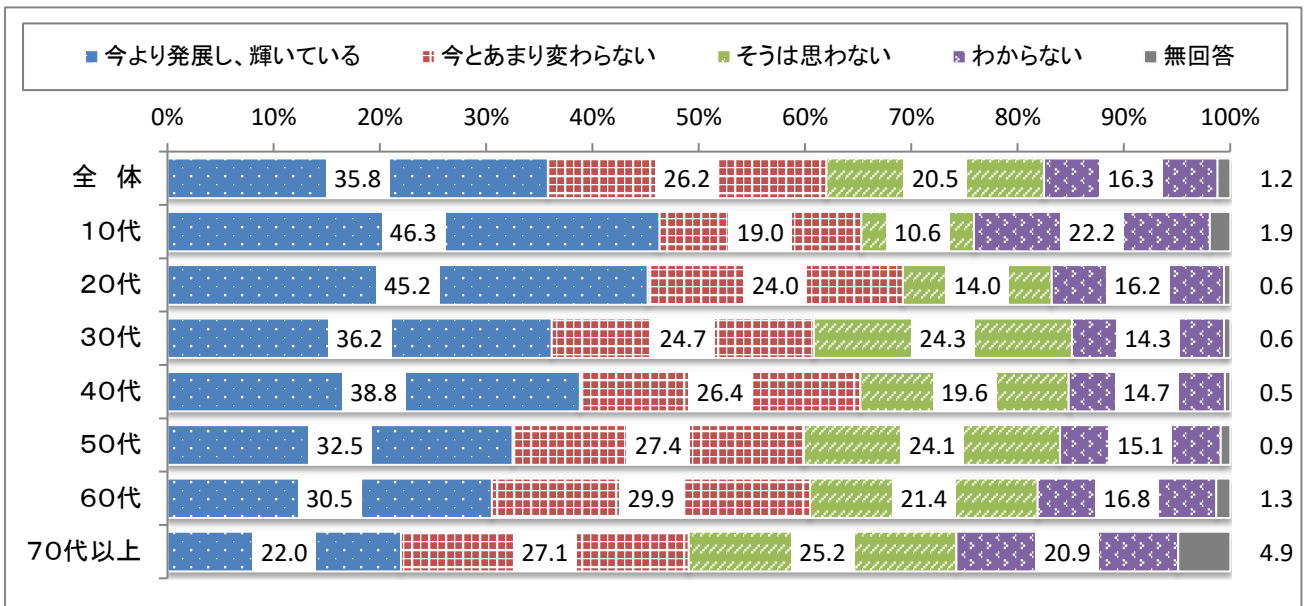
図表Ⅱ-2-6 20年先の沖縄 (時系列比較)



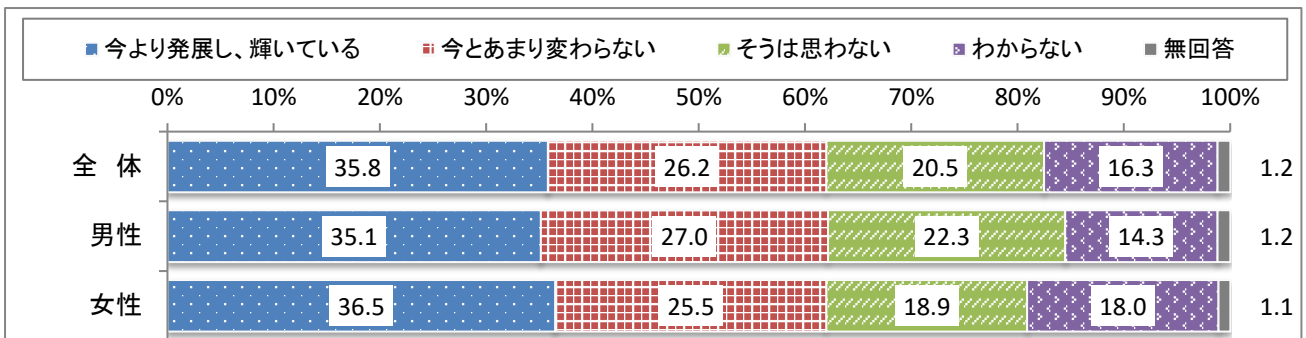
図表Ⅱ-2-7 20年先の沖縄 (地域別)



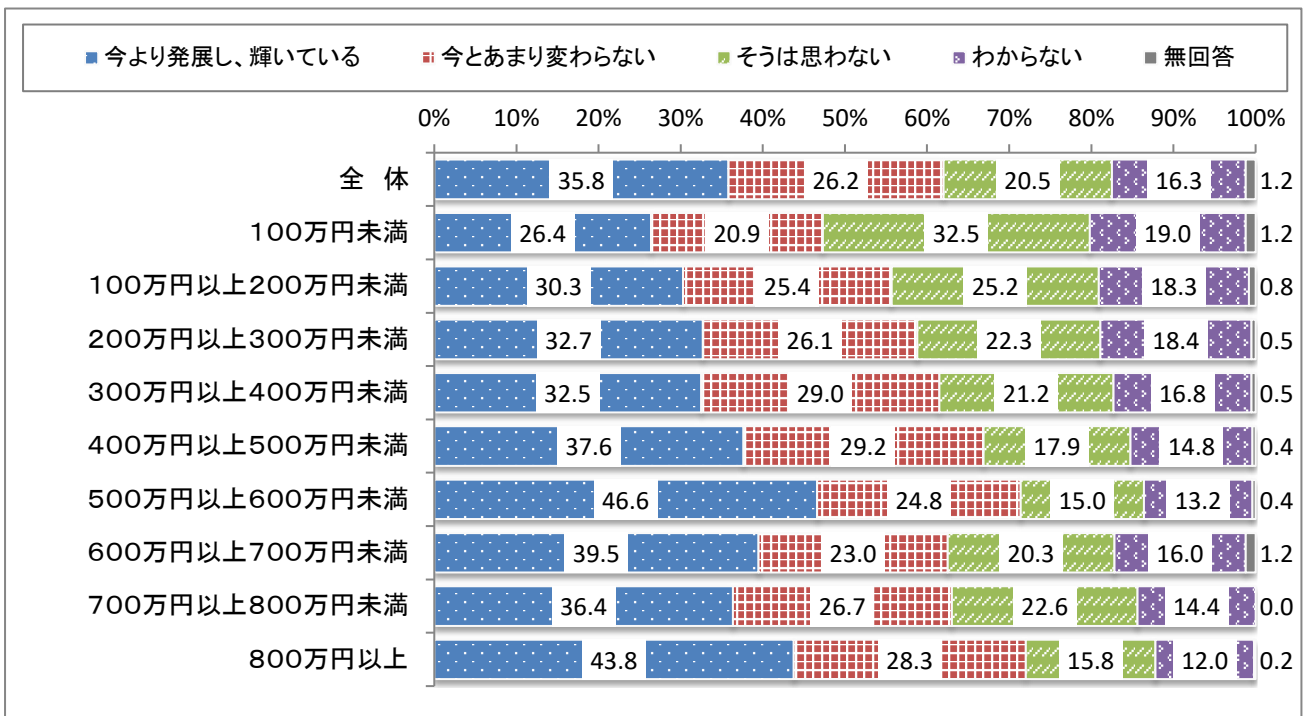
図表Ⅱ-2-8 20年先の沖縄（年代別）



図表Ⅱ-2-9 20年先の沖縄（性別）



図表Ⅱ-2-10 20年先の沖縄（世帯年収別）



## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

### (3) 努力すれば人生は変わるか (問1-3)

努力すれば人生は変わるかについては、「そう思う」(46.1%)の割合が最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」(44.0%)、「どちらかと言えばそうは思わない」(5.5%)、「そうは思わない」(3.6%)となっている。

過去3回の調査と比較すると、「そう思う」(46.1%)との回答は減少し、「どちらかと言えばそうは思わない」(5.5%)でも減少している。

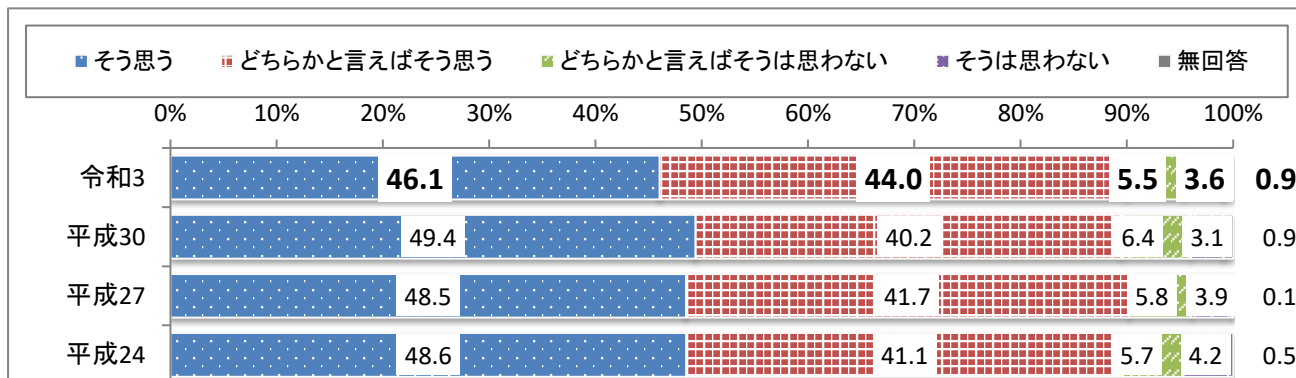
地域別にみると、「そう思う」の割合が中部(48.8%)で最も高く、次いで宮古(47.0%)と続く。「どちらかと言えばそうは思わない」の割合は北部(6.2%)、南部(5.8%)で高くなっている。

年代別にみると、「そう思う」の割合は10代(54.5%)が最も高く、50代(40.5%)の割合が最も低い。「そうは思わない」の割合は50代以上(5.3%)が最も高い。

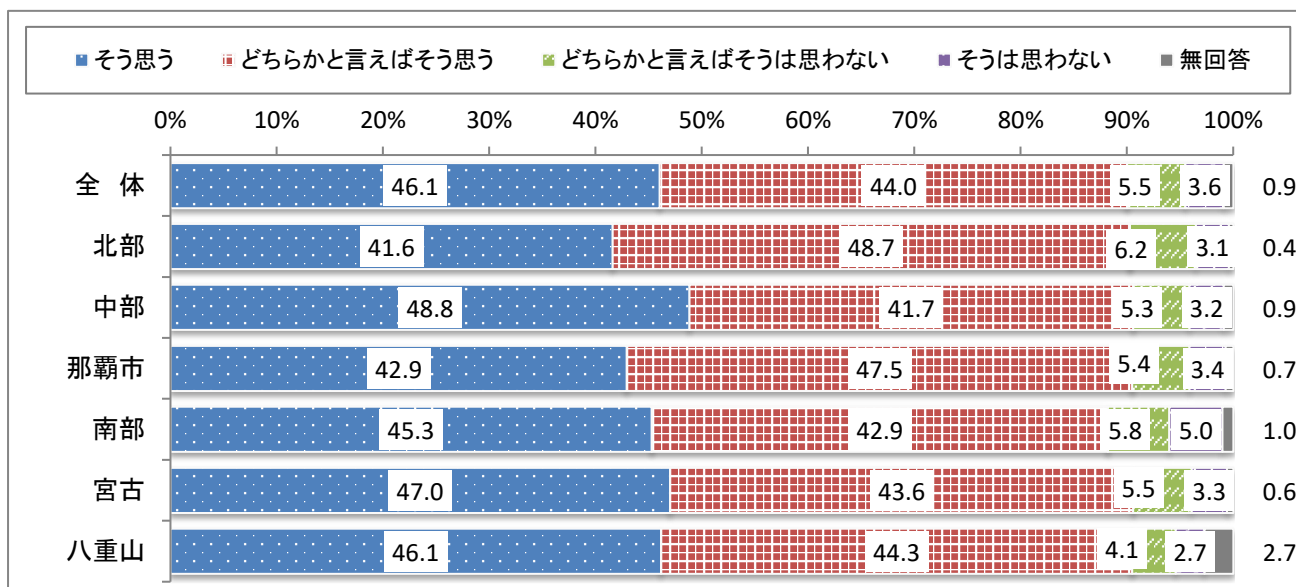
性別でみると、男女とも「そう思う」の割合が5割弱と高いが、「そうは思わない」の割合は男性(4.8%)が女性(2.5%)より高い。

世帯年収別にみると、「そう思う」の割合は年収800万円以上が6割弱と高い。100万円未満は「どちらかと言えばそうは思わない」(10.4%)、「そうは思わない」(8.0%)が他の世帯年収よりも高くなっている。

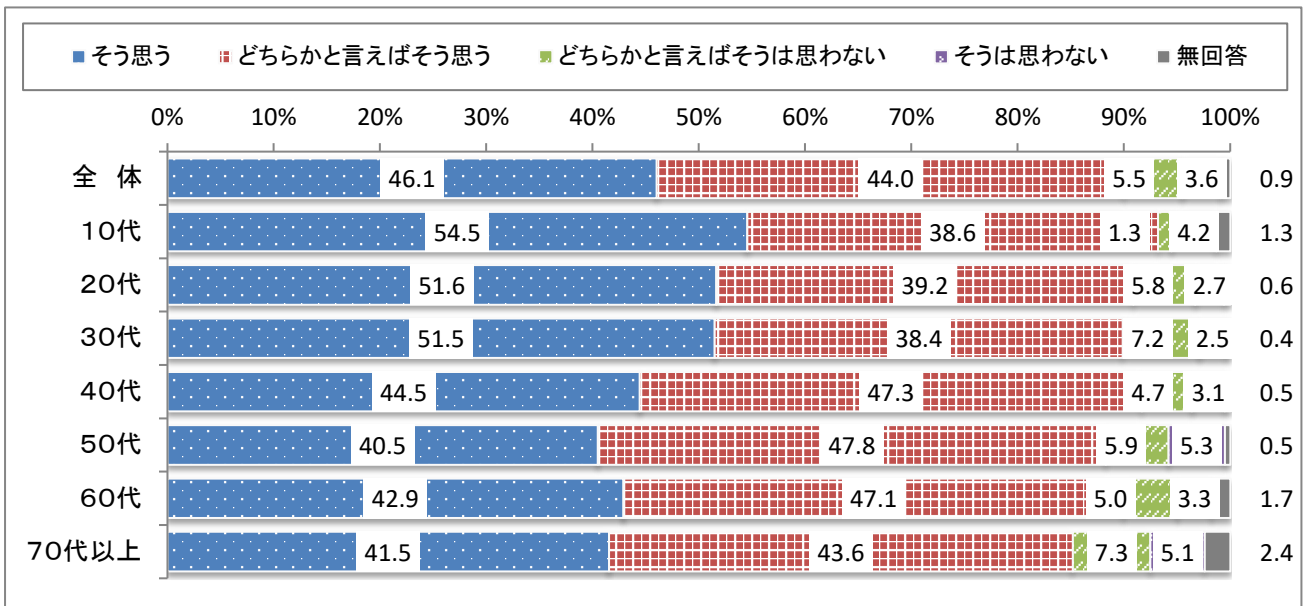
図表Ⅱ-2-11 努力すれば人生は変わるか (時系列比較)



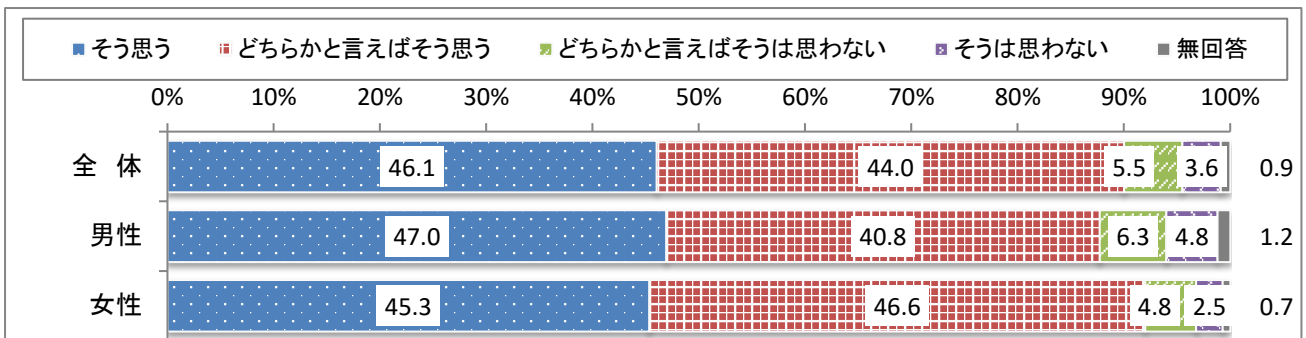
図表Ⅱ-2-12 努力すれば人生は変わるか (地域別)



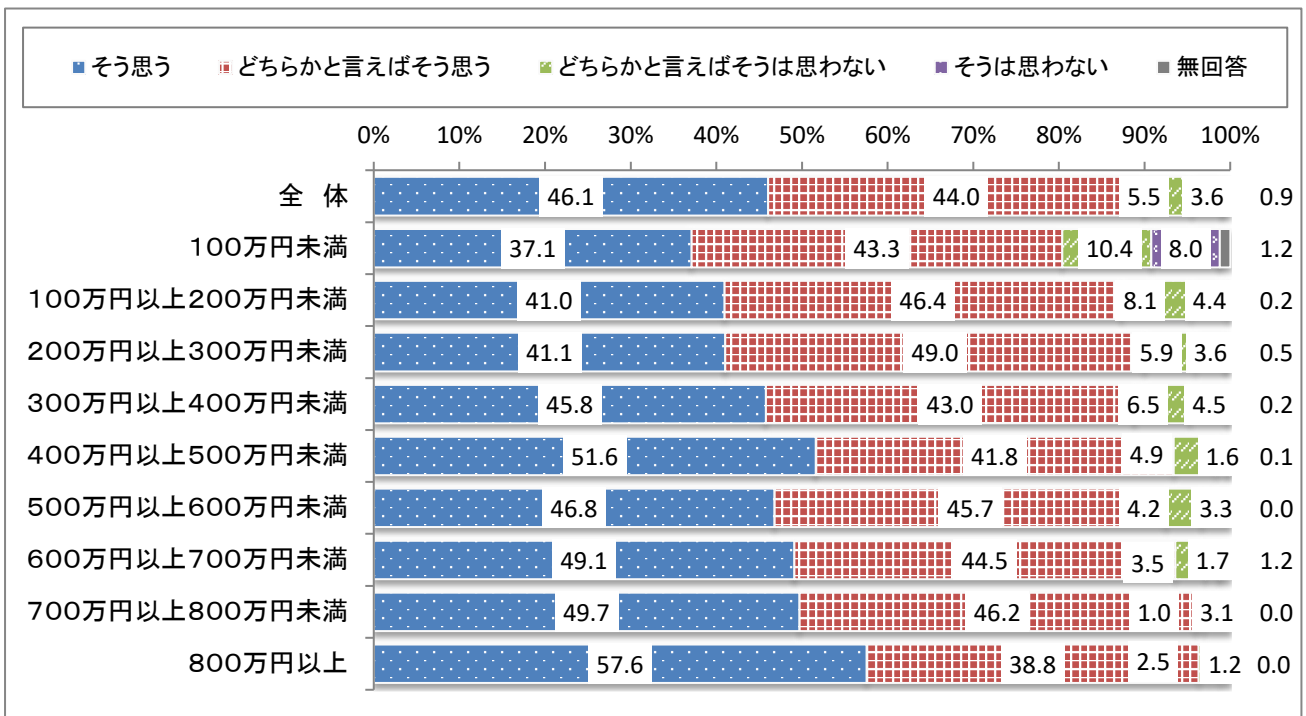
図表Ⅱ-2-13 努力すれば人生は変わるか（年代別）



図表Ⅱ-2-14 努力すれば人生は変わるか（性別）



図表Ⅱ-2-15 努力すれば人生は変わるか（世帯年収別）



## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

### (4) 「幸せ」だと感じているか (問1-4)

今、幸せだと感じているについては、「どちらかと言えば感じている」(46.8%)の割合が最も高く、次いで「感じている」(36.7%)、「どちらかと言えば感じていない」(11.4%)、「感じていない」(4.1%)となっている。

過去3回の調査と比較すると、幸せだと感じている割合のうち、「感じている」(36.7%)がやや減少しているが、「どちらかと言えば感じている」(46.8%)と合わせて8割超が幸せと感じている。

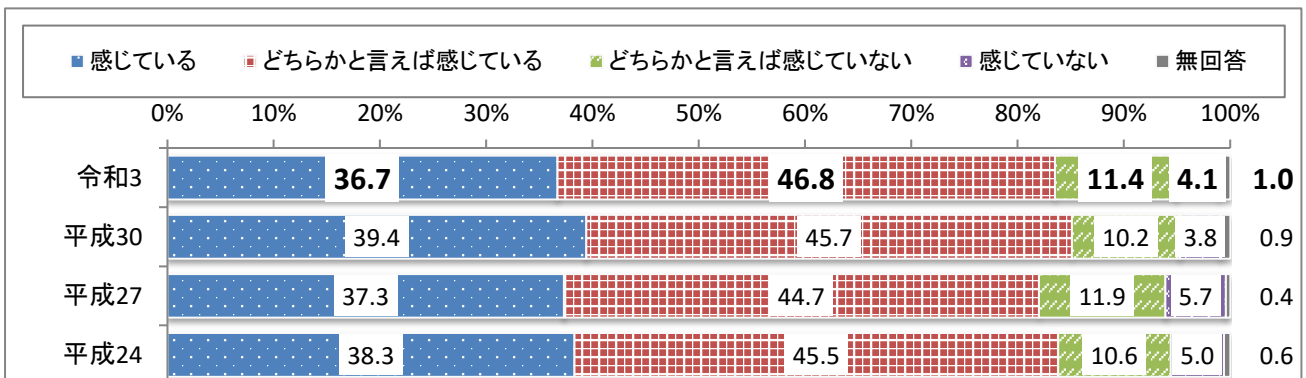
地域別にみると、「感じている」の割合が南部(39.8%)で最も高く、次いで宮古(39.2%)、八重山(37.9%)と続く。

年代別にみると、「感じている」の割合は10代(46.8%)が最も高く、「どちらかと言えば感じている」の割合は60代(52.5%)が最も高い。一方で、「感じていない」の割合は70代以上(7.3%)が最も高い。

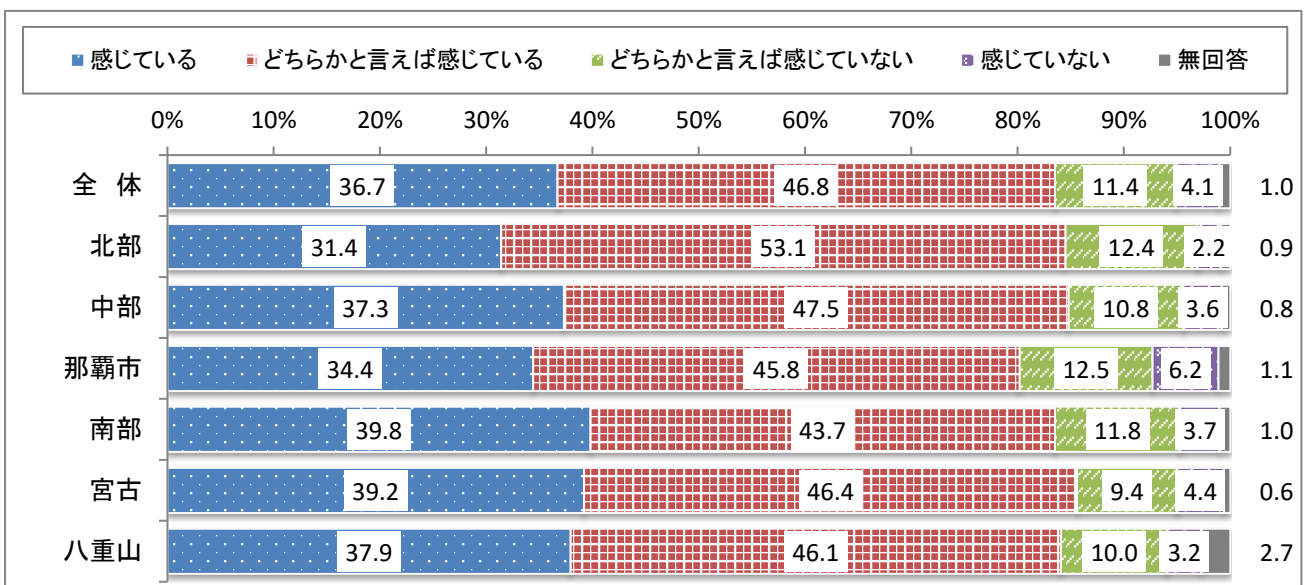
性別でみると、男女とも「どちらかと言えば感じている」の割合が4割以上で高いが、「感じている」の割合は女性(38.2%)が男性(35.1%)より高い。

世帯年収別にみると、「感じている」の割合は年収800万円以上と年収700万円以上800万円未満が5割近くと高い。世帯年収が低くなるとともに「感じている」の割合が低くなっている。「感じていない」の割合は年収100万円未満(12.0%)で他の世帯年収よりも高くなっている。

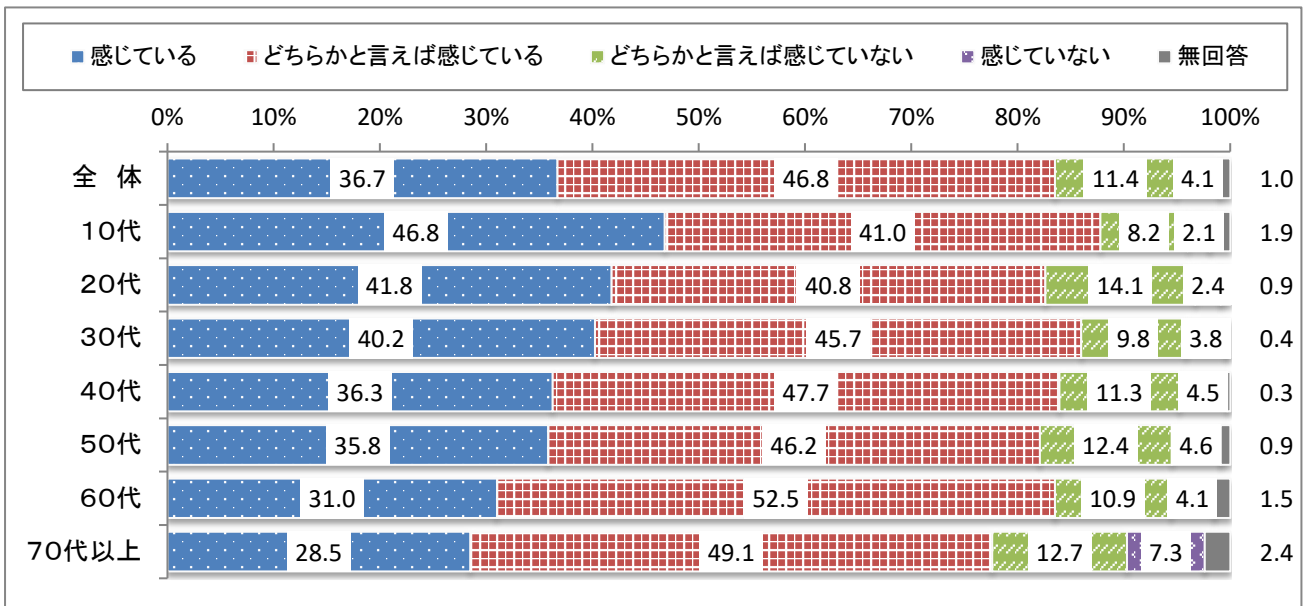
図表Ⅱ-2-16 「幸せ」だと感じているか (時系列比較)



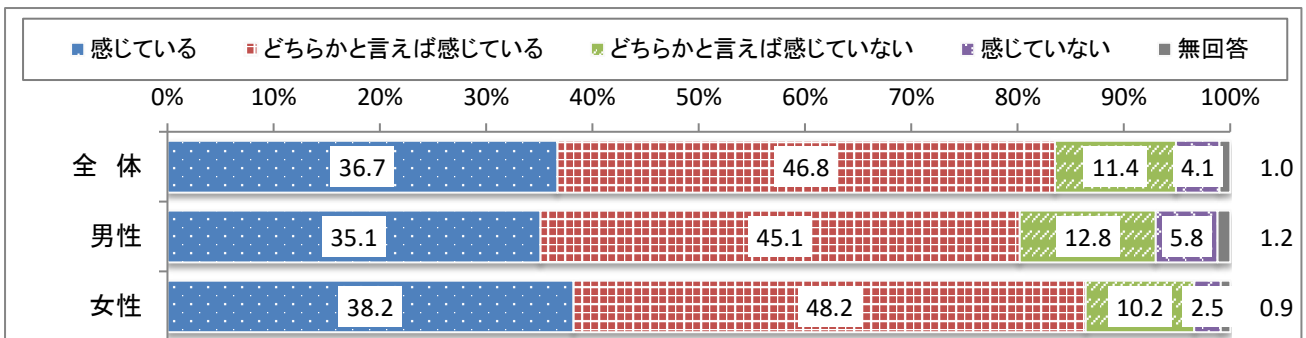
図表Ⅱ-2-17 「幸せ」だと感じているか (地域別)



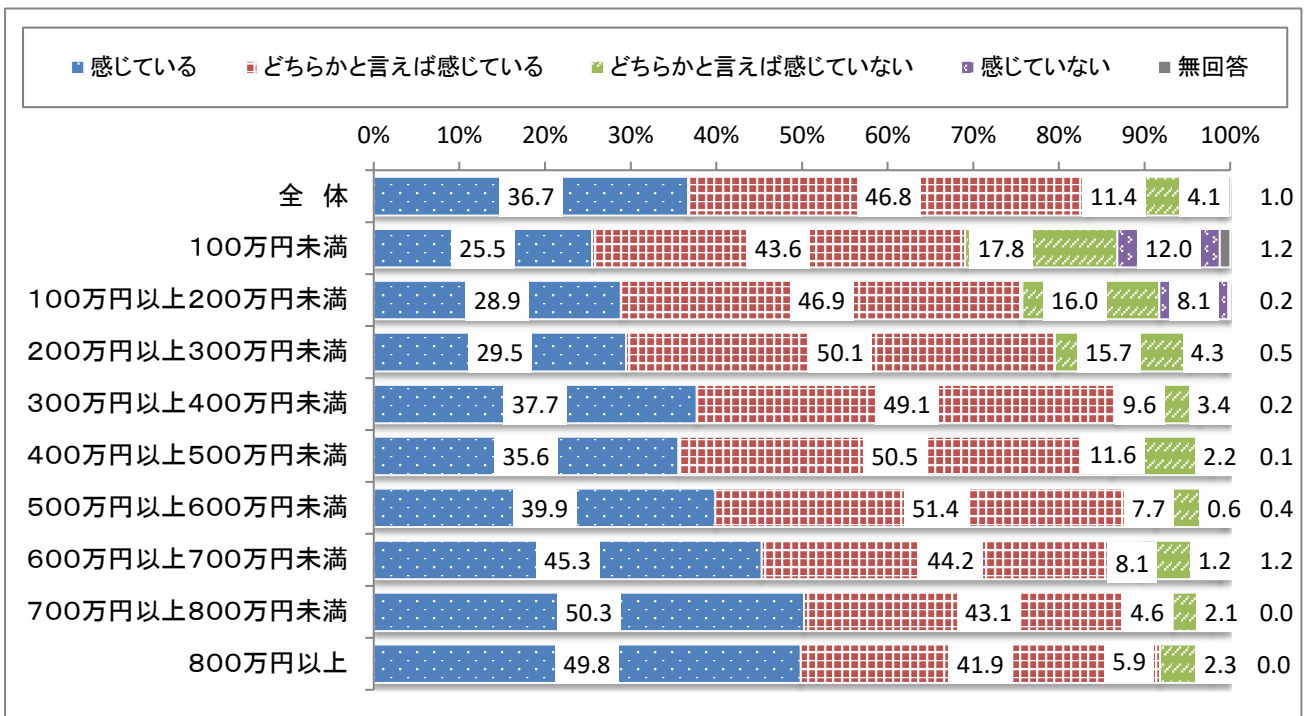
図表Ⅱ-2-18 「幸せ」だと感じているか（年代別）



図表Ⅱ-2-19 「幸せ」だと感じているか（性別）



図表Ⅱ-2-20 「幸せ」だと感じているか（世帯年収別）





## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

### (5) 幸せを感じる時 (問1-5)

人と人とのつながりの中で、最も幸せだと感じる時を複数回答(2つまで)でたずねたところ、「家族と一緒にいるとき」(79.8%)の割合が8割と最も高く、次いで「仲間と一緒にいるとき」(58.9%)となっており、その他の回答は1割程度に留まっている。

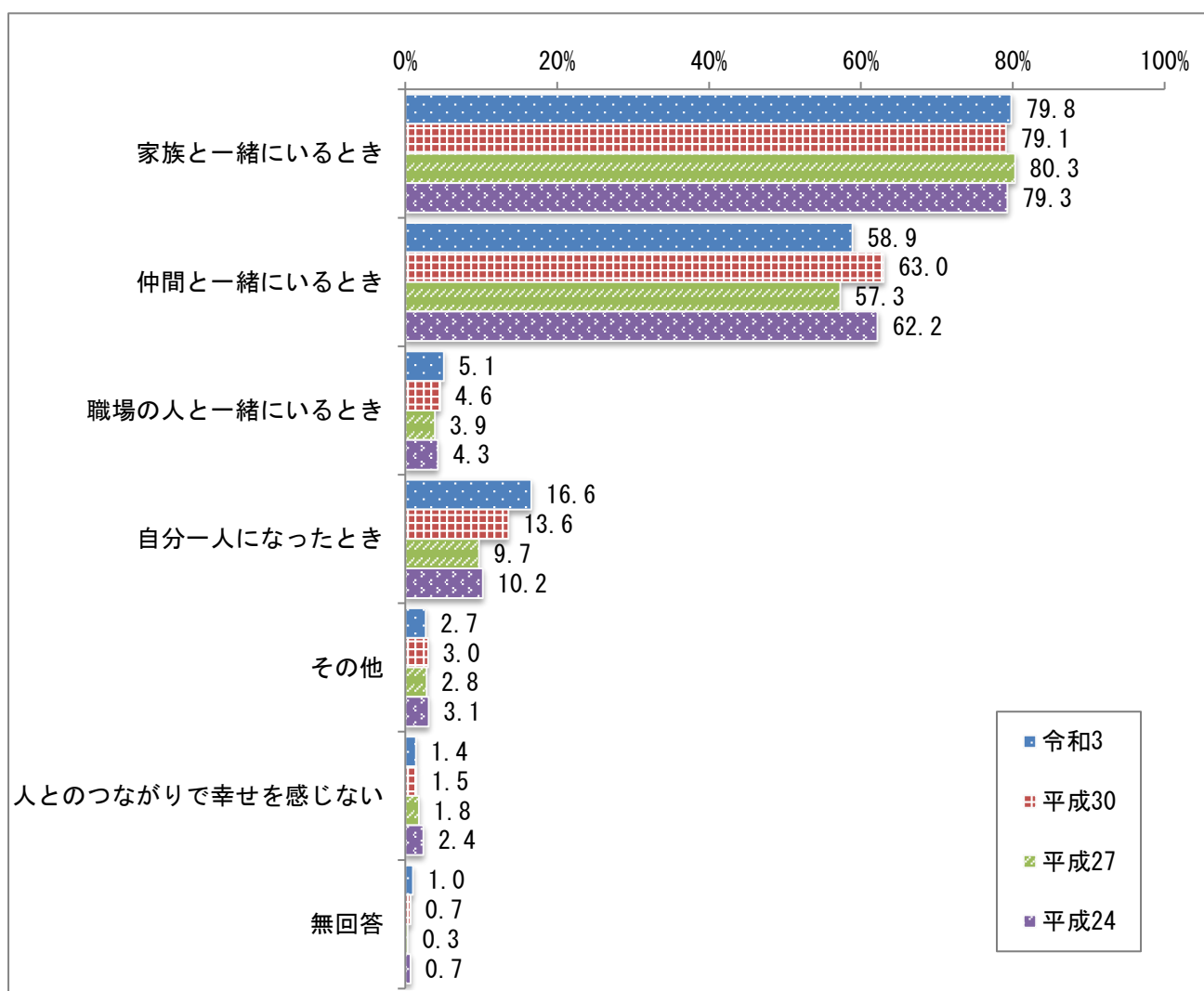
過去3回の調査と比較すると、「自分一人になったとき」の割合が徐々に高まっている。

地域別にみると、「仲間と一緒にいるとき」の割合は那覇市・宮古・八重山が他の地域に比べて低く、5割台に留まっている。

年代別にみると、「家族と一緒にいるとき」の割合は30～60代で高く、8割を超えている。「仲間と一緒にいるとき」の割合は概ね年齢が若いほど高く、10代・20代で7割を超えている。

世帯年収別にみると、「家族と一緒にいるとき」の割合は100万円未満から200万円未満が7割前後と低くなる。

図表Ⅱ-2-21 幸せを感じる時 (時系列比較)



## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

図表Ⅱ-2-22 幸せを感じる時（地域別）

(%)	に家 い族 ると と一 き緒	に仲 い間 ると と一 き緒	と一職 き緒場 にの い人 ると	な自 つ分 た一 と人 きに	そ の 他	をが人 感じとの じで ない幸 いせな	無 回 答
全 体	79.8	58.9	5.1	16.6	2.7	1.4	1.0
北部	81.4	61.5	4.4	15.0	2.2	0.9	0.4
中部	77.9	60.1	5.5	17.0	2.4	1.3	0.9
那覇市	78.6	54.3	6.0	19.0	4.0	2.0	0.9
南部	83.6	61.3	3.9	14.5	1.9	1.4	1.2
宮古	75.7	56.4	5.0	17.7	2.2	1.1	1.1
八重山	86.3	57.1	3.2	13.2	3.2	0.9	2.7

図表Ⅱ-2-23 幸せを感じる時（年代別）

(%)	に家 い族 ると と一 き緒	に仲 い間 ると と一 き緒	と一職 き緒場 にの い人 ると	な自 つ分 た一 と人 きに	そ の 他	をが人 感じとの じで ない幸 いせな	無 回 答
全 体	79.8	58.9	5.1	16.6	2.7	1.4	1.0
10代	64.3	79.9	0.8	17.2	2.1	2.1	1.9
20代	67.2	70.0	4.9	19.5	3.5	2.4	0.6
30代	82.2	59.2	4.2	18.3	3.0	1.7	0.5
40代	87.2	54.1	5.7	17.6	1.1	1.0	0.7
50代	82.4	53.8	7.0	15.9	1.7	1.6	0.9
60代	82.9	50.8	6.0	14.6	4.9	0.7	1.2
70代以上	77.0	64.5	3.3	11.9	1.6	1.1	2.7

図表Ⅱ-2-24 幸せを感じる時（性別）

(%)	に家 い族 ると と一 き緒	に仲 い間 ると と一 き緒	と一職 き緒場 にの い人 ると	な自 つ分 た一 と人 きに	そ の 他	をが人 感じとの じで ない幸 いせな	無 回 答
全 体	79.8	58.9	5.1	16.6	2.7	1.4	1.0
男性	74.0	59.8	5.4	15.9	2.4	2.2	1.5
女性	84.8	58.2	4.8	17.3	2.8	0.8	0.7

図表Ⅱ-2-25 幸せを感じる時（世帯年収別）

(%)	に家 い族 ると と一 き緒	に仲 い間 ると と一 き緒	と一職 き緒場 にの い人 ると	な自 つ分 た一 と人 きに	そ の 他	をが人 感じとの じで ない幸 いせな	無 回 答
全 体	79.8	58.9	5.1	16.6	2.7	1.4	1.0
100万円未満	68.1	51.8	3.7	21.5	5.2	3.7	0.6
100万円以上200万円未満	71.8	56.8	4.2	21.2	3.2	3.0	0.2
200万円以上300万円未満	76.3	57.6	6.2	15.4	3.6	1.7	0.7
300万円以上400万円未満	83.7	60.9	2.9	14.8	2.4	0.7	0.2
400万円以上500万円未満	80.6	61.9	4.9	16.9	1.0	1.3	0.4
500万円以上600万円未満	83.3	60.5	3.3	18.8	2.1	0.4	0.4
600万円以上700万円未満	85.5	58.7	7.3	18.0	2.0	0.6	1.2
700万円以上800万円未満	90.3	68.7	5.6	8.2	2.1	0.5	-
800万円以上	88.3	61.3	8.6	13.8	2.5	1.0	-

## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

### (6) 世帯の経済状況 (問1-6)

世帯の経済状況の余裕の度合については、「生活には困らない」(51.8%)の割合が最も高く、次いで「やや余裕がある」(18.4%)、「やや苦しい」(17.9%)、「かなり苦しい」(9.3%)となっている。

過去3回の調査と比較すると、世帯経済状況は余裕があるとの回答が上昇し、「やや苦しい」「かなり苦しい」の割合は減少している。

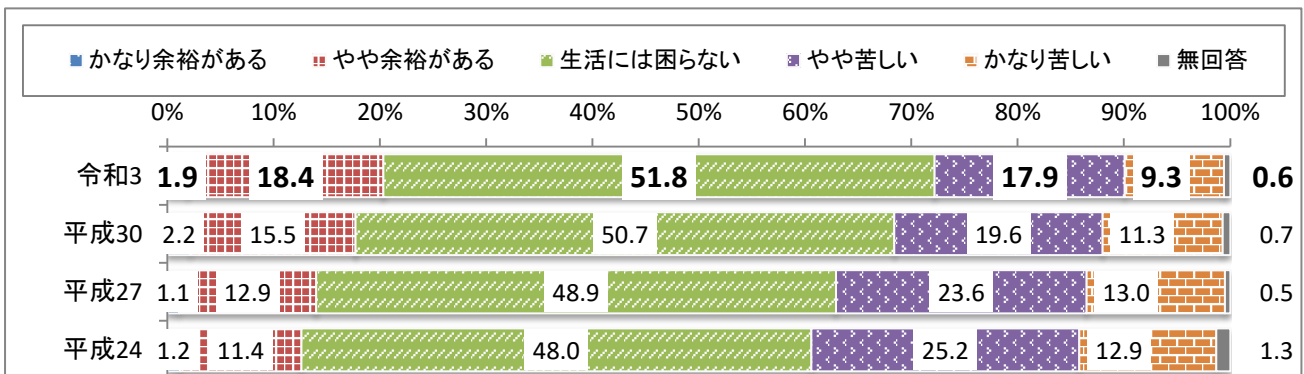
地域別にみると、「やや余裕がある」の割合が宮古(22.7%)、八重山(20.5%)で2割と最も高い。「生活には困らない」の割合が北部(56.6%)、「やや苦しい」が八重山(19.6%)、「かなり苦しい」が八重山(11.4%)で他の地域に比べて高い。

年代別にみると、「やや余裕がある」の割合は10代(24.6%)、20代(21.5%)で高い。「かなり苦しい」の割合が20代(11.1%)、50代(10.5%)で高い。

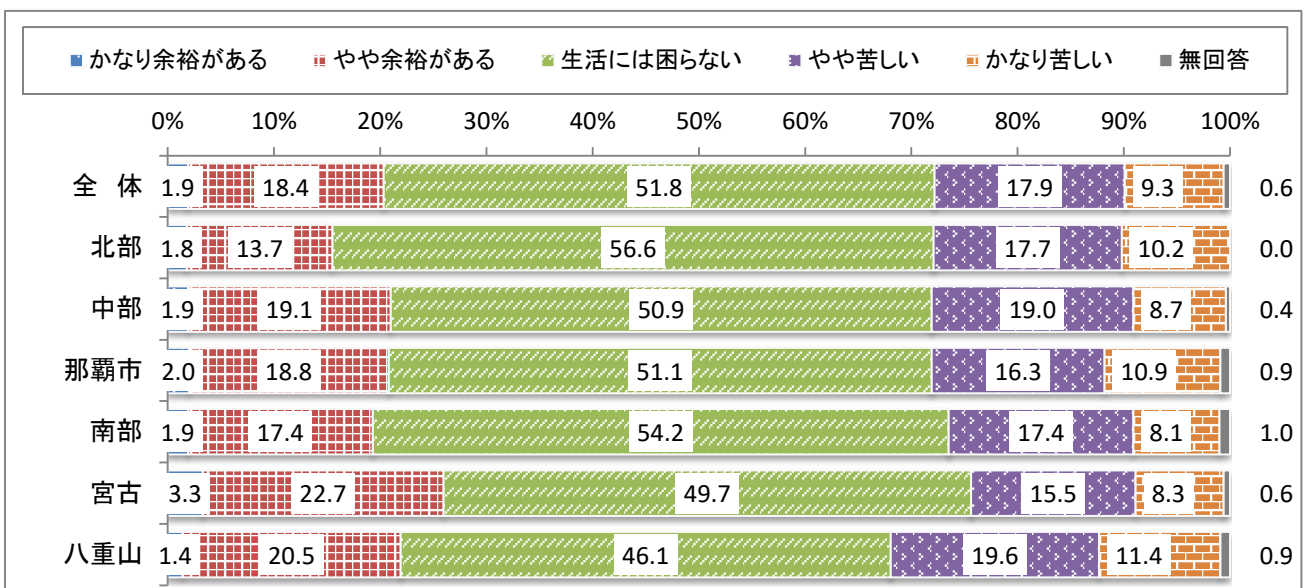
性別でみると、女性の経済状況が苦しいとの回答の割合は男性よりも高い。

世帯年収別にみると、年収が高いほど余裕がある割合は高くなる。年収800万円以上の割合は「かなり余裕がある」(11.0%)、「やや余裕がある」(43.8%)で半数に余裕がある。100万円未満では6割以上が苦しいとの高い回答、100万円以上200万円未満では5割が苦しいとの回答である。

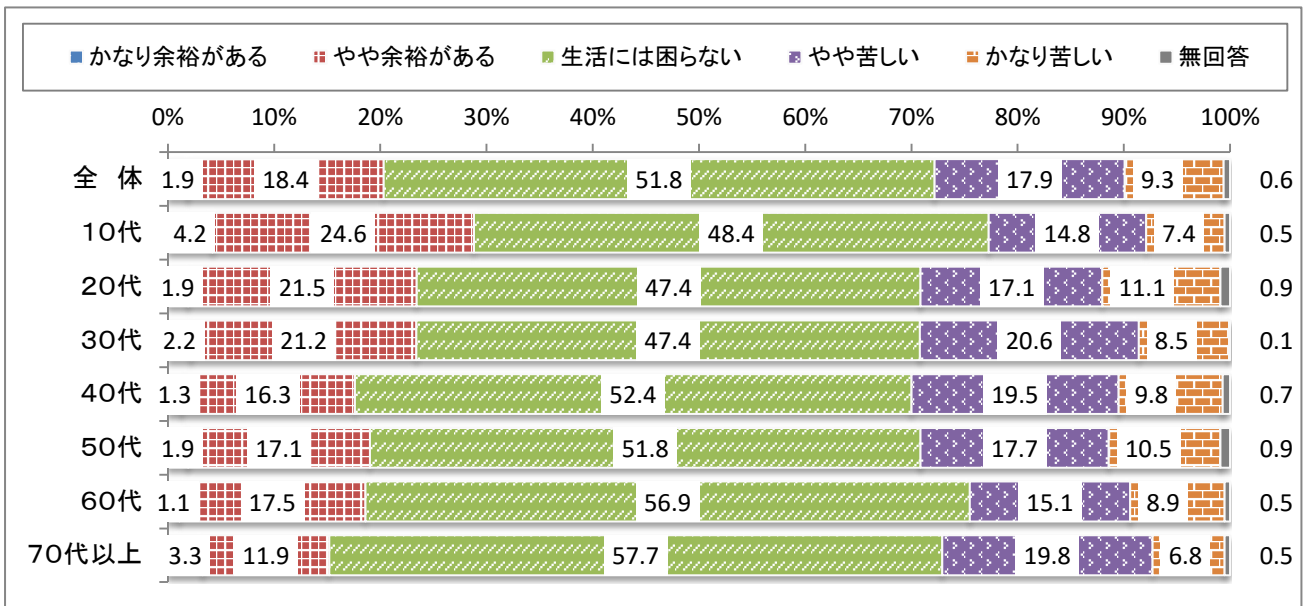
図表Ⅱ-2-26 世帯の経済状況 (時系列比較)



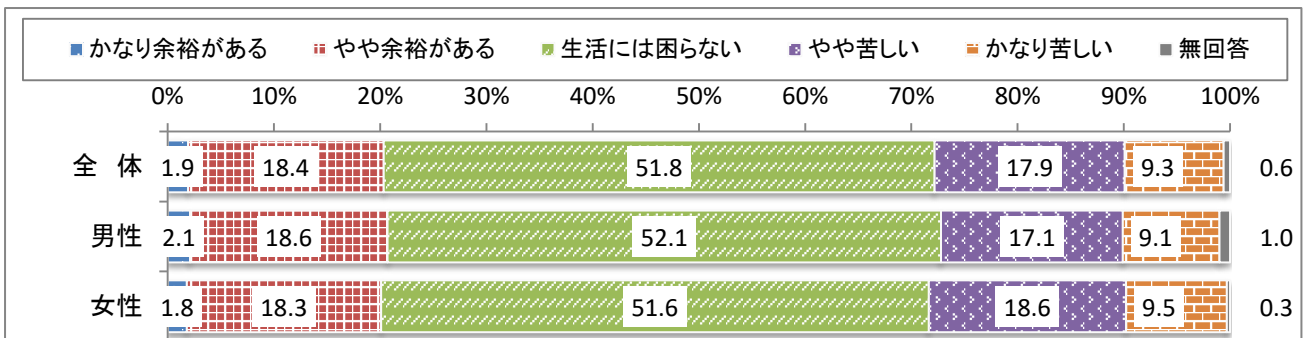
図表Ⅱ-2-27 世帯の経済状況 (地域別)



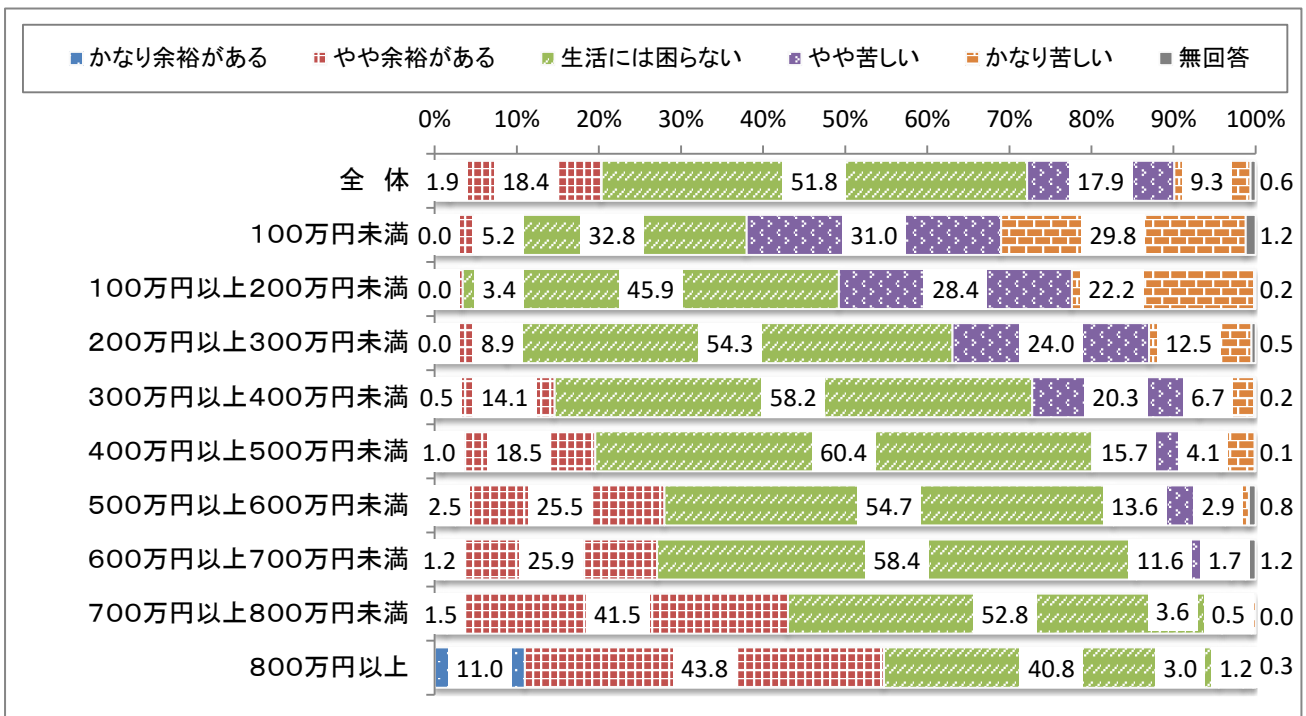
図表Ⅱ-2-28 世帯の経済状況（年代別）



図表Ⅱ-2-29 世帯の経済状況（性別）



図表Ⅱ-2-30 世帯の経済状況（世帯年収別）



## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

### (7) 就労者の仕事への満足度 (問1-7)

現在の仕事への満足度については、「どちらかと言えば満足している」(46.9%)の割合が最も高く、次いで「満足している」(22.6%)、「どちらかと言えば満足していない」(20.6%)、「満足していない」(7.6%)となっている。

過去3回の調査と比較すると、満足しているとの回答の割合が上昇し、「満足していない」の割合はやや減少している。

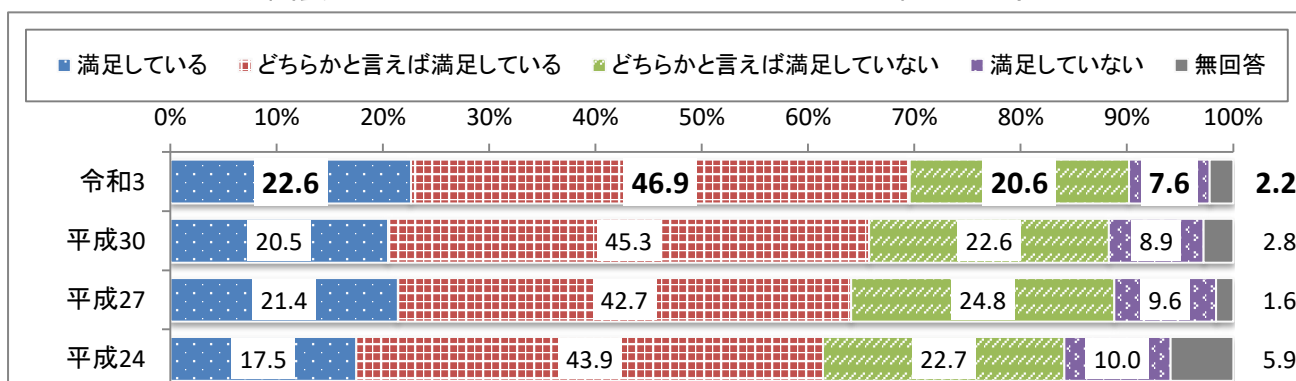
地域別にみると、中部で「どちらかと言えば満足している」(48.8%)と「満足している」(23.1%)を合わせて最も高く、「満足していない」の割合是那覇市(9.8%)で最も高い。

年代別にみると、「満足している」の割合は60代(26.6%)、次いで50代(24.3%)が高い。「満足していない」の割合は30代(10.8%)が高い。

性別でみると、男女とも「どちらかと言えば満足している」の割合が4割以上で高いが、「満足している」の割合は男性(24.0%)が女性(21.3%)より高い。

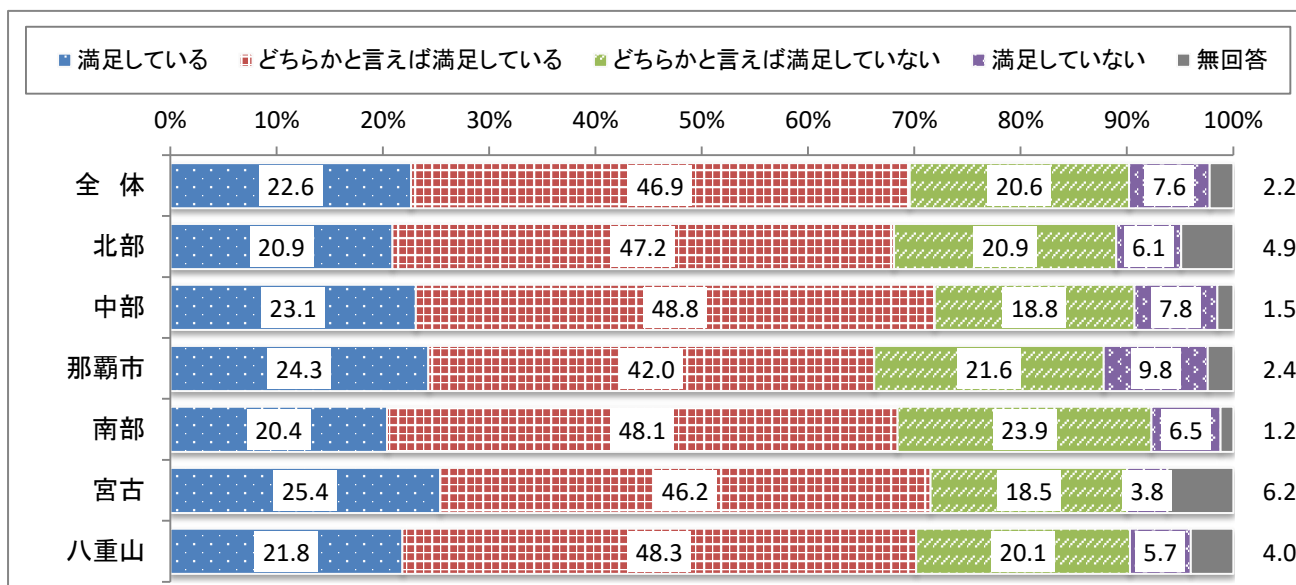
世帯年収別にみると、「満足している」の割合は年収800万円以上(37.6%)が最も高い。一方、「満足していない」の割合は100万未満円(18.8%)が最も高くなっている。

図表Ⅱ-2-31 就労者の仕事への満足度 (時系列比較)

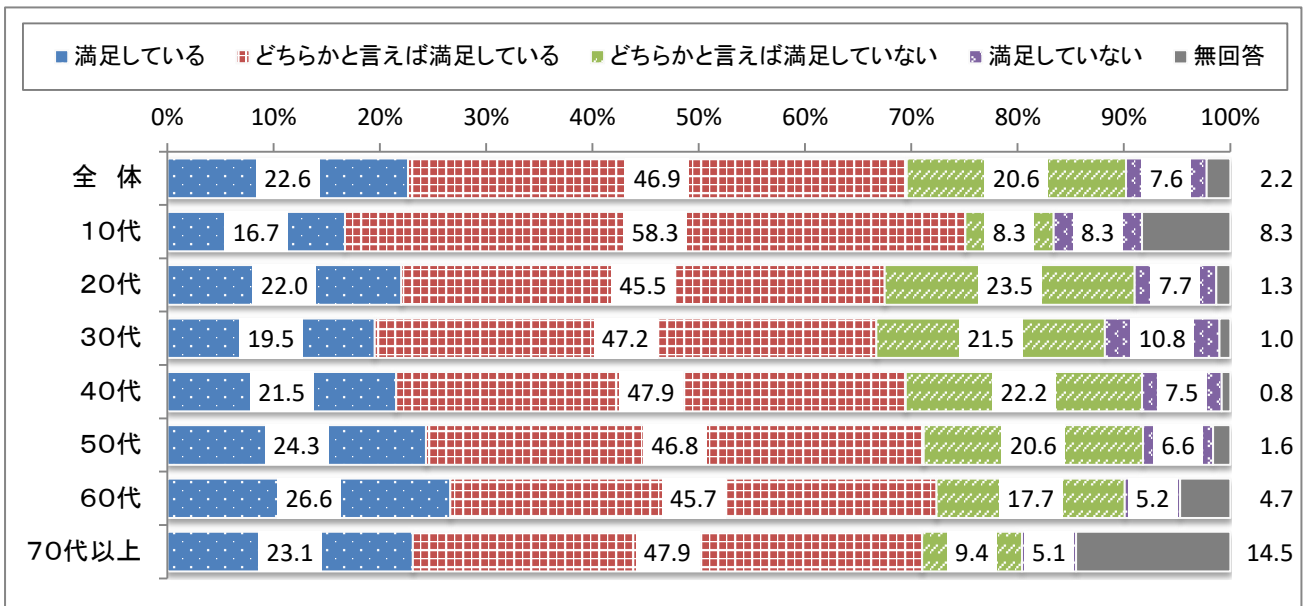


※平成27年の調査は就労していない者も含んだ集計結果であったため、比較のため就業者に限定して再集計した。

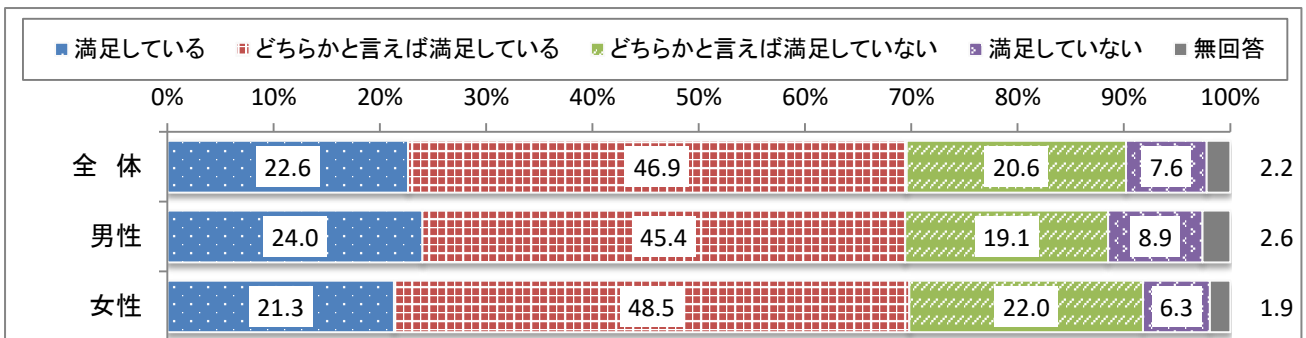
図表Ⅱ-2-32 就労者の仕事への満足度 (地域別)



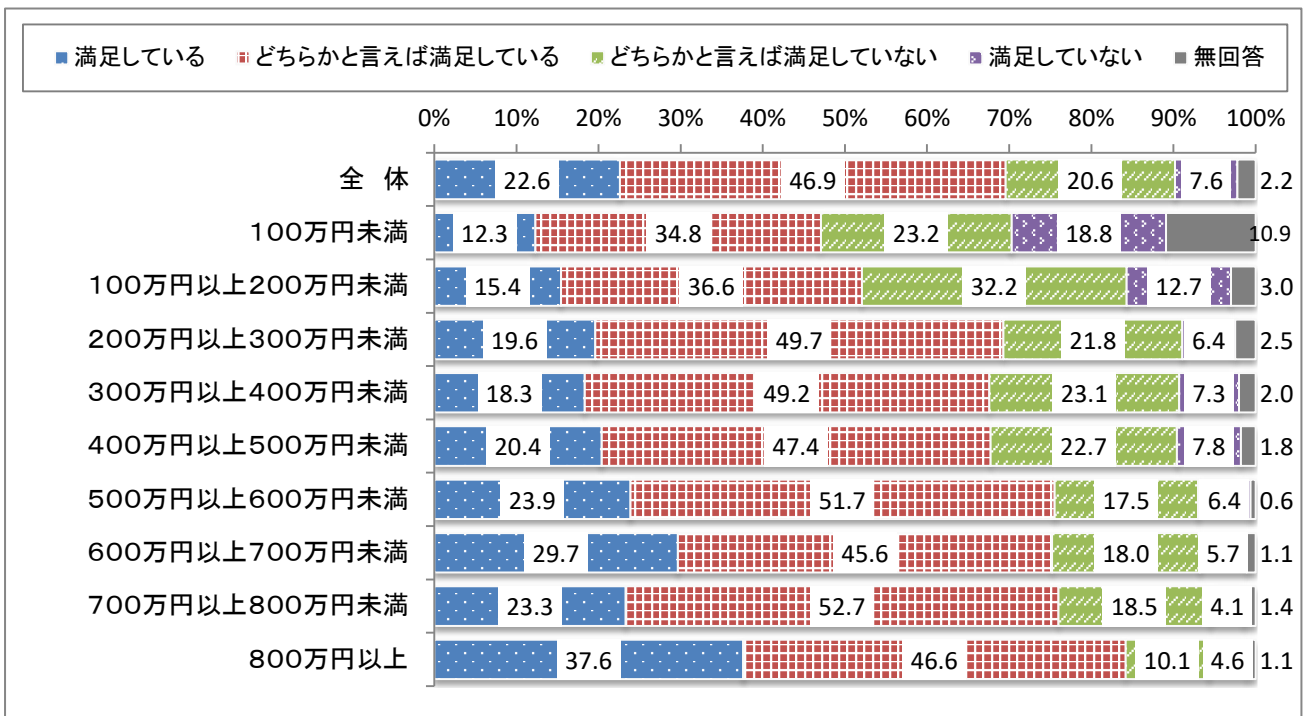
図表Ⅱ-2-33 就労者の仕事への満足度（年代別）



図表Ⅱ-2-34 就労者の仕事への満足度（性別）



図表Ⅱ-2-35 就労者の仕事への満足度（世帯年収別）



## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

### (8) 家族との関係 (問1-8)

家族との関係については、「どちらかと言えば良好だと思う」(50.1%)の割合が最も高く、次いで「非常に良好だと思う」(41.4%)、「どちらかと言えば良好ではない」(5.3%)、「良好ではない」(2.1%)となっている。

過去3回の調査と比較すると、「非常に良好だと思う」は上昇しているが、「どちらかと言えば良好だと思う」「どちらかと言えば良好ではない」はともに若干減少している。

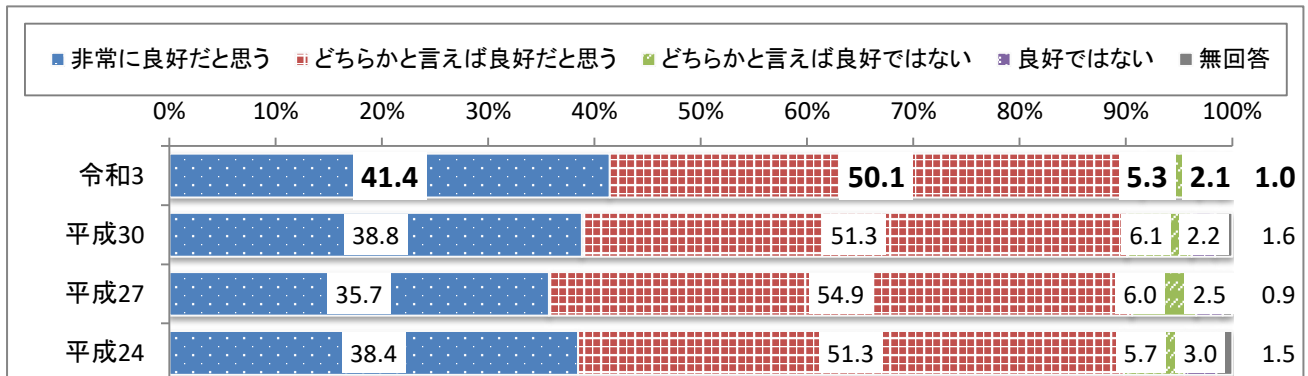
地域別にみると、全ての地域で9割近くが良好な関係と回答している。なかでも北部と八重山で9割以上が良好と回答している。

年代別にみると、「非常に良好だと思う」の割合は10代(55.8%)が最も高い。「どちらかと言えば良好だと思う」の割合が60代(63.3%)で高い。一方、「どちらかと言えば良好ではない」「良好ではない」の割合が高いのは70代以上で1割強となる。

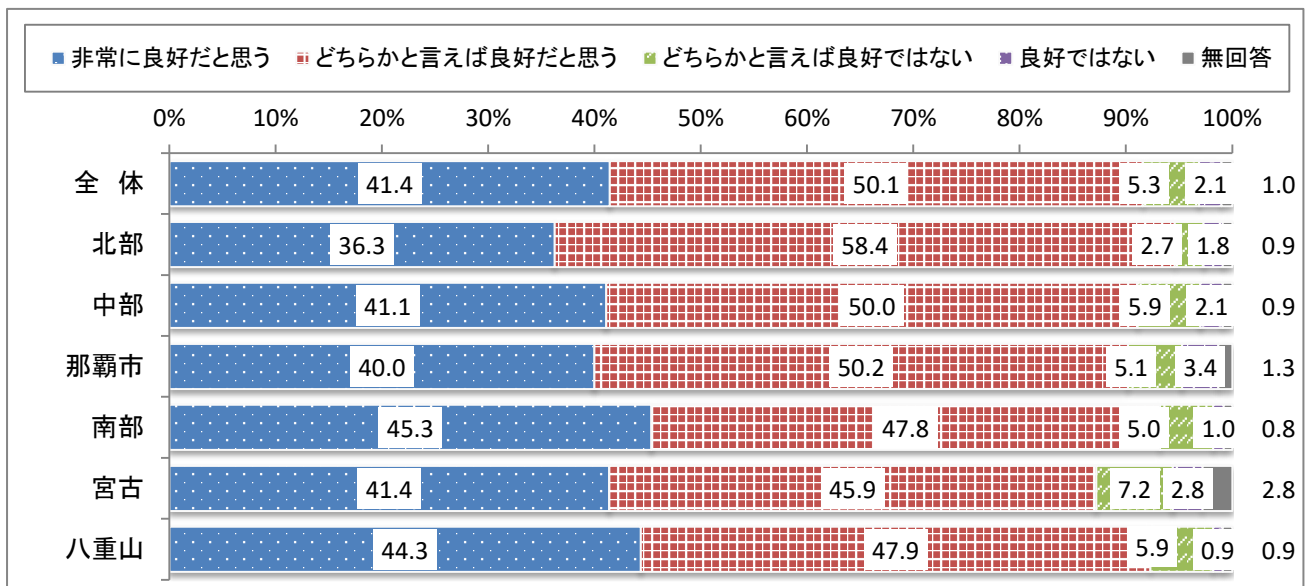
性別でみると、男女とも「どちらかと言えば良好だと思う」の割合が5割以上で高いが、「非常に良好だと思う」の割合は女性(42.9%)が男性(39.6%)より高い。

世帯年収別にみると、家族との関係は100万円未満、100万円以上200万円未満では8割が良好であるが、他の世帯年収では9割以上が良好となっている。「どちらかと言えば良好ではない」「良好ではない」の割合も100万円未満では14.1%、100万円以上200万円未満では15.5%で他の世帯年収より高くなっている。

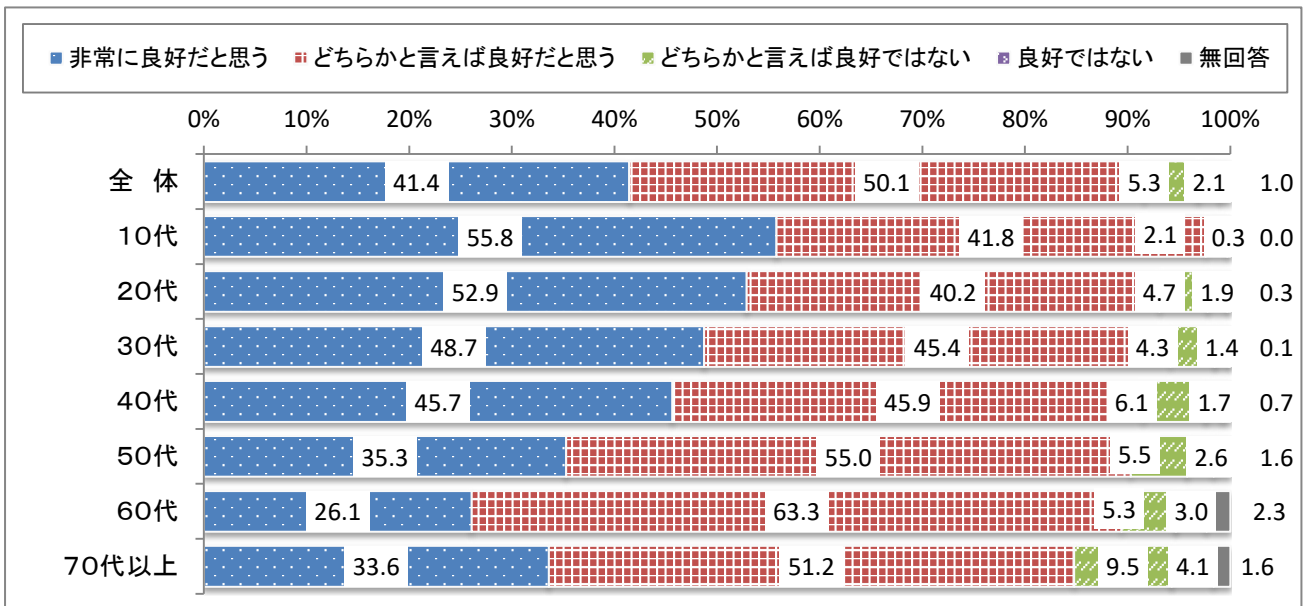
図表Ⅱ-2-36 家族との関係 (時系列比較)



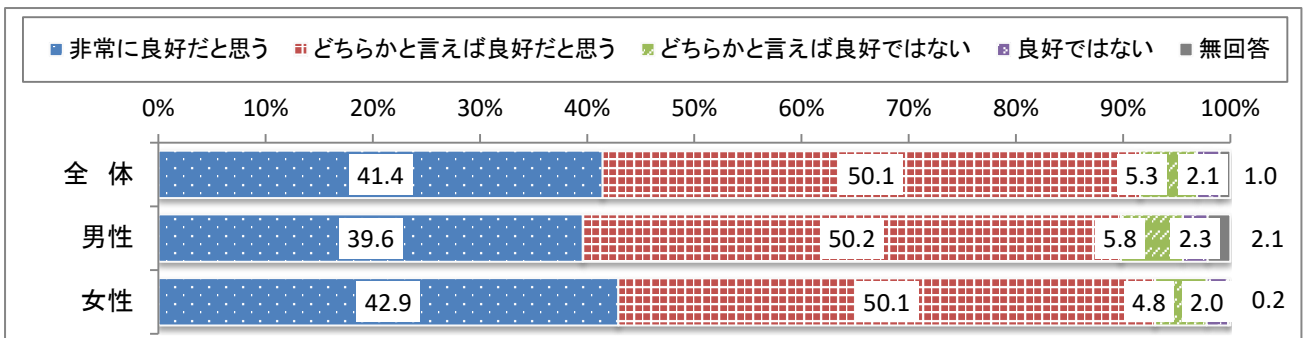
図表Ⅱ-2-37 家族との関係 (地域別)



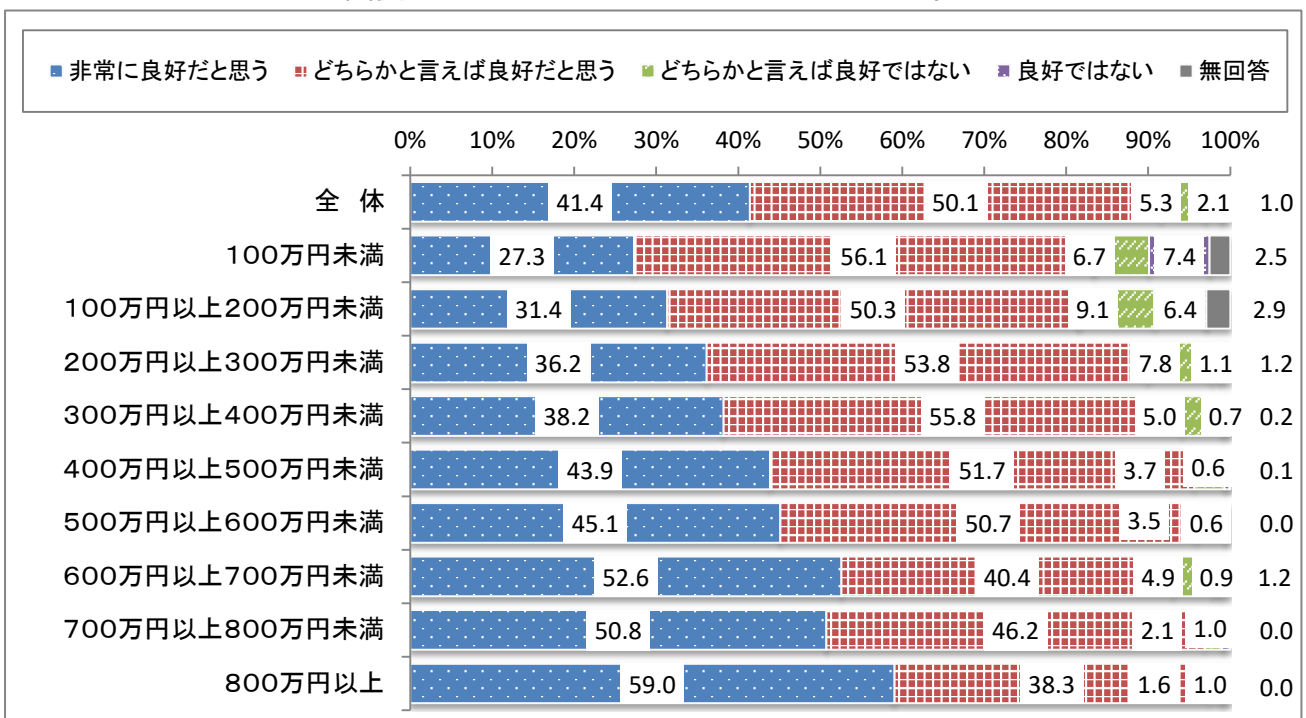
図表Ⅱ-2-38 家族との関係（年代別）



図表Ⅱ-2-39 家族との関係（性別）



図表Ⅱ-2-40 家族との関係（世帯年収別）





## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

### (9) 健康状態 (問1-9)

健康状態については、「まあまあ健康だと思う」(59.7%)の割合が最も高く、次いで「大変健康である」(24.1%)、「あまり健康ではない」(12.3%)、「健康ではない」(3.6%)となっている。

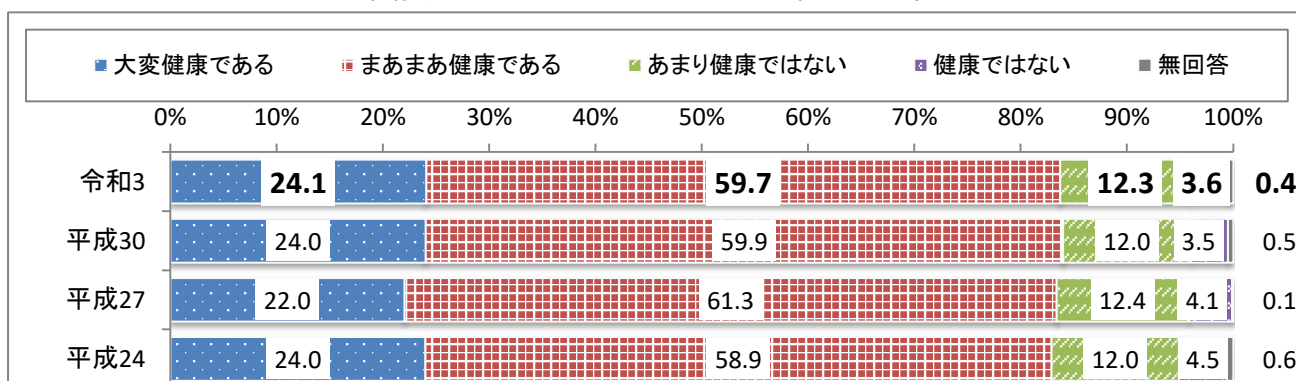
前回の調査と比較すると、健康であるはほぼ同じ割合で、健康ではないの割合もほぼ同じ割合で推移している。地域別にみると、全ての地域で8割以上が健康であると回答している。なかでも「大変健康である」の割合が南部(26.3%)、宮古(26.0%)で高い。

年代別にみると、年代が若いほど「大変健康である」の割合が高くなっている。70代以上の「健康ではない」の割合は8.1%と最も高くなる。

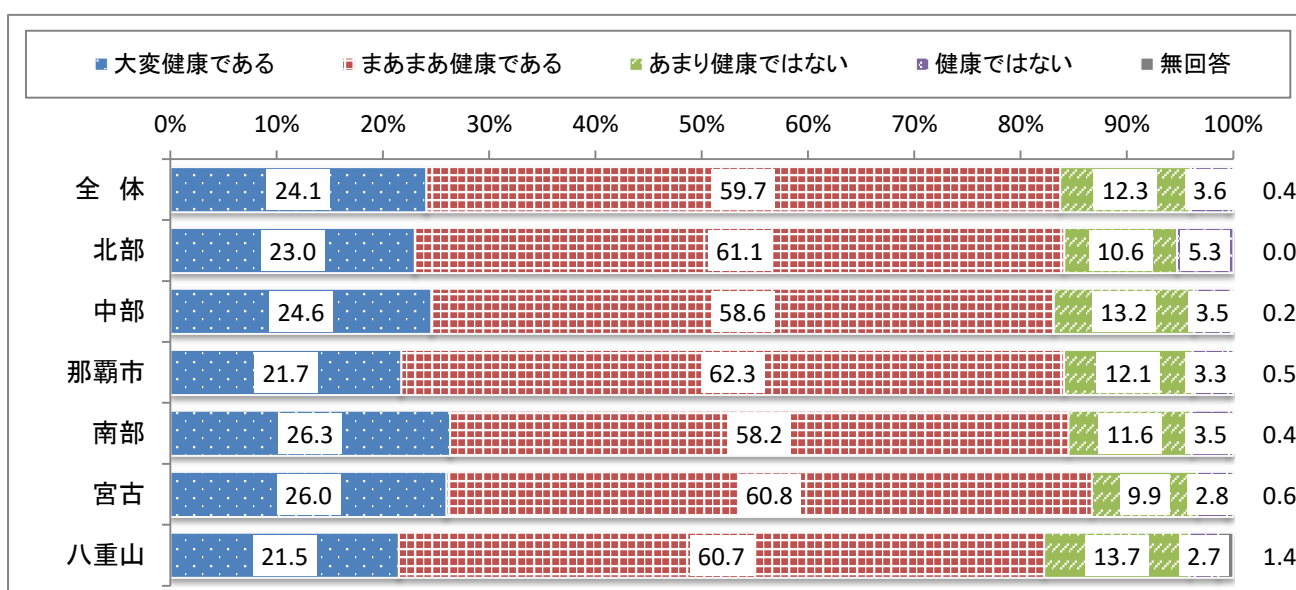
性別でみると、女性が健康であるとの回答が8割半ばと男性の8割よりも高い。「あまり健康ではない」の割合は男性(13.7%)が女性(11.1%)より高い。

世帯年収別にみると、500万円以上の世帯収入では9割が健康であると回答している。100万円未満では「あまり健康ではない」(23.3%)、「健康ではない」(11.3%)と合わせて3割半ばが健康ではないと回答し、他の世帯年収より割合が高くなっている。

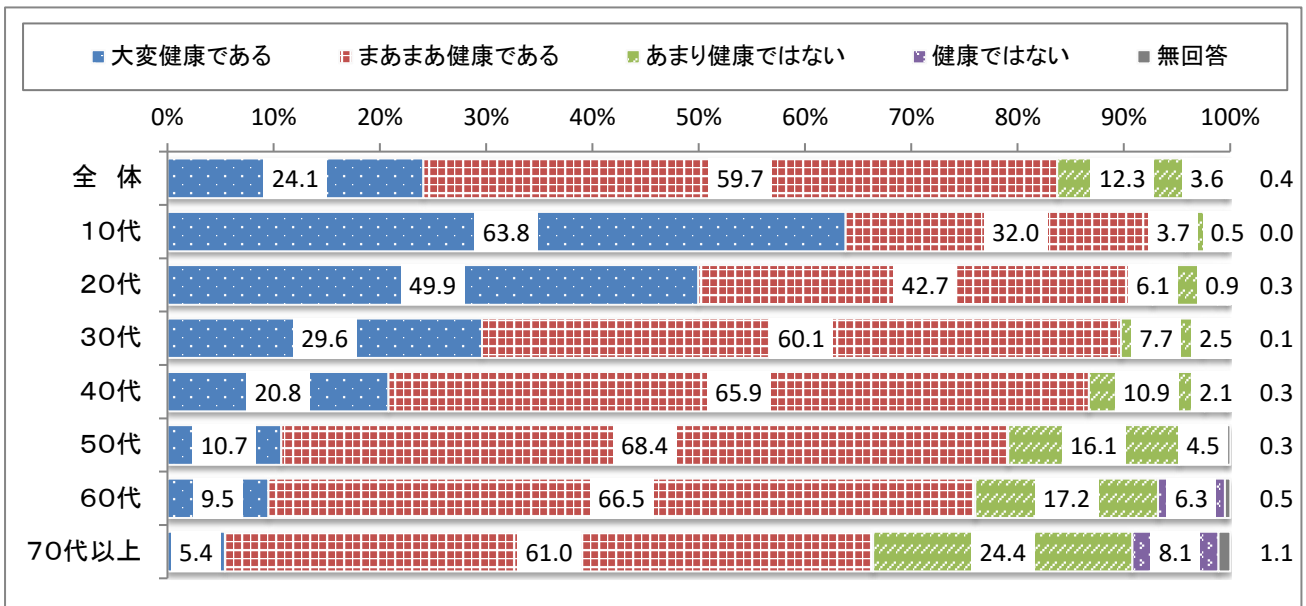
図表Ⅱ-2-41 健康状態 (時系列比較)



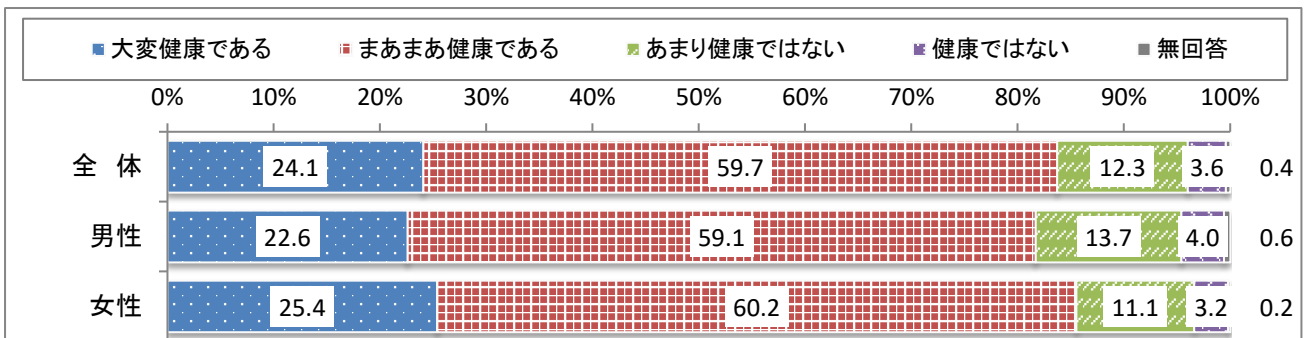
図表Ⅱ-2-42 健康状態 (地域別)



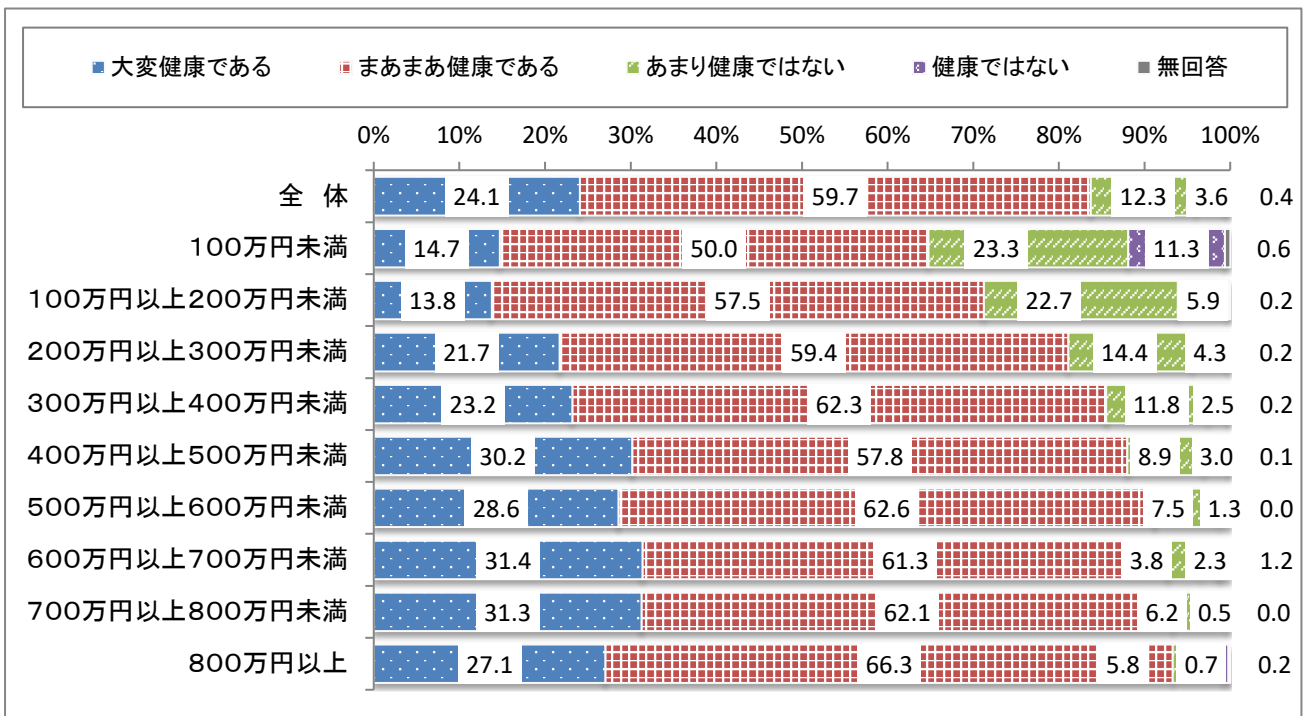
図表Ⅱ-2-43 健康状態（年代別）



図表Ⅱ-2-44 健康状態（性別）



図表Ⅱ-2-45 健康状態（世帯年収別）



## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

### (10) 住まいへの満足度 (問1-10)

現在の住まいの満足度については、「十分だと思う」(42.2%)の割合が最も高く、次いで「まあまあ十分である」(37.7%)、「やや不十分だと思う」(14.3%)、「不十分だと思う」(5.4%)となっている。

過去3回の調査と比較すると、「十分だと思う」の割合が上昇し、「やや不十分だと思う」の割合は減少している。

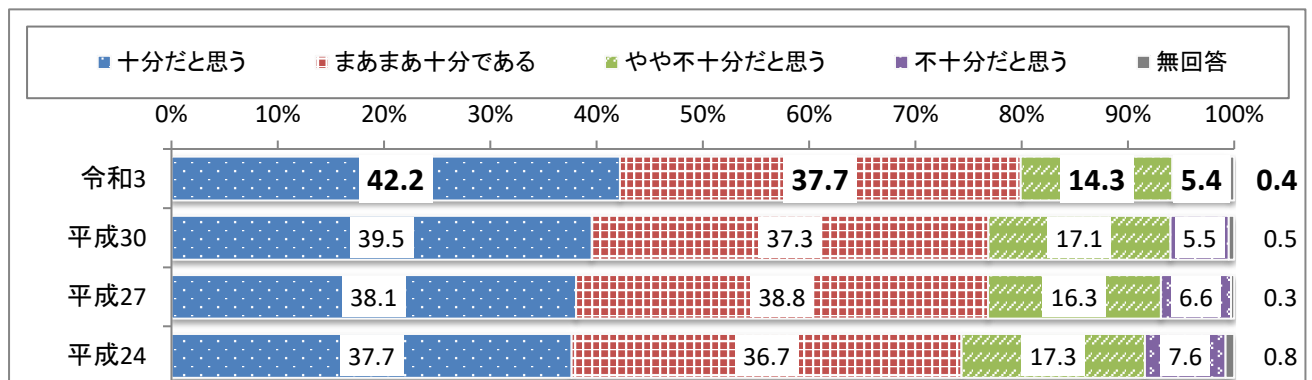
地域別にみると、「十分だと思う」の割合が南部(48.7%)、宮古(48.1%)、那覇市(41.5%)で高い。八重山は「十分だと思う」「まあまあ十分だと思う」の割合が81.3%と最も高いが、那覇市は77.6%と最も低くなる。

年代別にみると、10代・20代の「十分だと思う」「まあまあ十分だと思う」の割合が8割以上で高い。「やや不十分だと思う」の割合は30代(18.7%)が最も高い。

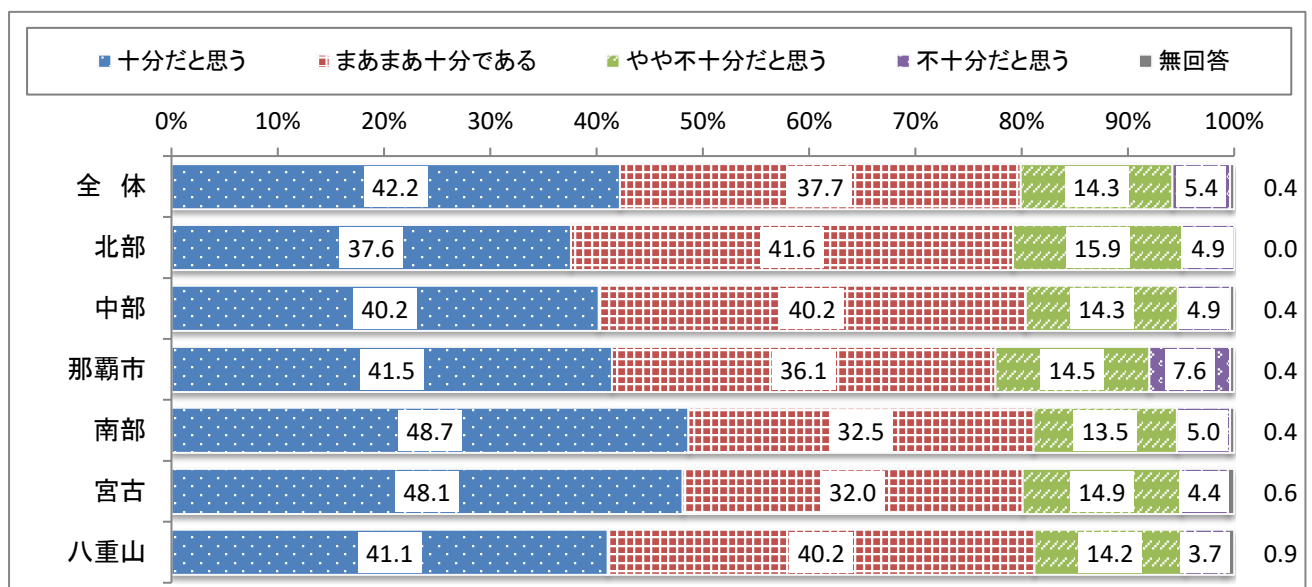
性別でみると、男女による差はほとんどなく、「十分だと思う」で約4割と高い。

世帯年収別にみると、年収が高くなるほど満足度が高くなっている。800万円以上は「十分だと思う」「まあまあ十分だと思う」の割合が9割以上と高く、100万円未満は「やや不十分だと思う」「不十分だと思う」が32.8%と他の世帯年収より高くなっている。

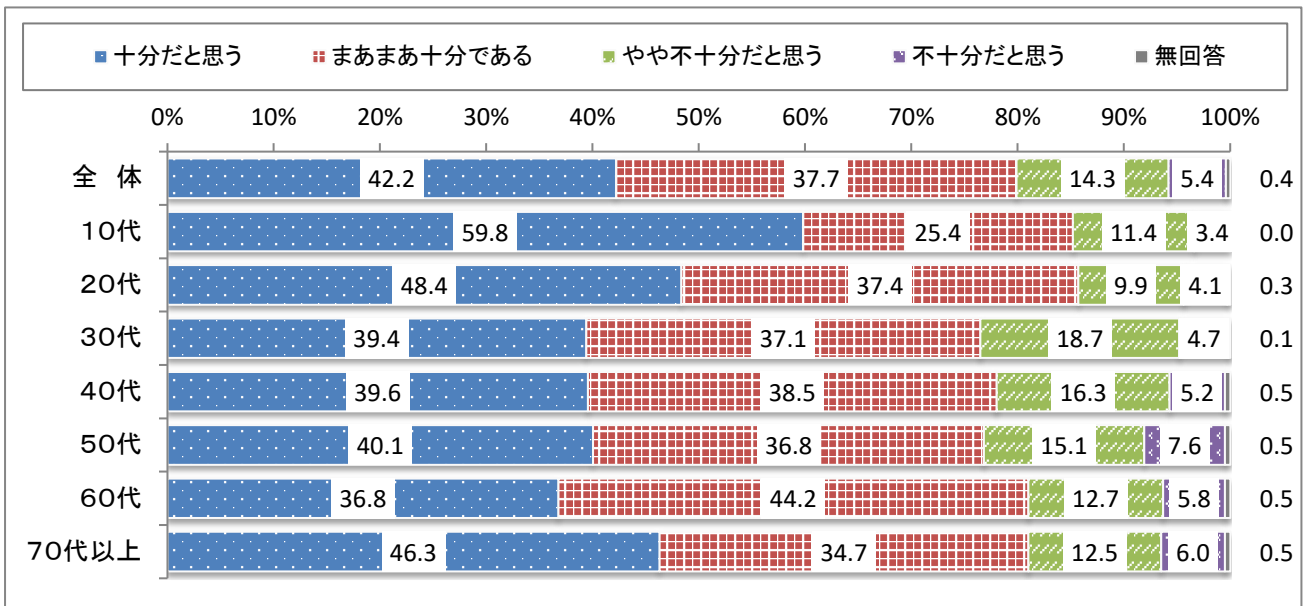
図表Ⅱ-2-46 住まいへの満足度 (時系列比較)



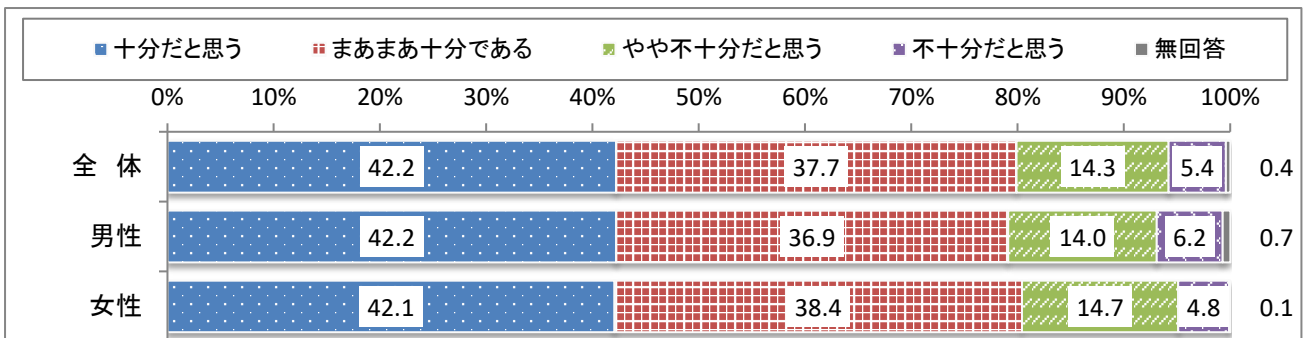
図表Ⅱ-2-47 住まいへの満足度 (地域別)



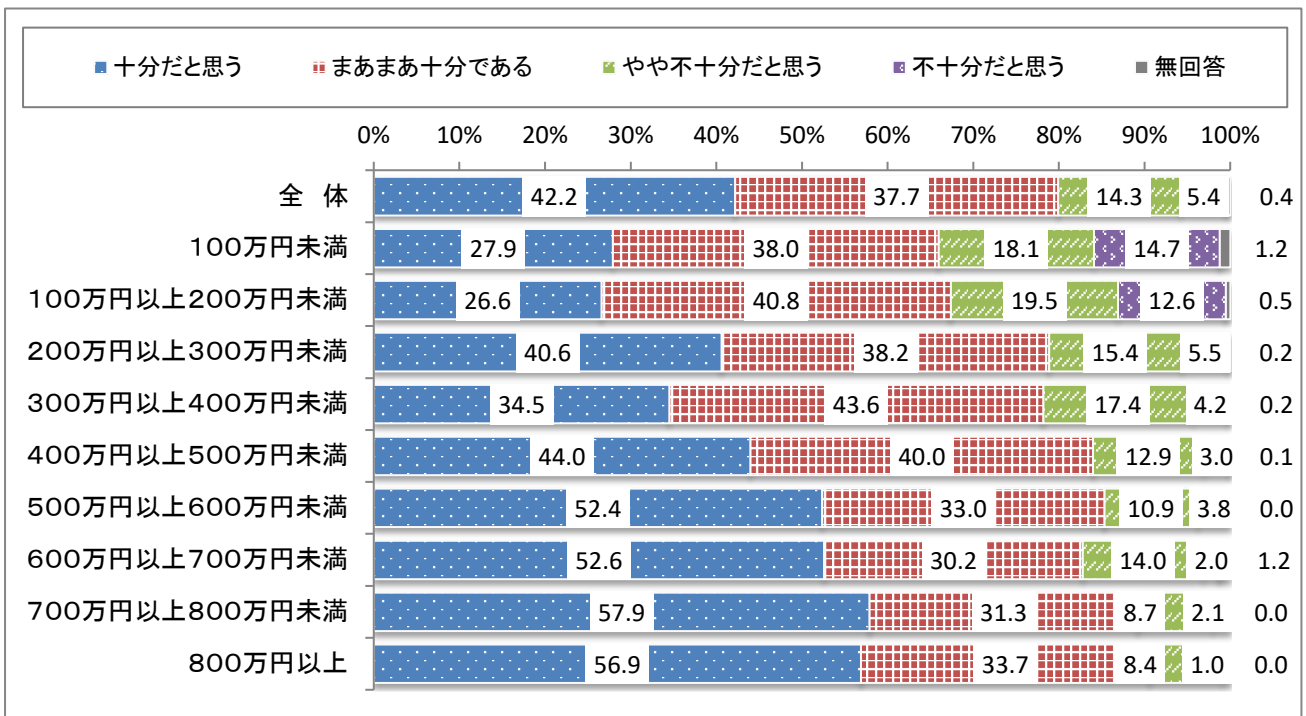
図表Ⅱ-2-48 住まいへの満足度（年代別）



図表Ⅱ-2-49 住まいへの満足度（性別）



図表Ⅱ-2-50 住まいへの満足度（世帯年収別）



## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

### (11) 生きがい (問1-11)

生きがいにしていることについては、「少しある」(40.4%)の割合が最も高く、次いで「大いにある」(29.2%)、「どちらとも言えない」(18.8%)、「ほとんどない」(8.0%)、「まったくない」(2.9%)となっている。

過去3回の調査と比較すると、「少しある」の割合は平成30年度調査よりやや減少しているが、「大いにある」の割合は上昇している。

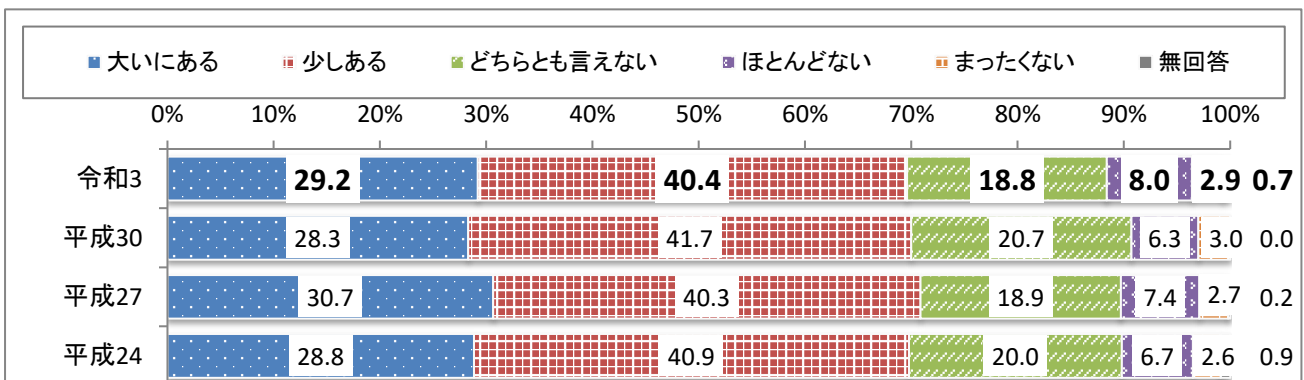
地域別にみると、「大いにある」の割合が中部(31.2%)、次いで宮古(29.8%)で高い。那覇市は「大いにある」の割合が26.1%で最も低く、北部は「どちらとも言えない」の割合が19.5%と最も高い。

年代別にみると、10代の「大いにある」「少しある」の割合が73.8%で最も高い。60代の「大いにある」の割合は21.4%と最も低い。生きがいがある割合は70.1%で、10代、20代、70代以上に次いで高い。

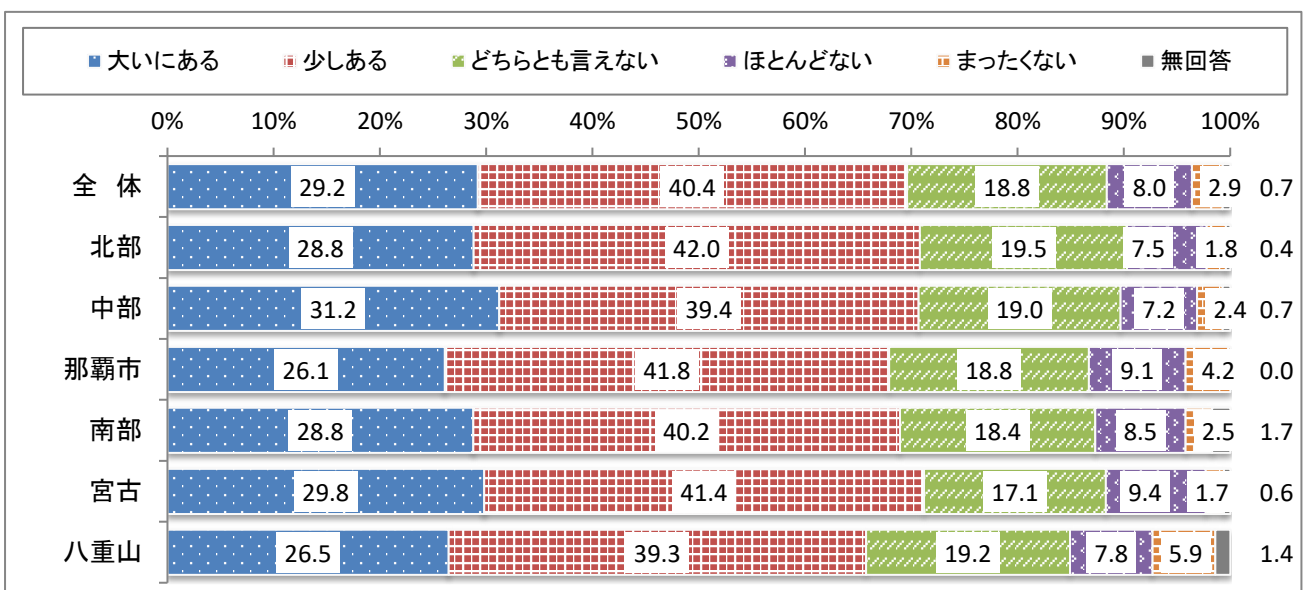
性別でみると、男女ともに「少しある」が約4割であるが、「大いにある」が男性(27.8%)より女性(30.3%)が高い。

世帯年収別にみると、年収800万円以上は「大いにある」「少しある」の割合が79.7%で最も高い。一方、100万円未満では、「大いにある」「少しある」の割合が最も低く、6割を下回っている。

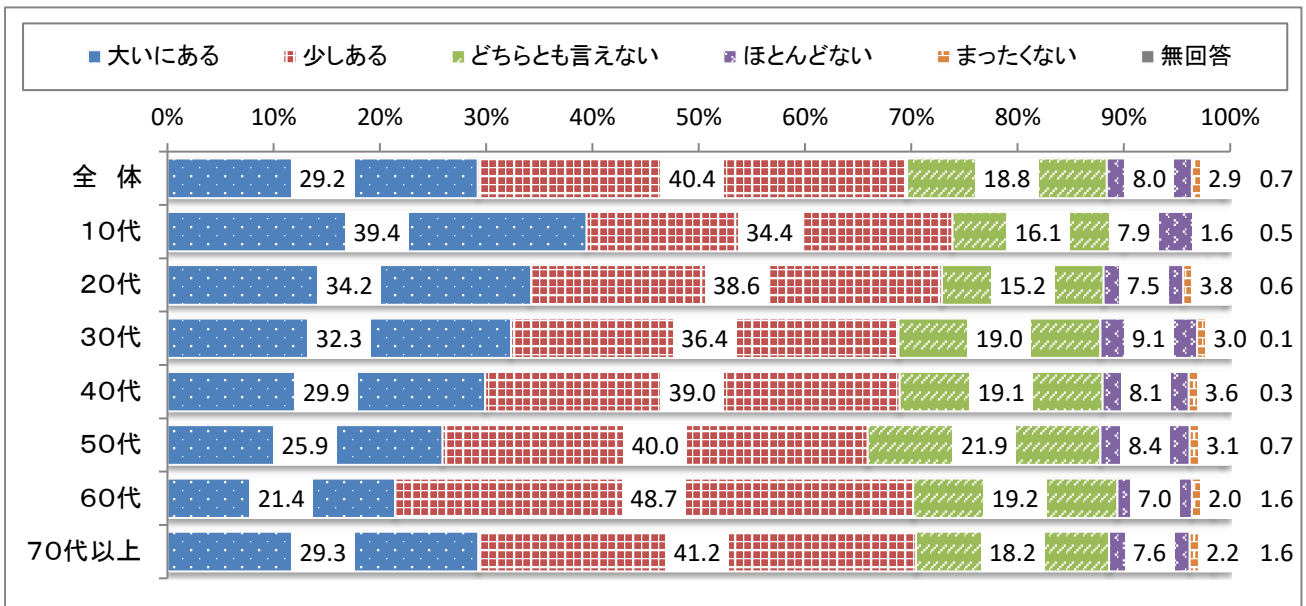
図表Ⅱ-2-51 生きがい (時系列比較)



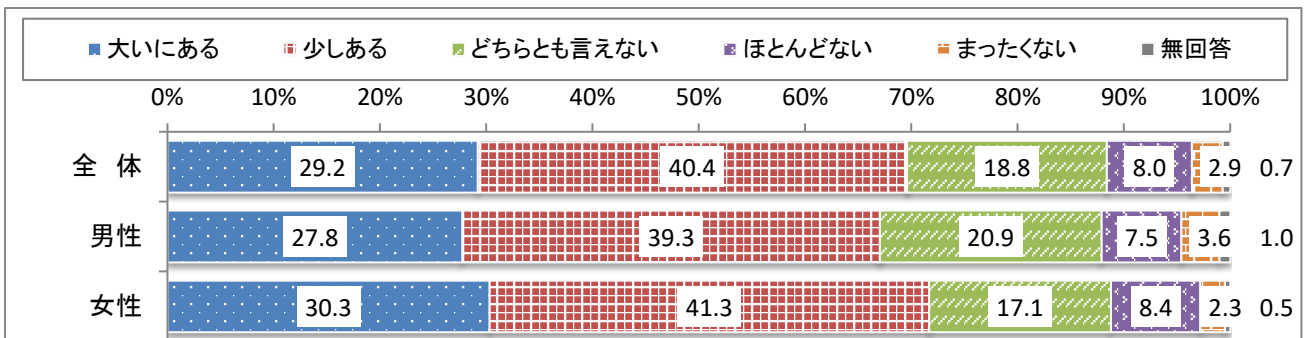
図表Ⅱ-2-52 生きがい (地域別)



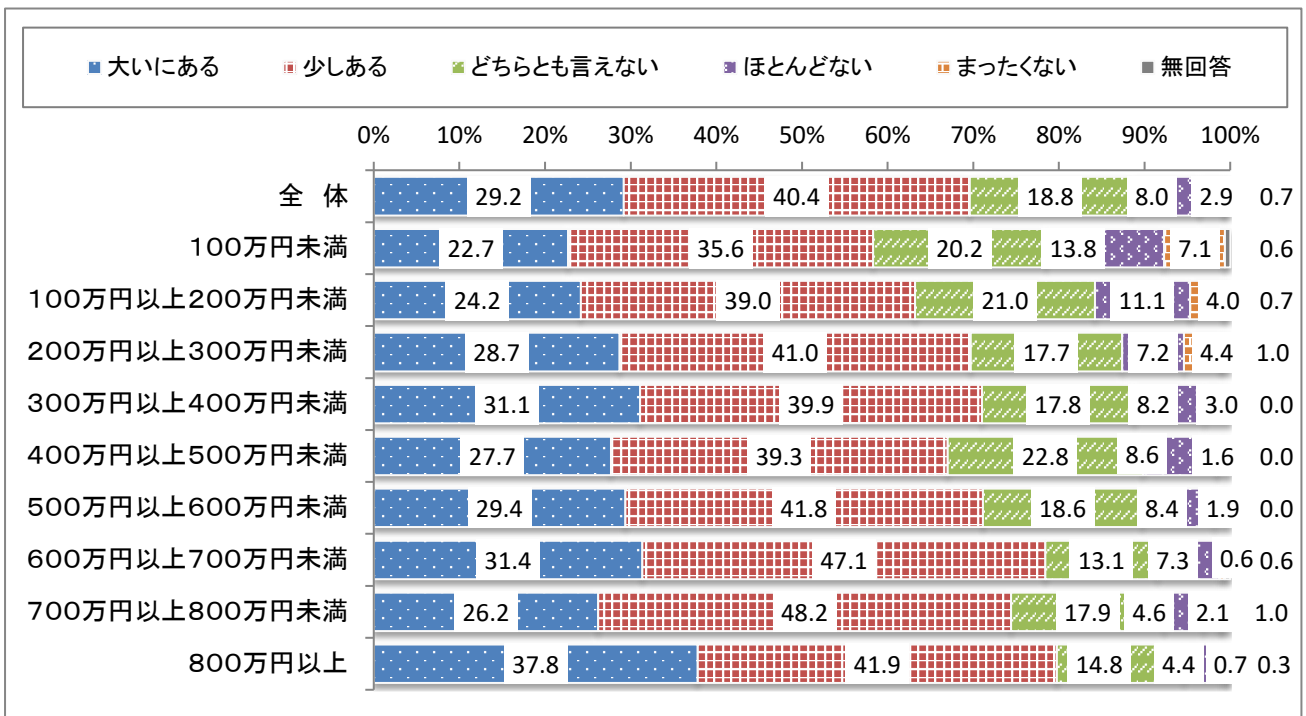
図表Ⅱ-2-53 生きがい（年代別）



図表Ⅱ-2-54 生きがい（性別）



図表Ⅱ-2-55 生きがい（世帯年収別）



## 2. 自己及び社会に対する意識（問1）

### （1） 社会に対する満足度（問1-12）

現在の社会に対する満足度については、「どちらかと言えば満足していない」(35.9%)の割合が最も高く、次いで「どちらかと言えば満足している」(27.9%)、「満足していない」(21.0%)、「どちらとも言えない」(12.0%)、「満足している」(2.6%)となっている。「満足していない」と「どちらかと言えば満足していない」を合わせた不満層が5割を超えている。

平成30年度調査と比較すると、「どちらかと言えば満足している」が減少し、「どちらかと言えば満足していない」が上昇している。

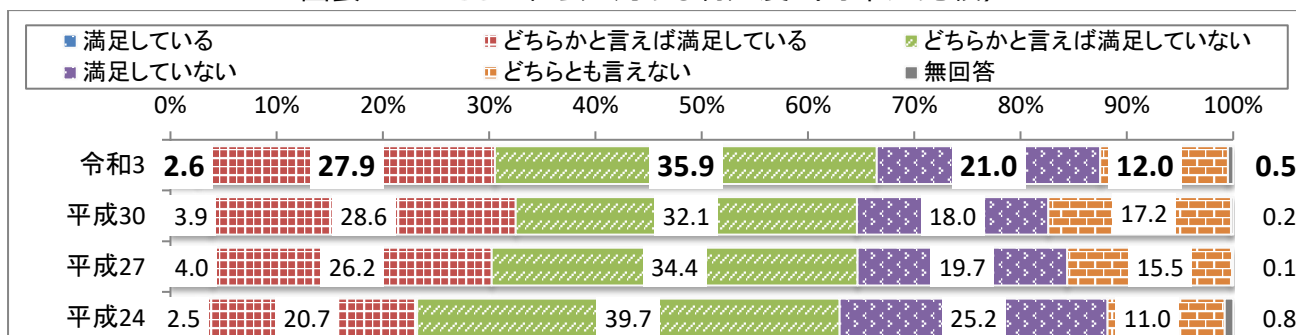
地域別にみると、「どちらかと言えば満足している」の割合が八重山(33.8%)と最も高く、「満足している」の割合は宮古(3.9%)が最も高い。那覇市は「満足していない」の割合が24.8%で最も高く、北部は「どちらかと言えば満足していない」の割合が37.6%と最も高い。

年代別にみると、10代の「満足している」の割合は5.8%、「どちらかと言えば満足している」が32.3%で「満足している」との回答が38.1%となる。30代の「満足していない」の割合24.2%と最も高く、40代の「どちらかと言えば満足していない」の割合は40.5%と最も高い。

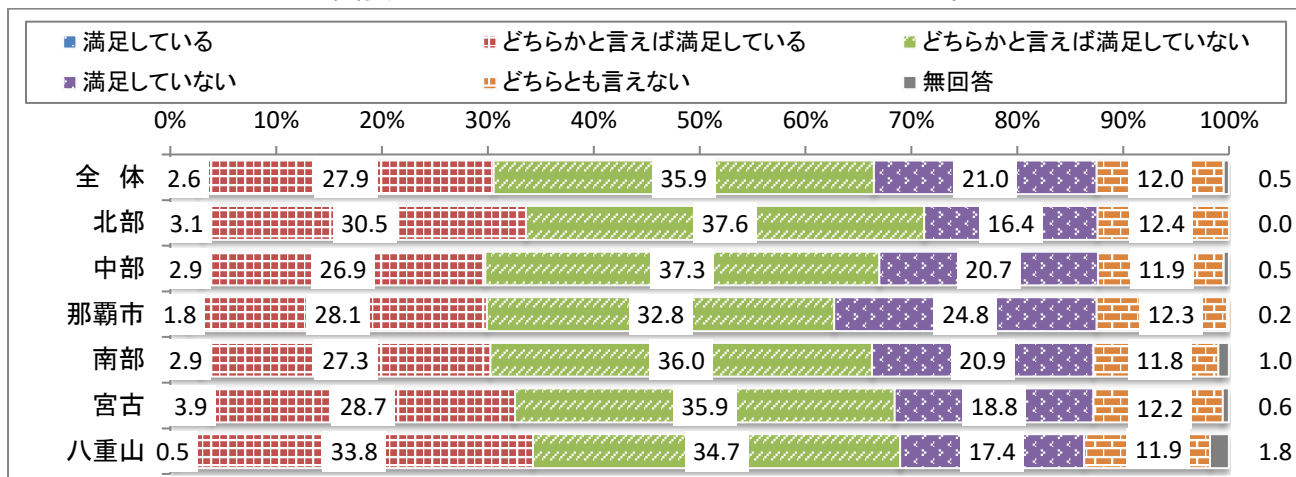
性別でみると、男性の「満足している」の割合は3.2%と女性の2.1%より高い。

世帯年収別にみると、年収800万円は「満足している」の割合は4.8%と最も高い。年収300万円以上400万円未満は「どちらかと言えば満足していない」の割合が42.1%と最も高く、年収100万円未満は「満足していない」(26.7%)、「どちらとも言えない」(21.8%)の割合が最も高い。

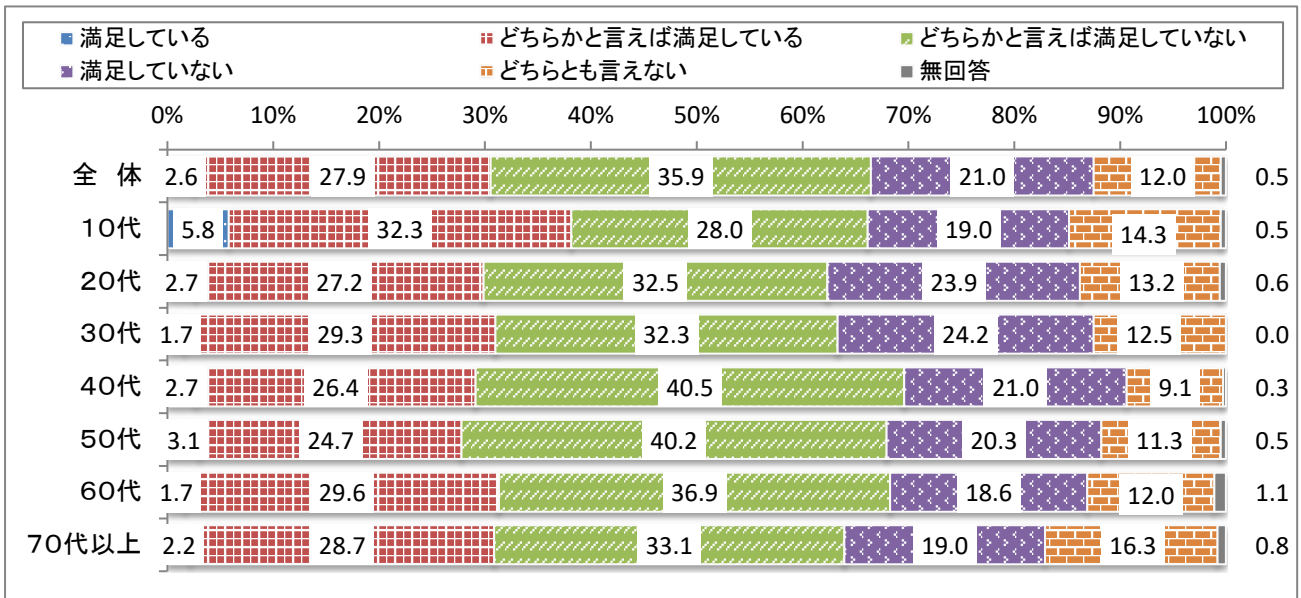
図表Ⅱ-2-56 社会に対する満足度（時系列比較）



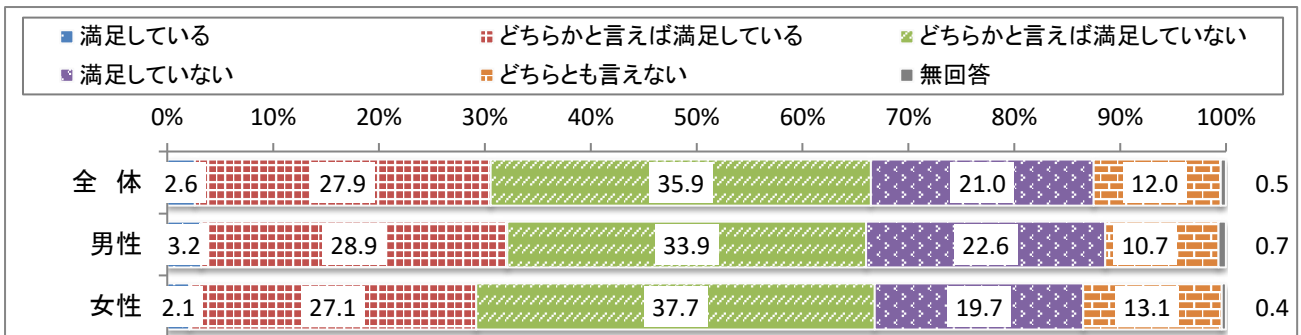
図表Ⅱ-2-57 社会に対する満足度（地域別）



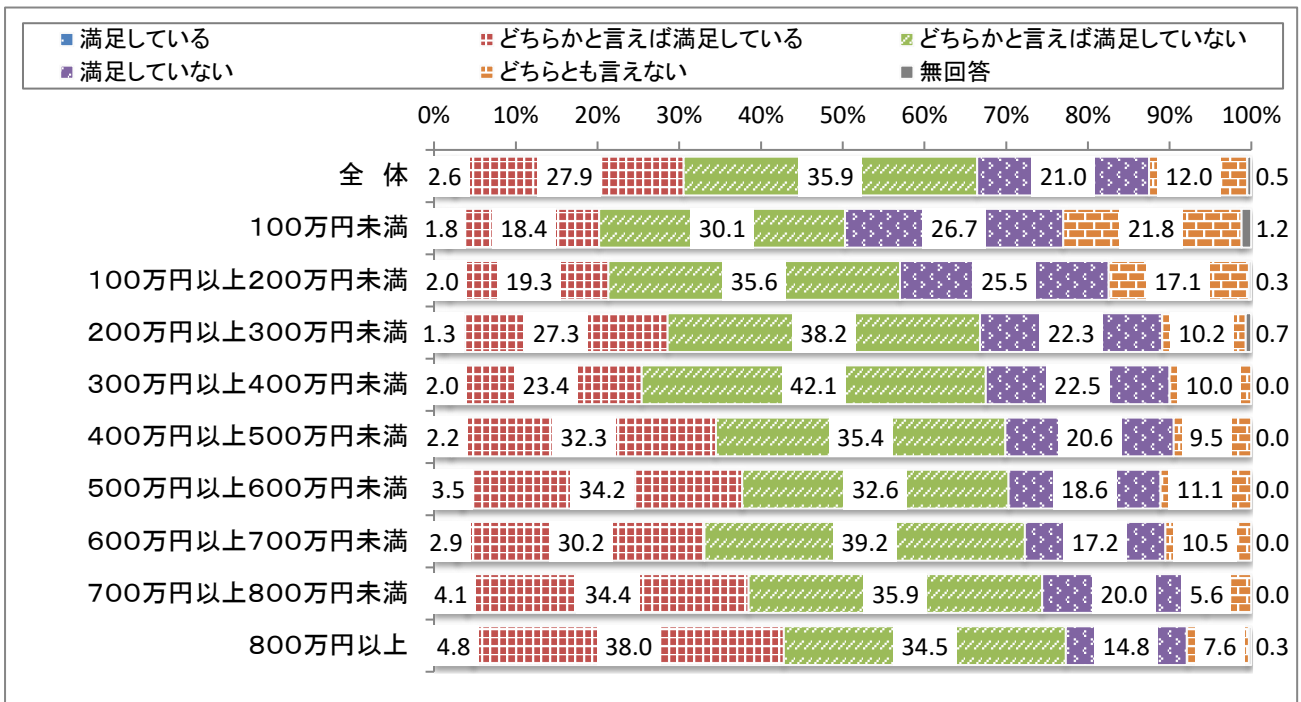
図表Ⅱ-2-58 社会に対する満足度（年代別）



図表Ⅱ-2-59 社会に対する満足度（性別）



図表Ⅱ-2-60 社会に対する満足度（世帯年収別）





## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

### (2) 県民間の経済格差 (問1-13)

10年前の沖縄と比べて県民間の経済格差については、「変わらないと思う」(37.4%)の割合が最も高く、次いで「格差は広がったと思う」(34.3%)、「わからない」(22.4%)、「格差は縮まったと思う」(5.3%)となっている。

過去3回の調査と比較すると、「わからない」の割合が減少している。「格差は広がったと思う」の割合は上昇している。

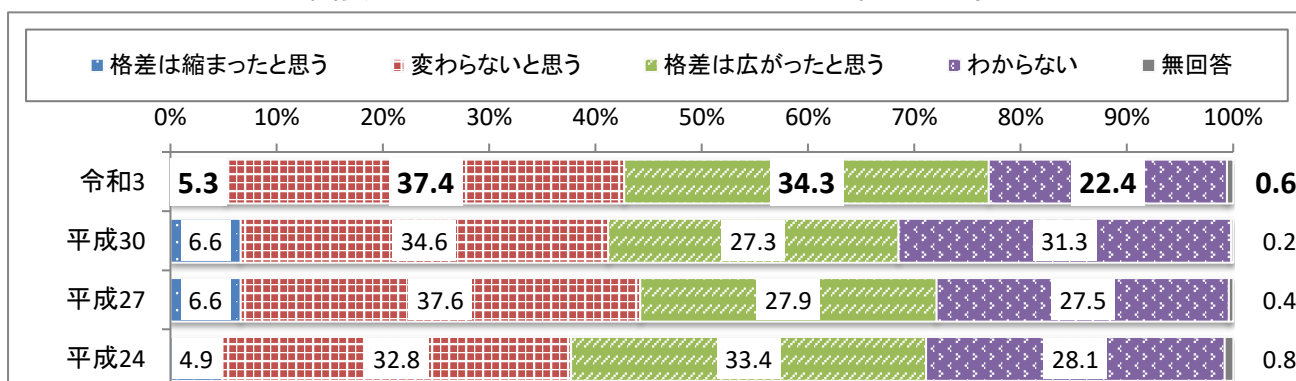
地域別にみると、「格差は縮まったと思う」の割合が八重山(8.7%)と最も高く、「格差は広がったと思う」の割合は那覇市(36.1%)が最も高い。

年代別にみると、10代の「格差は縮まったと思う」の割合は6.6%と最も高いが、「わからない」が59.3%で回答を保留している割合が最も高い。50代の「格差は広がったと思う」の割合は41.1%と最も高い。

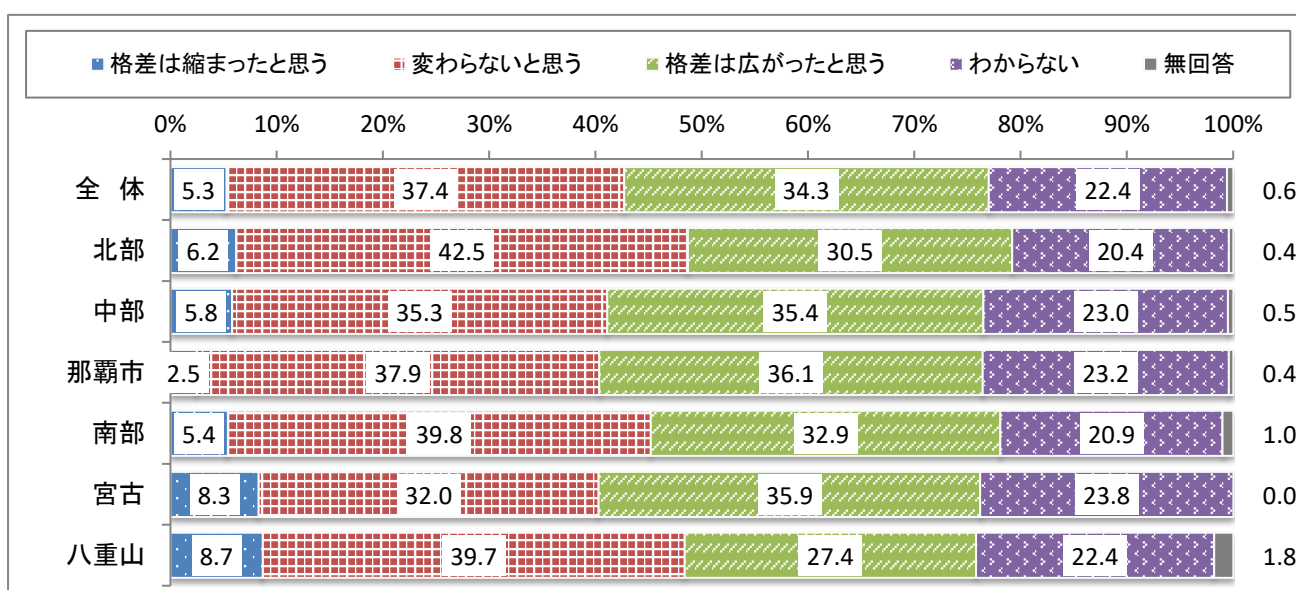
性別でみると、男性、女性ともに「格差は縮まったと思う」の割合は5.3%となっている。女性は「わからない」の割合が男性より高くなっている。

世帯年収別にみると、年収800万円以上は「格差は縮まったと思う」の割合は6.9%と最も高い。年収600万円以上700万円未満は「格差は広がったと思う」の割合は39.8%で最も高く、年収500万円以上600万円未満は「変わらないと思う」の割合が39.9%と最も高くなっている。

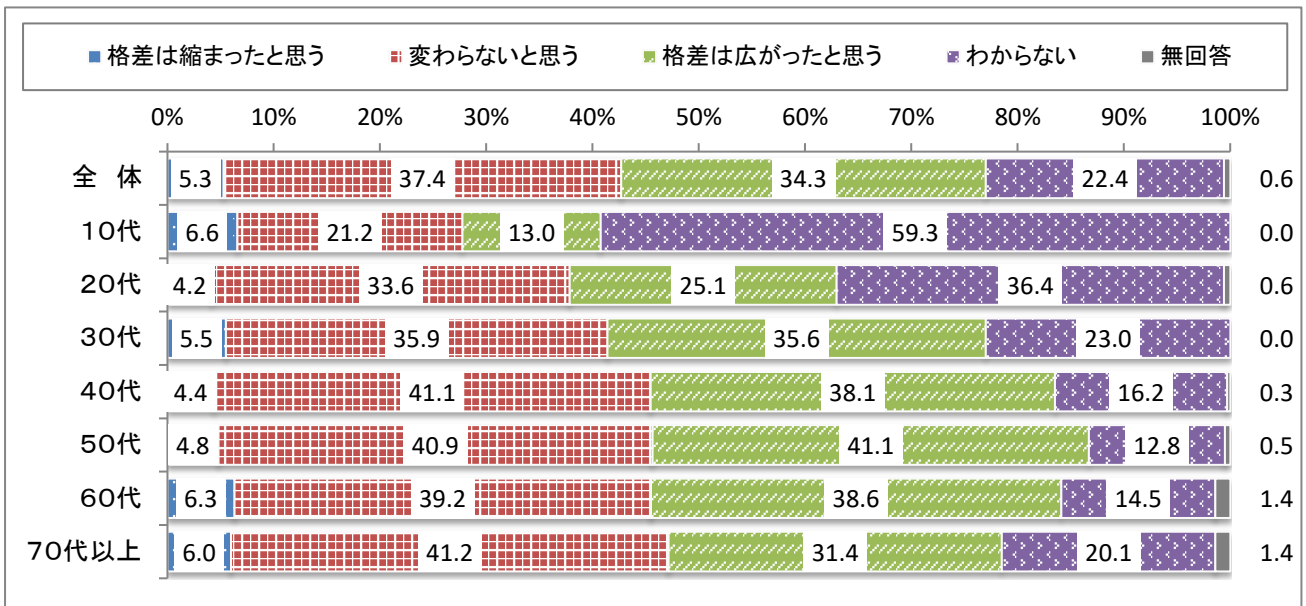
図表Ⅱ-2-61 県民間の経済格差 (時系列比較)



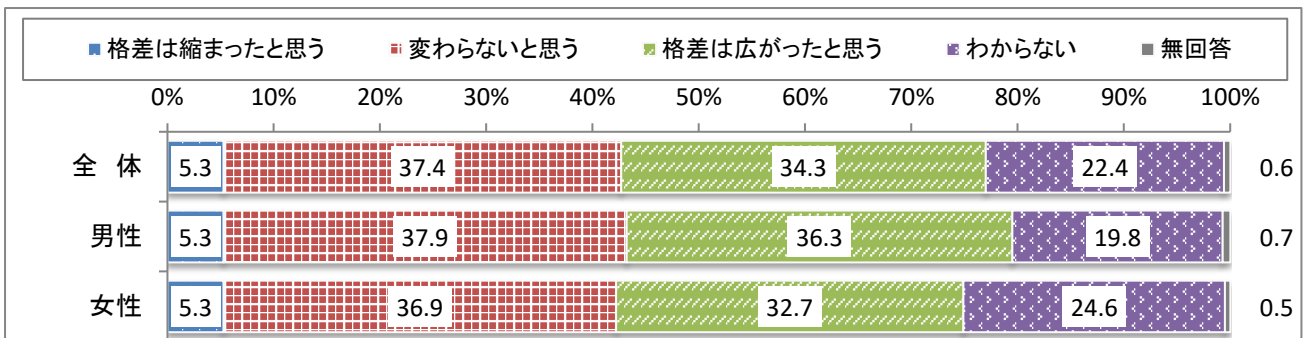
図表Ⅱ-2-62 県民間の経済格差 (地域別)



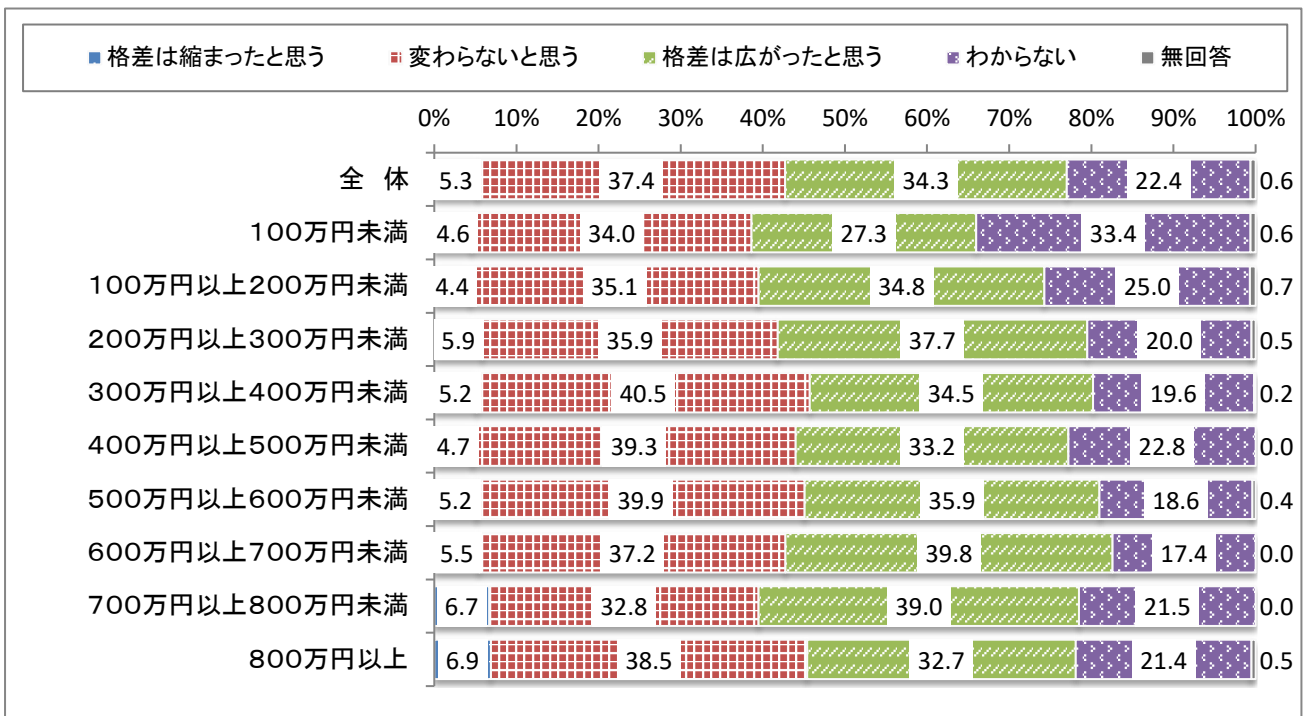
図表Ⅱ-2-63 県民間の経済格差（年代別）



図表Ⅱ-2-64 県民間の経済格差（性別）



図表Ⅱ-2-65 県民間の経済格差（世帯年収別）



## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

### (3) 沖縄に誇りを感じるか (問1-14)

沖縄に誇りを感じるかについては、「どちらかと言えば誇りを感じている」(54.8%)の割合が最も高く、次いで「誇りを強く感じている」(27.3%)、「どちらかと言えば誇りを感じていない」(12.3%)、「誇りを感じていない」(4.8%)となっている。

過去3回の調査と比較すると、大きな変化はないが、「どちらかと言えば誇りを感じていない」の割合がやや上昇している。

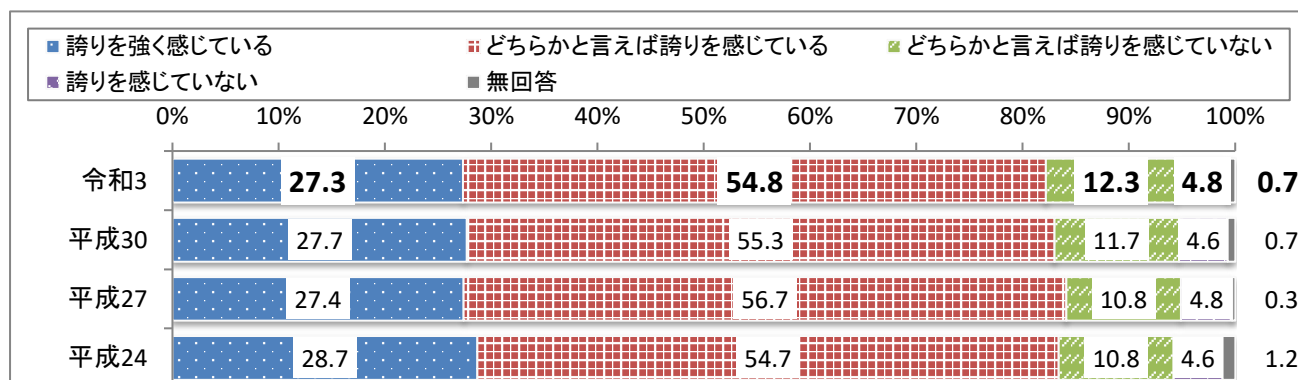
地域別にみると、「誇りを強く感じている」の割合は中部(30.2%)が最も高く、「どちらかと言えば誇りを感じている」の割合は宮古(60.2%)が最も高い。「誇りを感じていない」の割合は八重山(6.8%)で高い。

年代別にみると、10代の「誇りを強く感じている」の割合は33.9%と最も高い。30代の「誇りを感じていない」(8.3%)、「どちらかと言えば誇りを感じていない」(12.5%)で2割以上が誇りを感じていない。60代の「どちらかと言えば誇りを感じている」の割合は61.7%と最も高い。

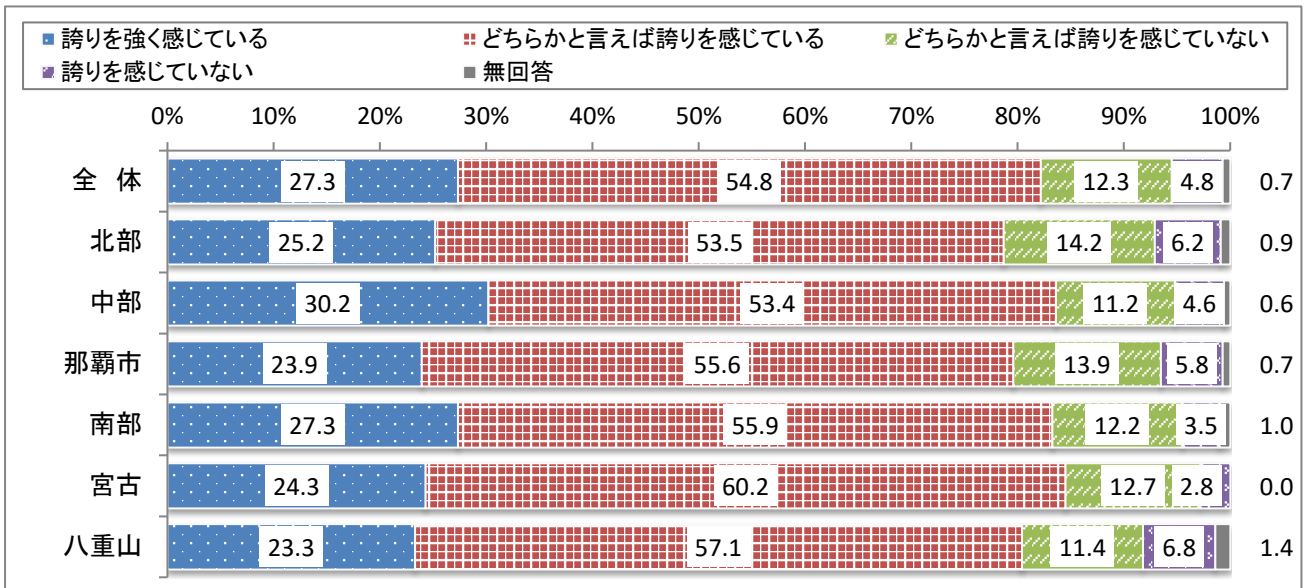
性別でみると、女性は「誇りを強く感じている」(27.7%)「どちらかと言えば誇りを感じている」(57.3%)が8割以上となり男性よりも高くなっている。

世帯年収別にみると、年収100万円未満と200万円以上300万円未満の誇りを感じていない割合は2割程度で他の世帯年収より高い。一方、600万円以上700万円未満は「誇りを強く感じている」の割合は32.0%で最も高くなっている。

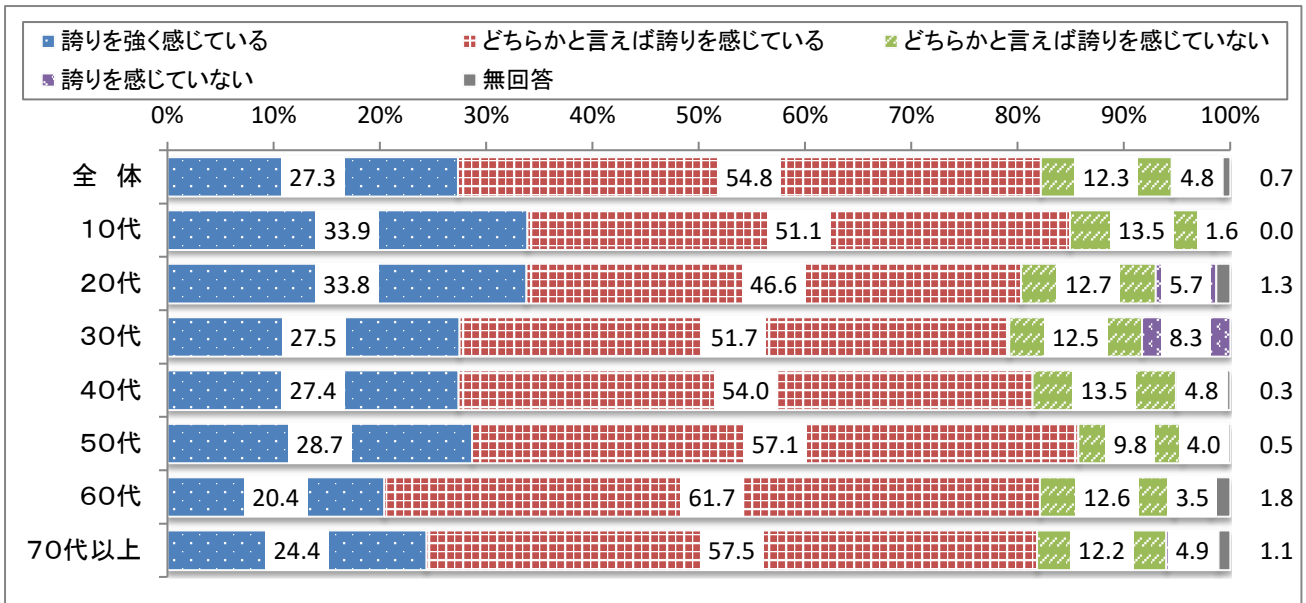
図表Ⅱ-2-66 沖縄に誇りを感じるか (時系列比較)



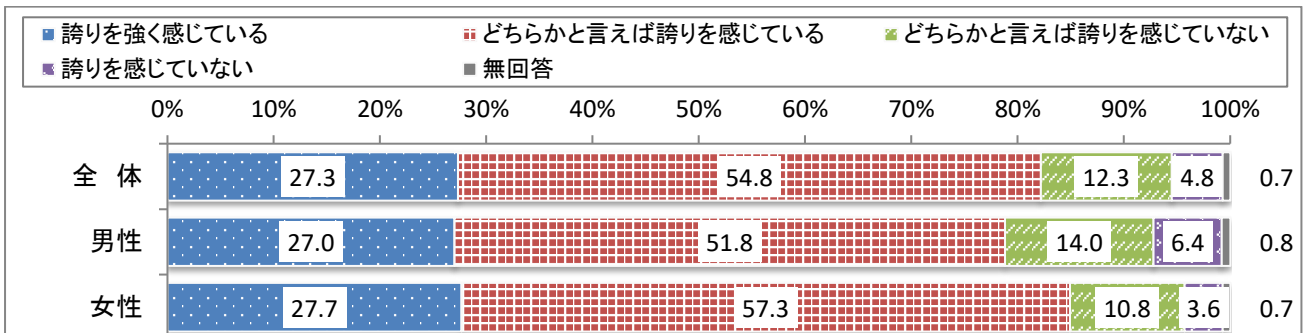
図表Ⅱ-2-67 沖縄に誇りを感じるか（地域別）



図表Ⅱ-2-68 沖縄に誇りを感じるか（年代別）

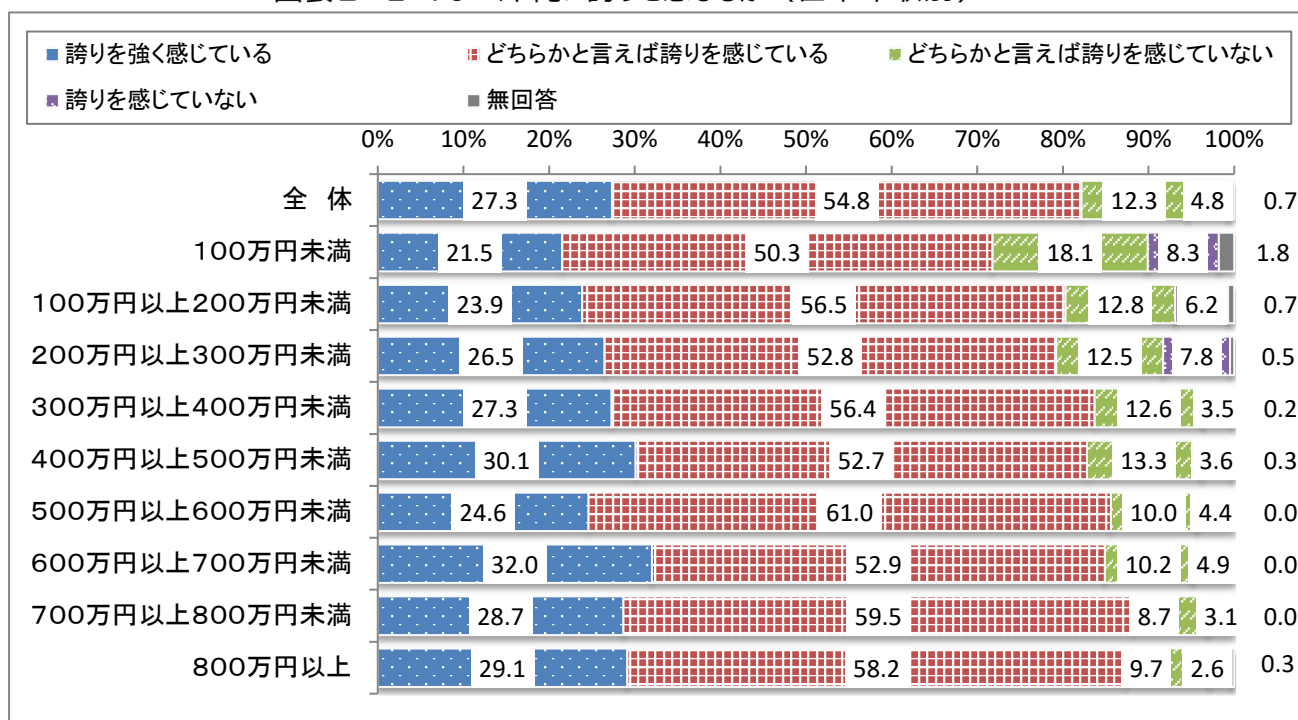


図表Ⅱ-2-69 沖縄に誇りを感じるか（性別）



## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

図表Ⅱ-2-70 沖縄に誇りを感じるか（世帯年収別）



(4) 沖縄に生まれて良かったと思うか (問1-15)

沖縄県に生まれ、あるいは生活できて良かったと思うかについては、「非常に良かったと思う」(44.7%)の割合が最も高く、次いで「まあまあ良かったと思う」(38.6%)、「どちらとも言えない」(12.4%)、「あまり良かったと思わない」(2.4%)、「良かったと思わない」(1.3%)となっている。

平成30年度調査と比較して、「非常に良かったと思う」の割合がやや上昇している。また、「あまり良かったと思わない」の割合もやや上昇している。

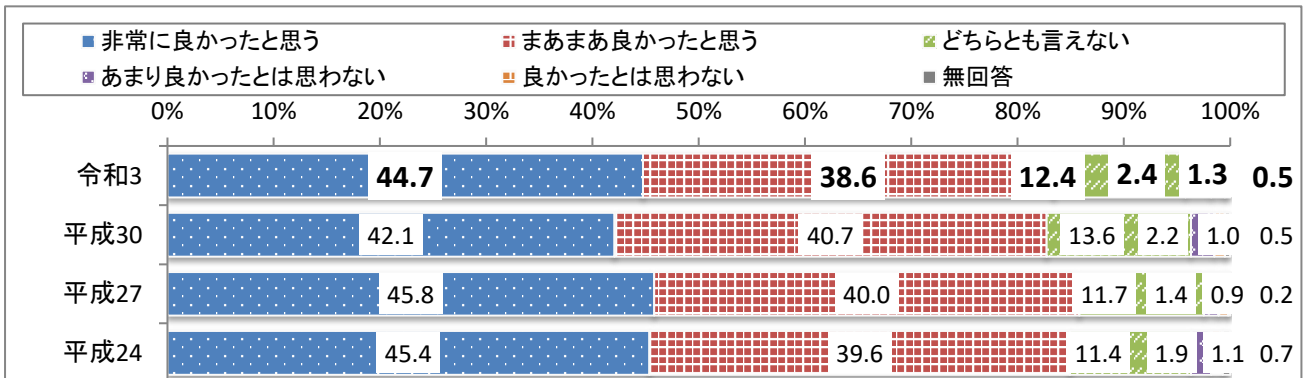
地域別にみると、「非常に良かったと思う」の割合は中部(47.3%)が最も高く、「まあまあ良かったと思う」の割合は宮古(42.0%)が最も高い。「あまり良かったと思わない」の割合は那覇市が2.9%と高い。

年代別にみると、「非常に良かったと思う」の割合は20代(54.9%)が最も高く、「良かったとは思わない」の割合は30代(2.3%)が最も高い。

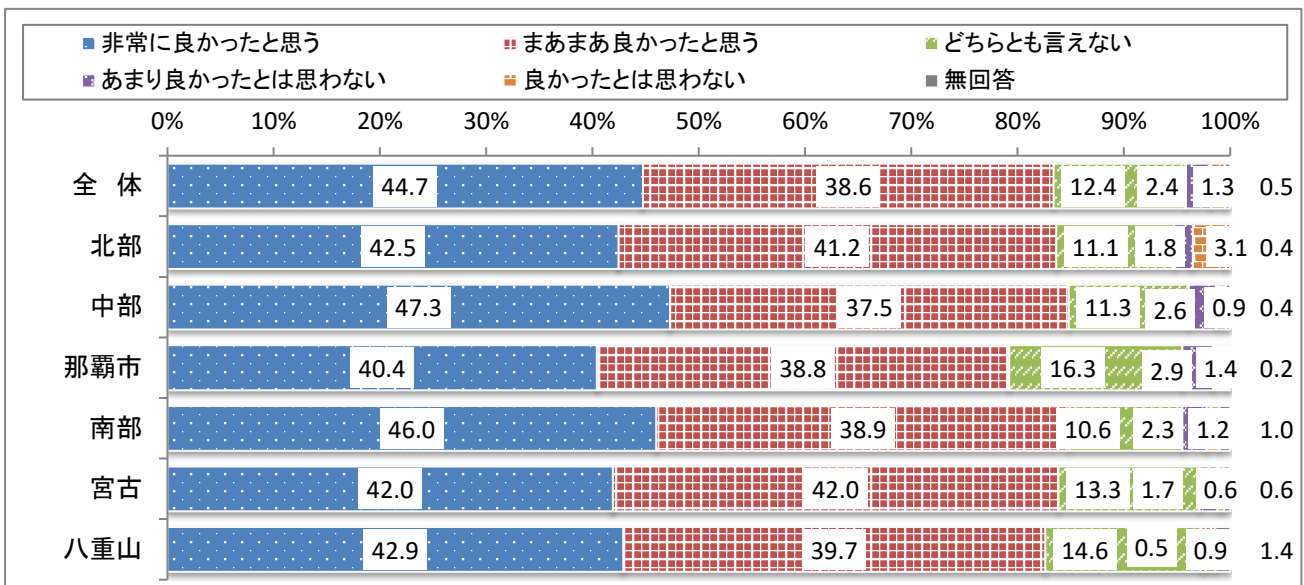
性別でみると、「非常に良かった」は男性(41.6%)のより女性(47.5%)が高い。

世帯年収別にみると、年収600万円以上700万円未満は良かったと思うとの回答は89.2%で最も高い。「非常に良かった」の割合は100万円未満(33.1%)が最も低くなっている。

図表Ⅱ-2-71 沖縄に生まれて良かったと思うか (時系列比較)

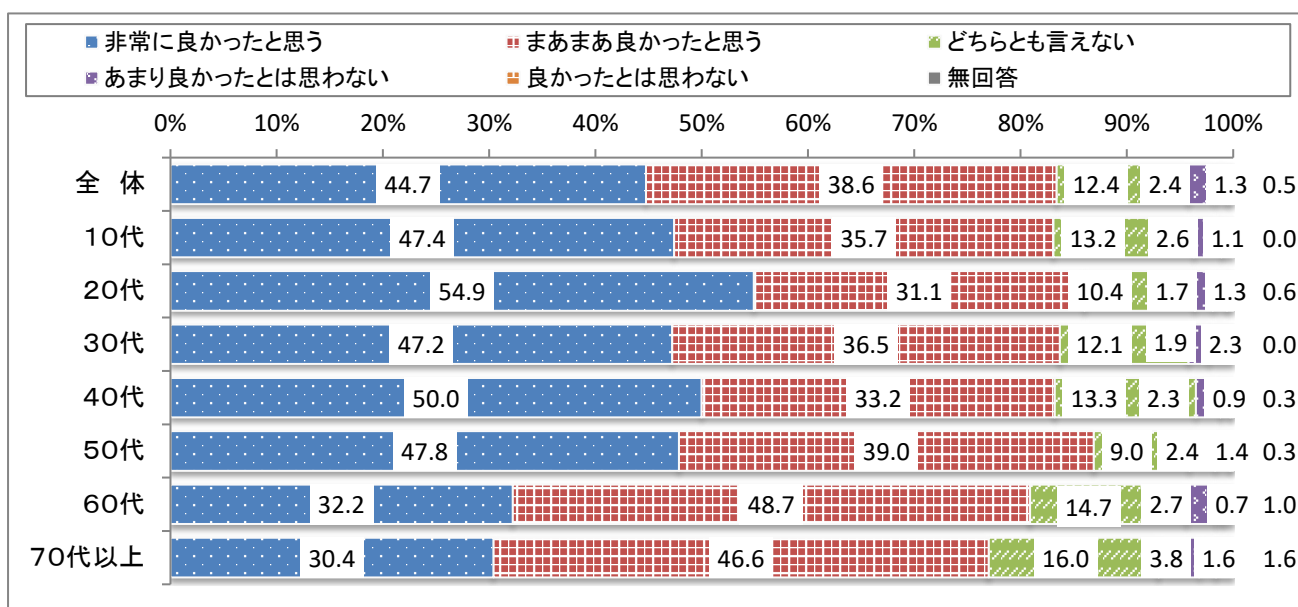


図表Ⅱ-2-72 沖縄に生まれて良かったと思うか (地域別)

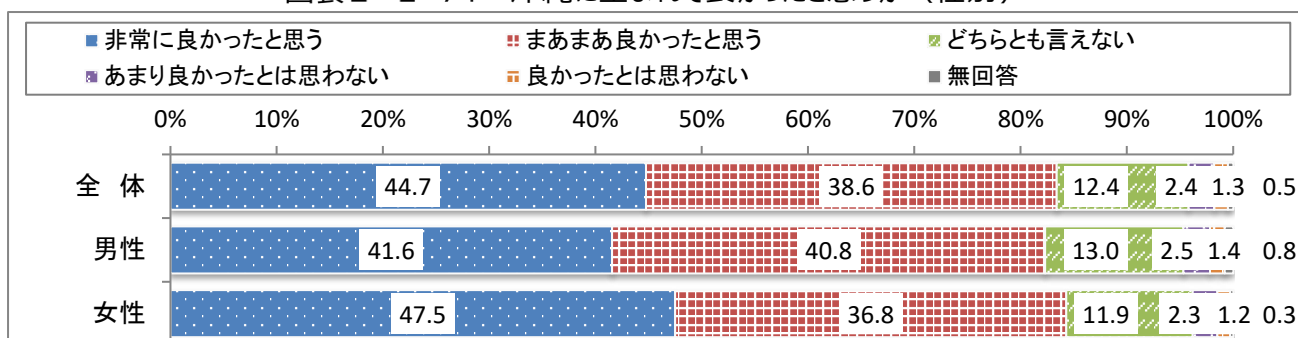


## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

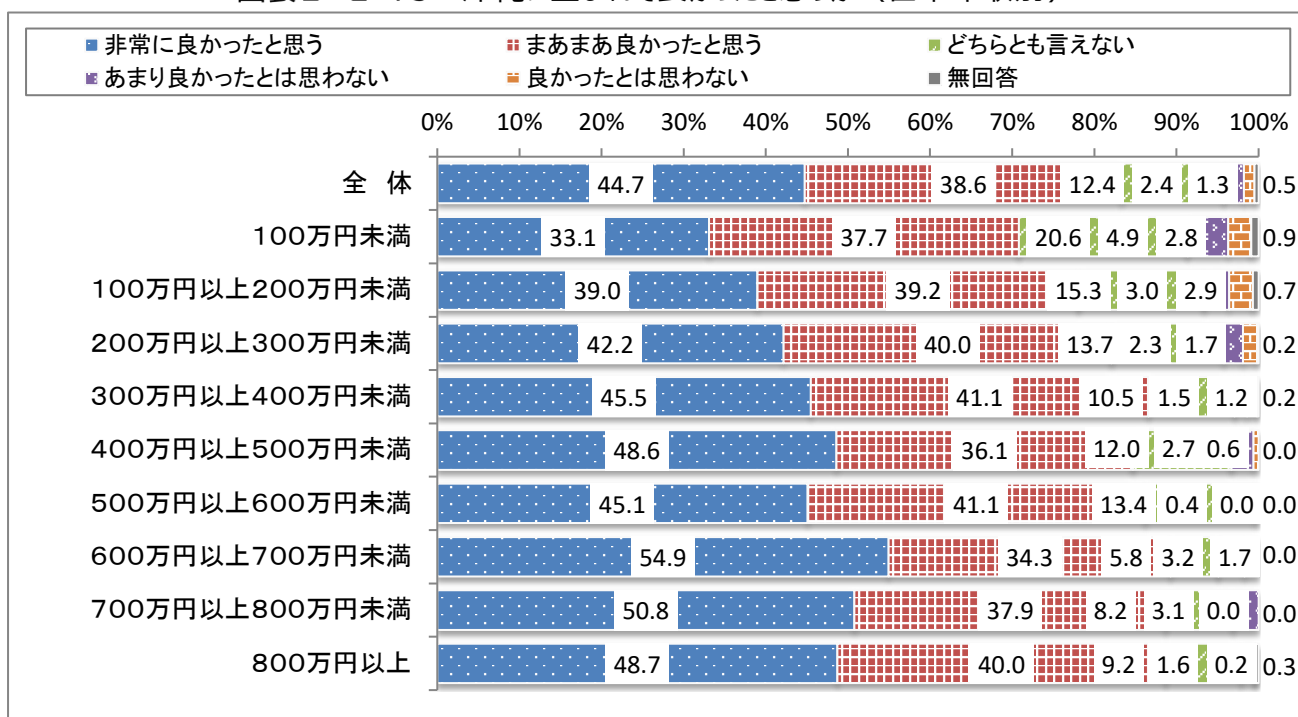
図表Ⅱ-2-73 沖縄に生まれて良かったと思うか（年代別）



図表Ⅱ-2-74 沖縄に生まれて良かったと思うか（性別）



図表Ⅱ-2-75 沖縄に生まれて良かったと思うか（世帯年収別）



(5) 米軍施設への認識 (問1-16)

沖縄県に全国の米軍専用施設の約70%が存在していることについて差別的な状況との認識については、「そう思う」(39.4%)の割合が最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」(26.9%)、「どちらかと言えばそう思わない」(12.4%)、「そう思わない」(10.7%)、「わからない」(10.3%)となっている。

過去3回の調査と比較すると、「そう思う」の割合が減少しているが、「そう思わない」は若干上昇している。

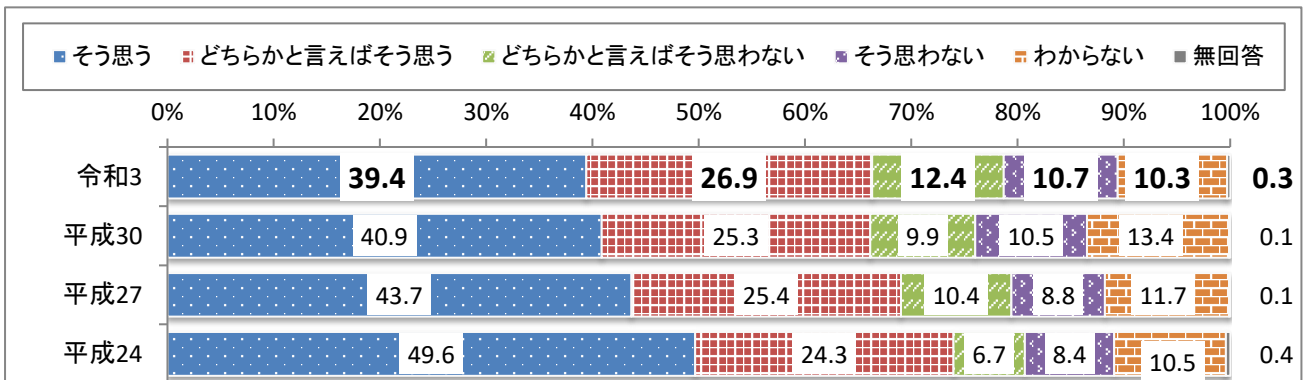
地域別にみると、「そう思う」の割合は南部(43.5%)が最も高く、「そう思わない」の割合は八重山(14.2%)が最も高い。

年代別にみると、60代～70代以上で「そう思う」が5割以上の高い回答となる。「そう思う」の20代の割合は23.5%で最も低い。「そう思わない」の割合は20代(20.7%)が最も高い。

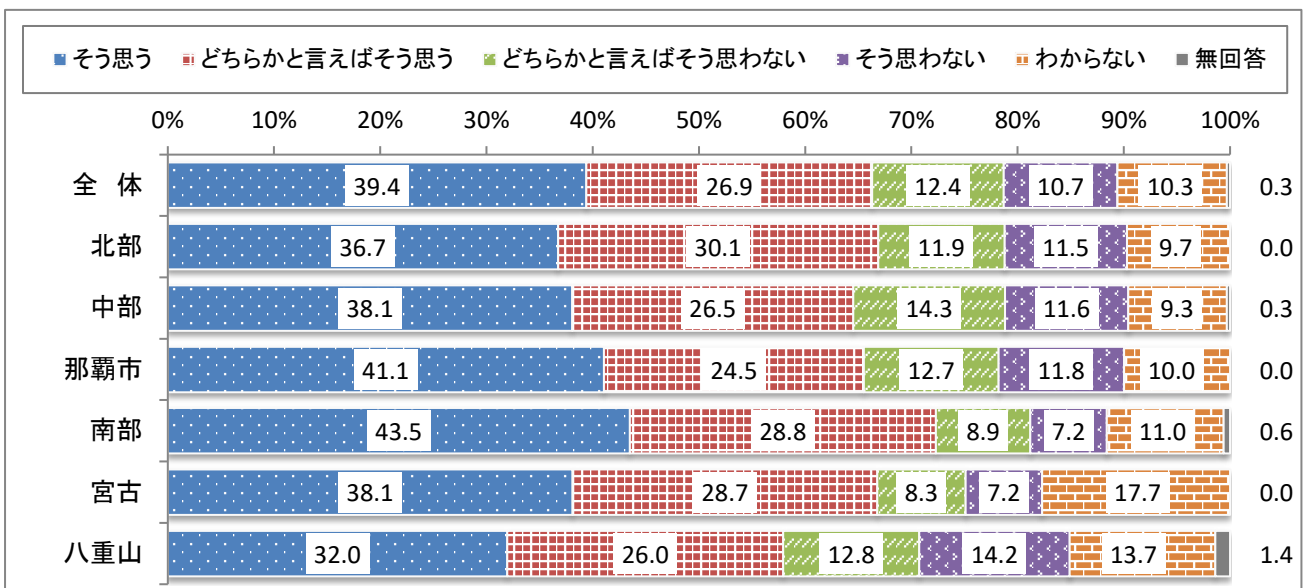
性別でみると、男女とも6割以上が「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答している。「わからない」の割合は女性(11.9%)で男性(8.4%)より高くなっている。

世帯年収別にみると、年収600万円以上700万円未満、800万円以上は7割が「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答している。「わからない」の割合は、年収100万円未満が16.9%と最も高くなっている。

図表Ⅱ-2-76 米軍施設への認識 (時系列比較)



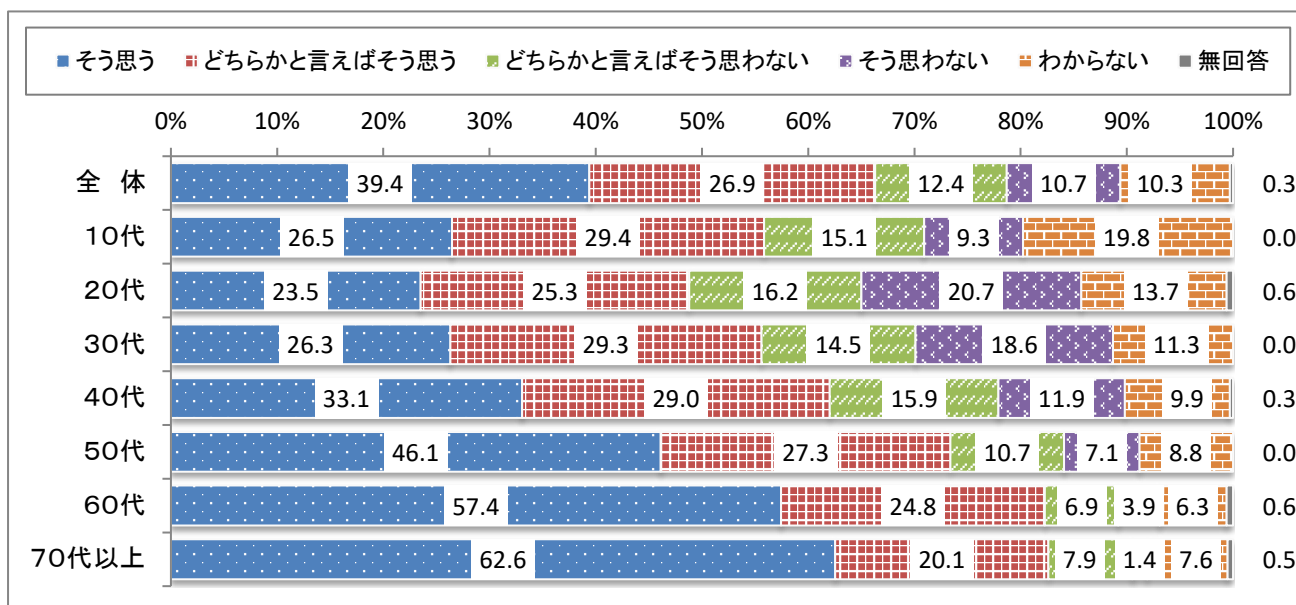
図表Ⅱ-2-77 米軍施設への認識 (地域別)



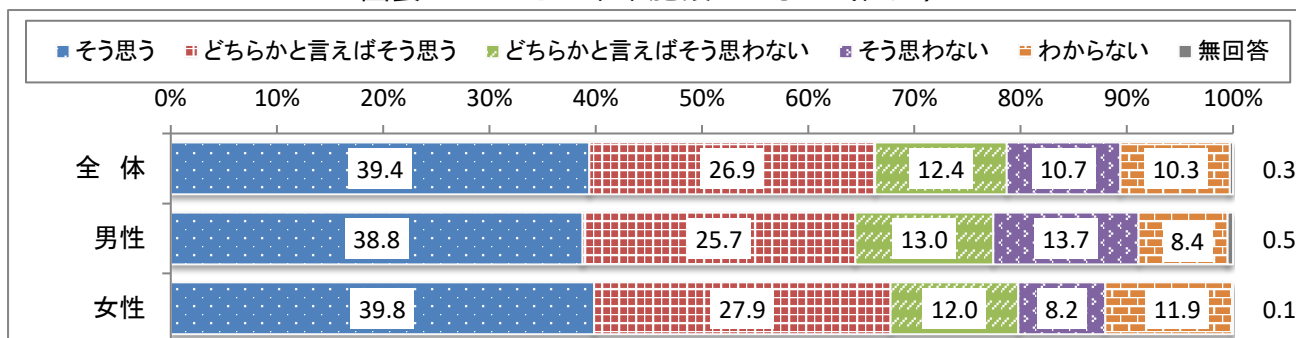


## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

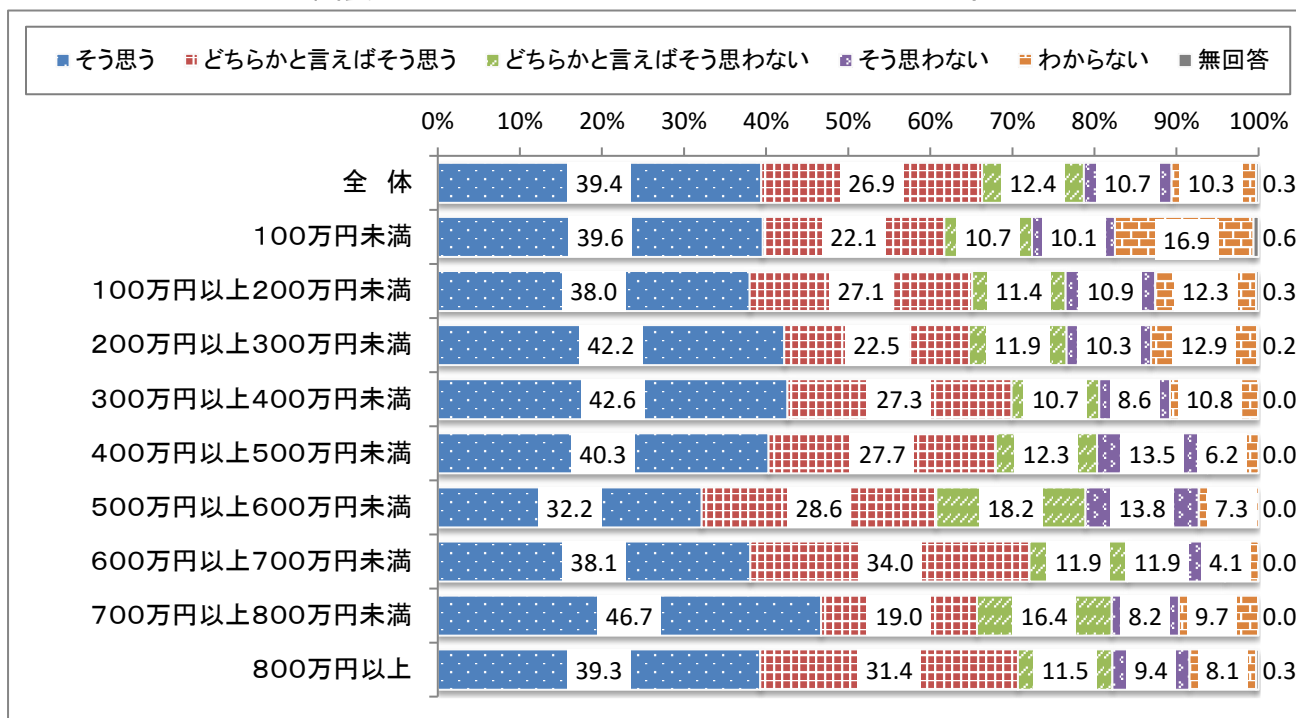
図表Ⅱ-2-78 米軍施設への認識（年代別）



図表Ⅱ-2-79 米軍施設への認識（性別）



図表Ⅱ-2-80 米軍施設への認識（世帯年収別）



(6) イベント・催し物への参加 (問1-17)

イベントや催し物(エイサー、盆踊り等)、会合(親睦モアイ等)への参加については、「ほとんど参加していない方だと思ふ」(39.0%)の割合が最も高く、次いで「どちらかと言えば参加している方だと思ふ」(27.0%)、「どちらかと言えば参加していない方だと思ふ」(26.5%)、「積極的に参加している方だと思ふ」(7.2%)となっている。

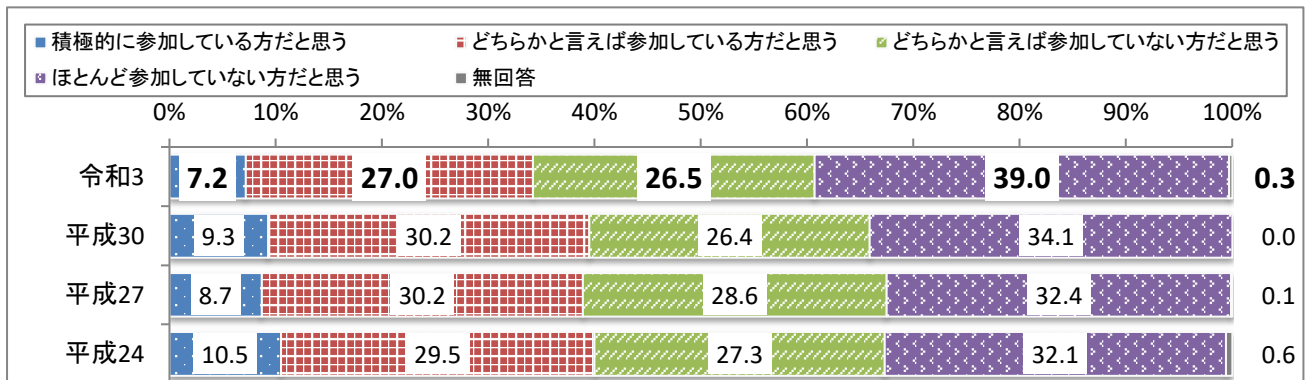
過去3回の調査と比較すると、「積極的に参加している方だと思ふ」の割合が減少し、「ほとんど参加していない方だと思ふ」の割合は上昇している。

地域別にみると、「積極的に参加している方だと思ふ」の割合は八重山(11.4%)が最も高い。八重山・北部・宮古で4割以上が参加しているとの高い回答である。「ほとんど参加していない方だと思ふ」の割合は那覇市(47.1%)が最も高い。

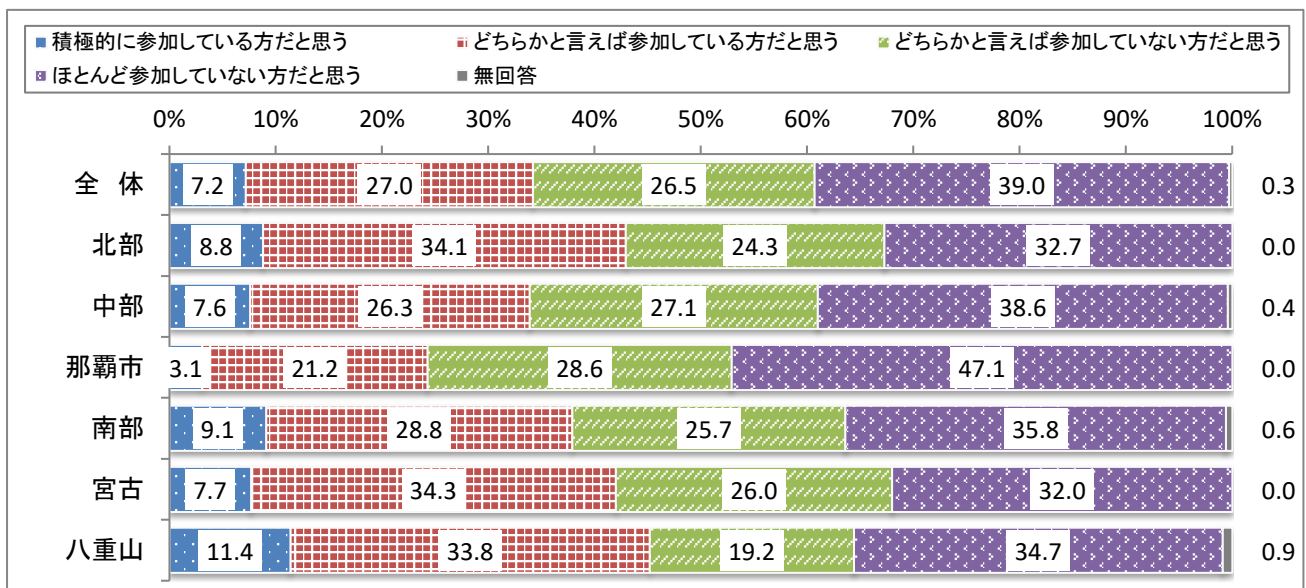
年代別にみると、70代以上で「積極的に参加している方だと思ふ」の割合が9.5%と最も高い。10代の「ほとんど参加していない方だと思ふ」の割合は51.6%で最も高くなっている。

世帯年収別にみると、年収600万円以上700万円未満で「積極的に参加している方だと思ふ」と「参加している方だと思ふ」を合わせた割合が38.6%と最も高く、年収100万円未満で「ほとんど参加していない方だと思ふ」の割合が51.8%と最も高くなっている。

図表Ⅱ-2-81 イベント・催し物への参加 (時系列比較)

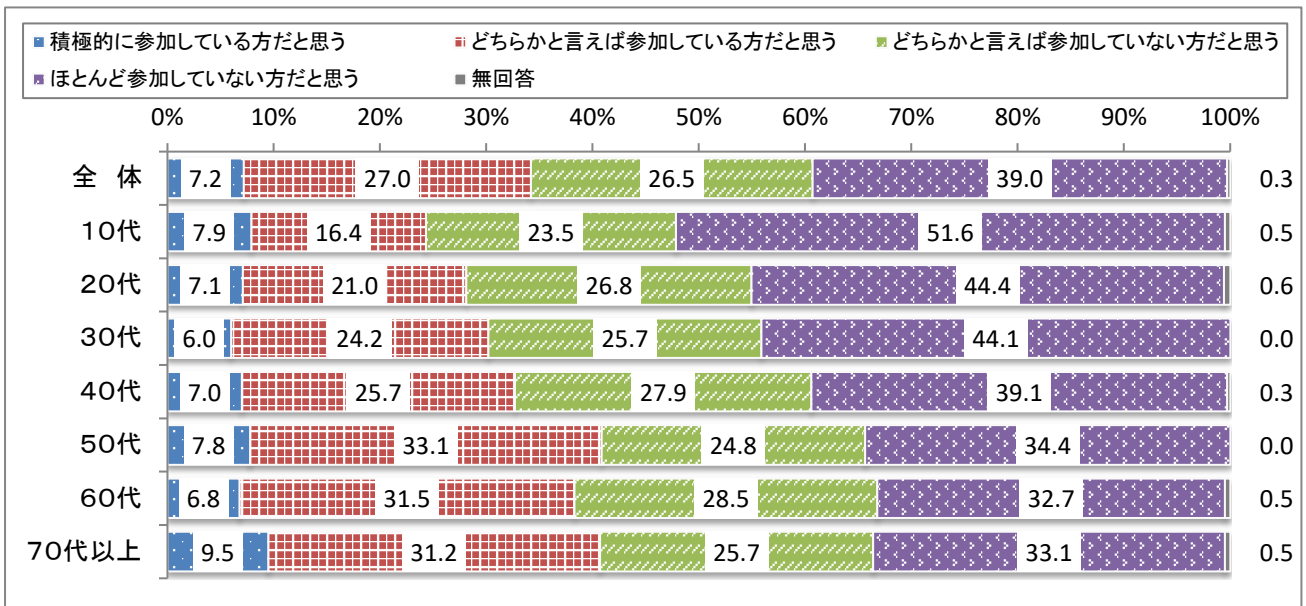


図表Ⅱ-2-82 イベント・催し物への参加 (地域別)

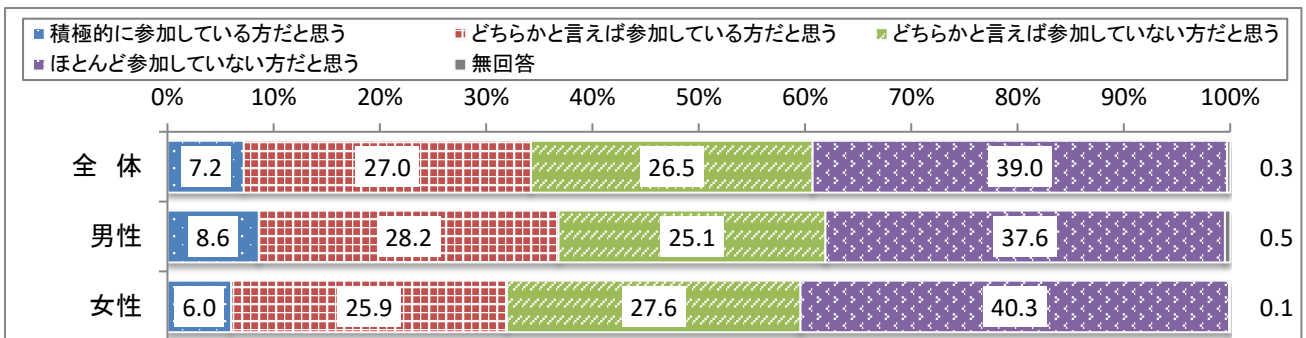


## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

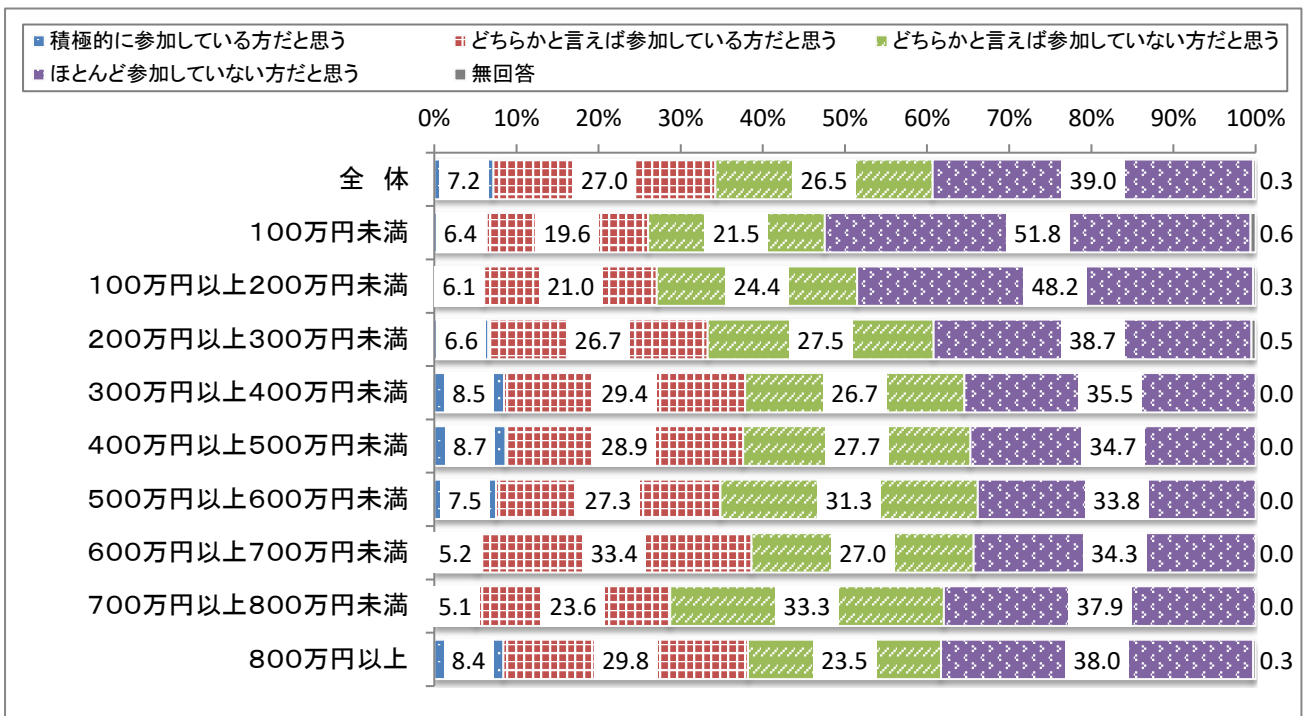
図表Ⅱ-2-83 イベント・催し物への参加（年代別）



図表Ⅱ-2-84 イベント・催し物への参加（性別）



図表Ⅱ-2-85 イベント・催し物への参加（世帯年収別）



### 3. 地域とのつながり（問2）

#### （1） 近隣に住んでいる方との交流の程度（問2-1-1）

近隣に住んでいる方との交流の程度については、「あまりない」(38.5%)の割合が最も高く、次いで「ほとんどない」(29.5%)、「どちらかというところ」(24.0%)、「よくある」(7.5%)となっている。

過去3回の調査と比較すると、「ほとんどない」の割合が上昇し、交流があるとの回答は減少している。

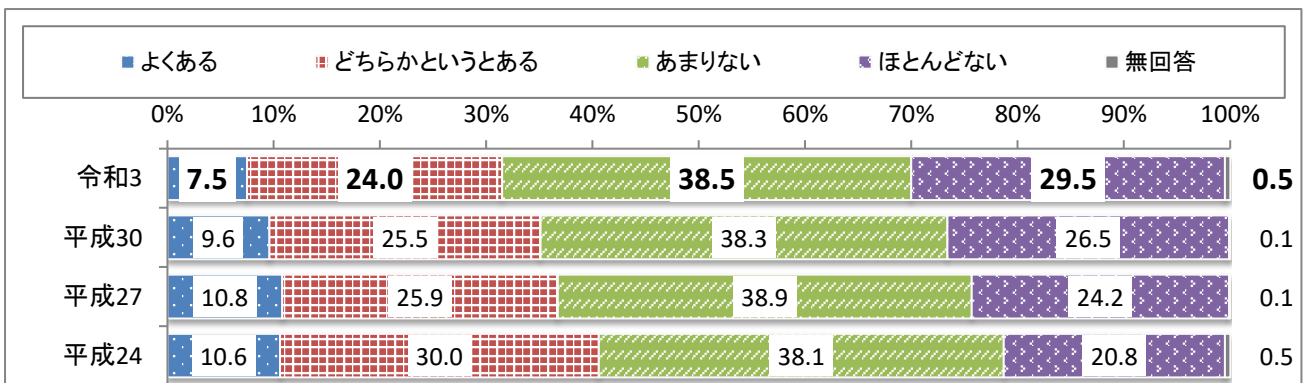
地域別にみると、「よくある」の割合は宮古(14.9%)が最も高い。宮古と八重山の5割は交流があると回答しており、「ほとんどない」の割合は那覇市(41.1%)が最も高い。

年代別にみると、70代以上で「よくある」の割合が17.3%と最も高い。「ほとんどない」の割合は、20代(42.1%)で最も高くなっている。

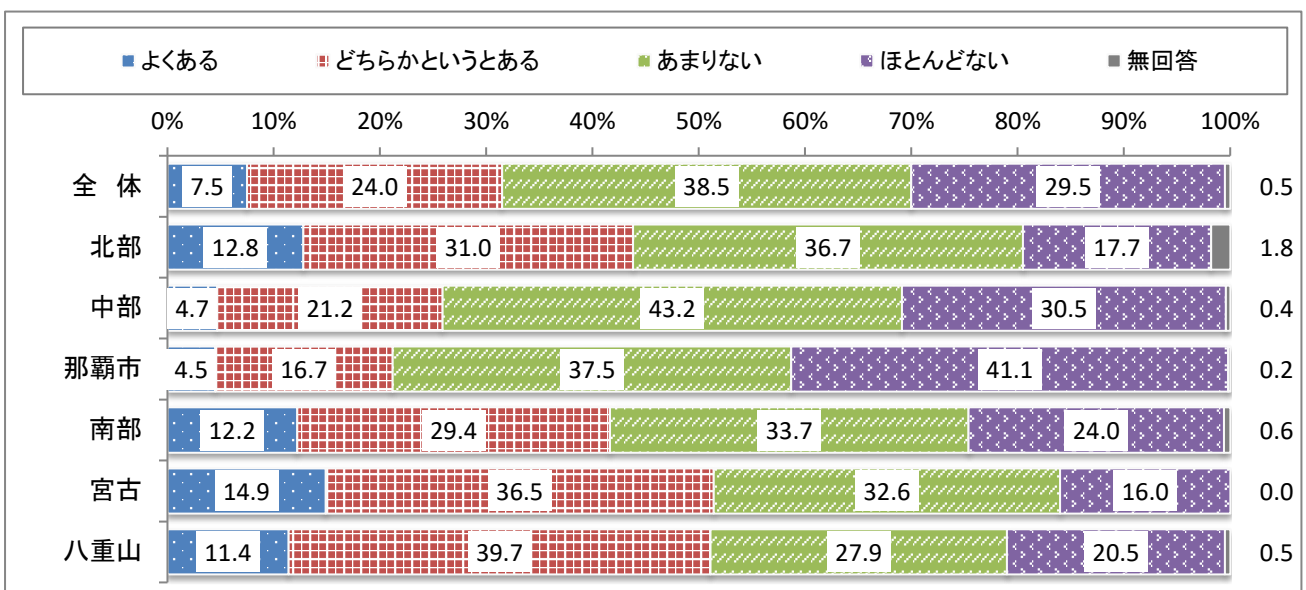
性別でみると、交流が「よくある」と「どちらかというところ」を合わせた割合は、女性(30.1%)よりも男性(33.2%)が高くなっている。

世帯年収別にみると、年収300万円以上400万円未満で交流がある割合が最も高く、年収100万円以上200万円未満では「ほとんどない」の割合が35.6%と最も高くなっている。

図表Ⅱ-2-86 近隣に住んでいる方との交流の程度（時系列比較）

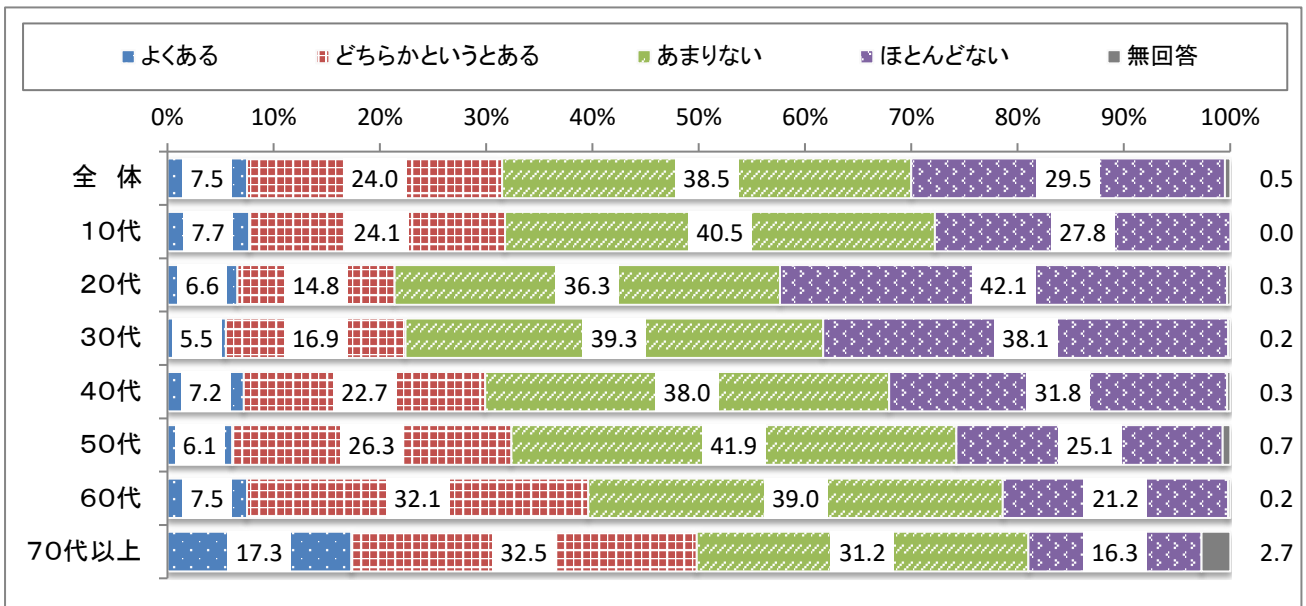


図表Ⅱ-2-87 近隣に住んでいる方との交流の程度（地域別）

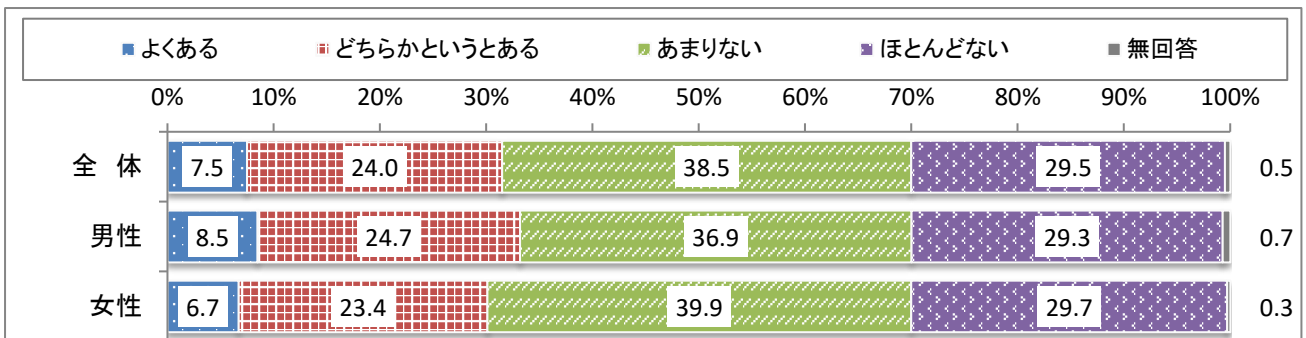


## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

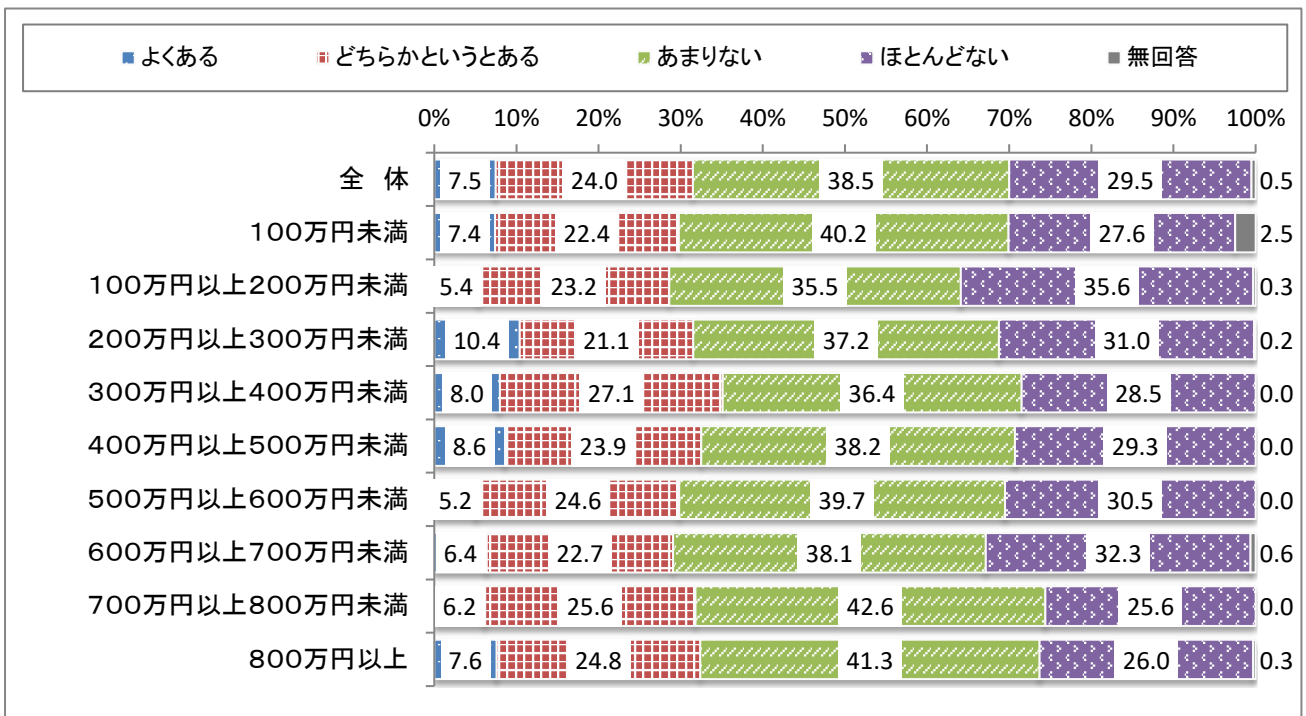
図表Ⅱ-2-88 近隣に住んでいる方との交流の程度（年代別）



図表Ⅱ-2-89 近隣に住んでいる方との交流の程度（性別）



図表Ⅱ-2-90 近隣に住んでいる方との交流の程度（世帯年収別）



(2) 地域活動への参加の程度 (問2-1-2)

地域活動への参加の程度については、「ほとんど参加していない」(51.2%)の割合が最も高く、次いで「あまり参加していない」(29.5%)、「どちらかというに参加している」(14.2%)、「よく参加している」(4.9%)となっている。

過去3回の調査と比較すると、「よく参加している」の割合が最も低くなり、「ほとんど参加していない」の割合は上昇している。

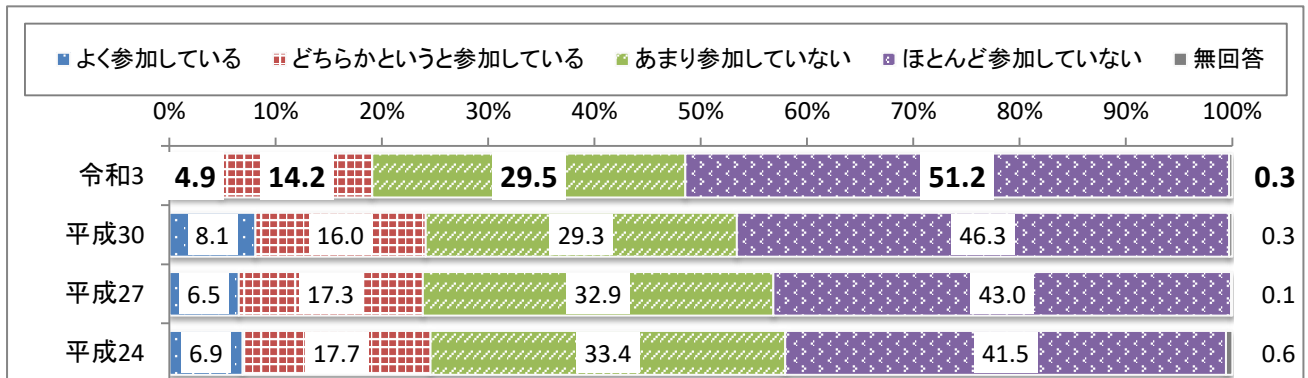
地域別にみると、北部・宮古・八重山では参加している割合が3割以上と高い。一方、那覇市・中部の参加の程度は低く、2割に満たない。

年代別にみると、70代以上で参加している割合が3割超で最も高いが、20代・30代では1割強と低い。「ほとんど参加していない」の割合は、30代(64.2%)が最も高い。

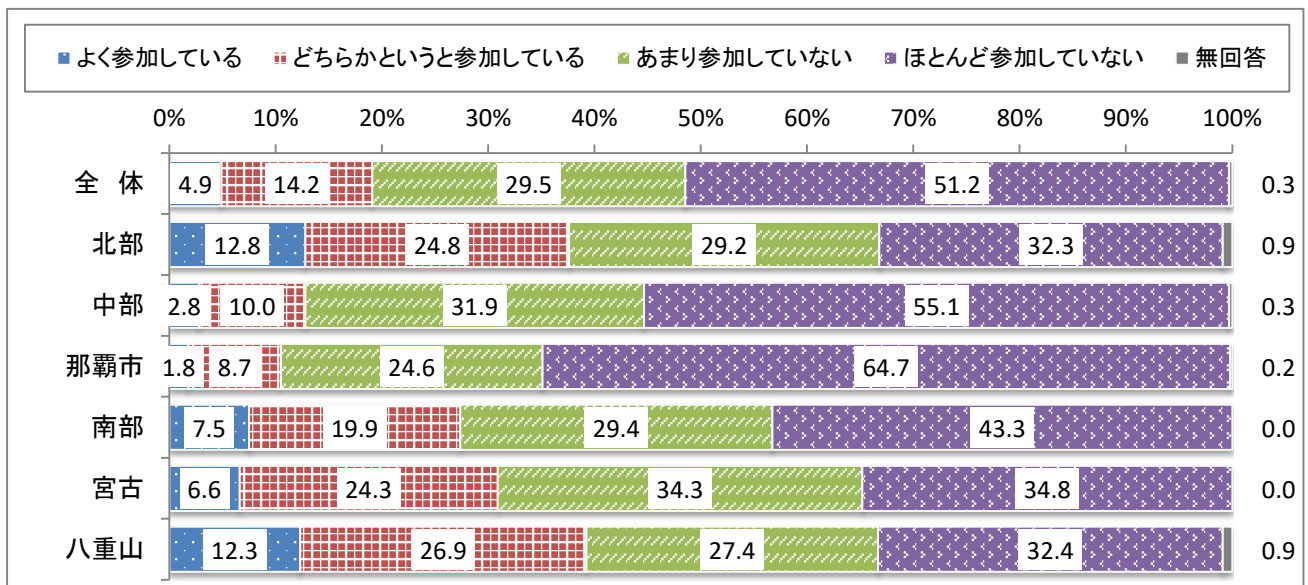
性別でみると、女性より男性が地域活動への参加の割合が高くなっている。

世帯年収別にみると、300万円以上、400万円未満、600万円以上700万円未満、500万円以上600万円未満は2割が参加している。「ほとんど参加していない」の割合は、100万円以上200万円以内(59.8%)が最も高い。

図表Ⅱ-2-91 地域活動への参加の程度 (時系列比較)

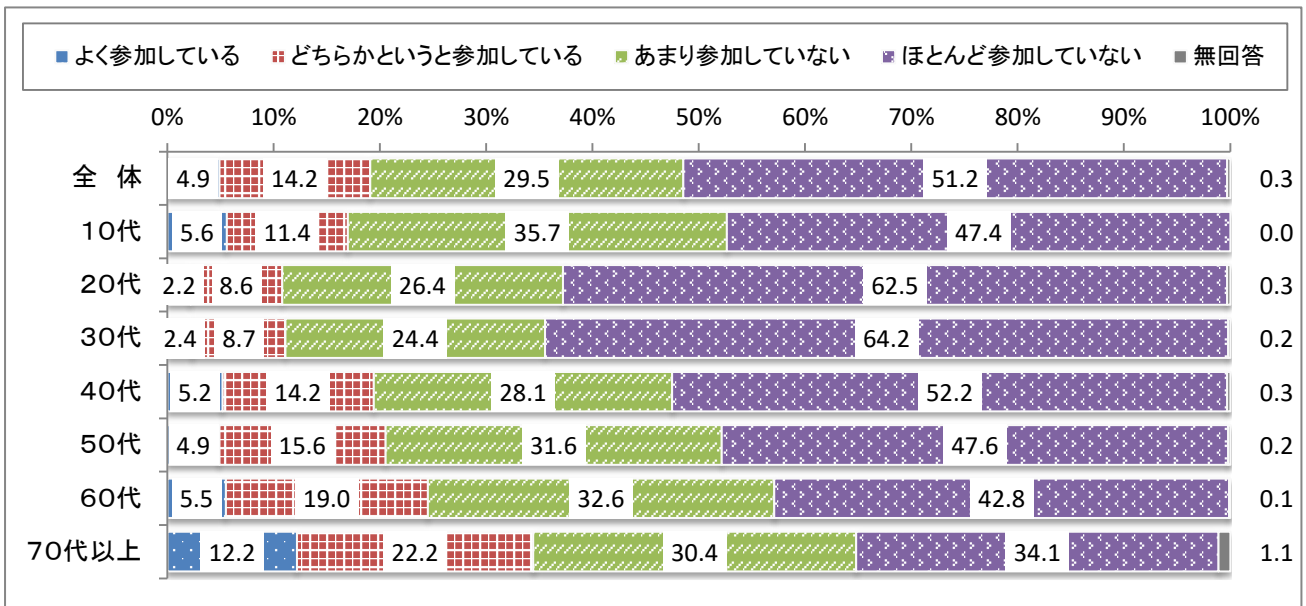


図表Ⅱ-2-92 地域活動への参加の程度 (地域別)

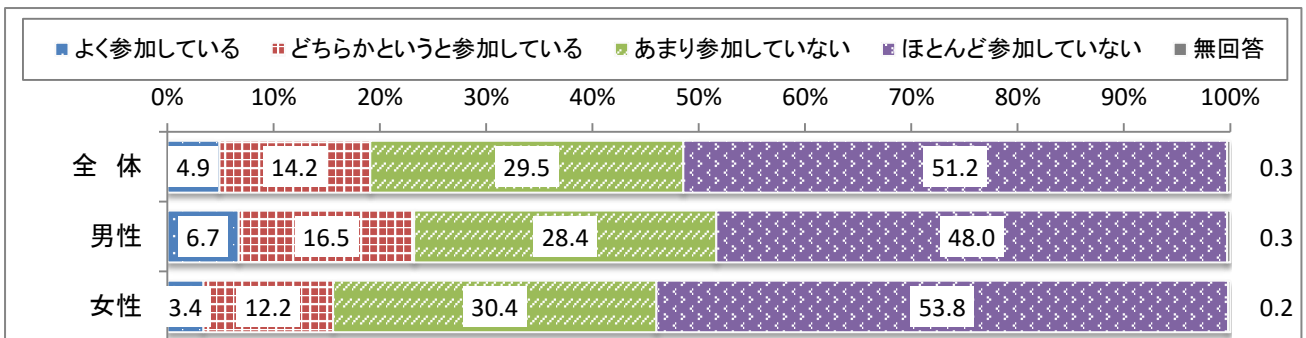


## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

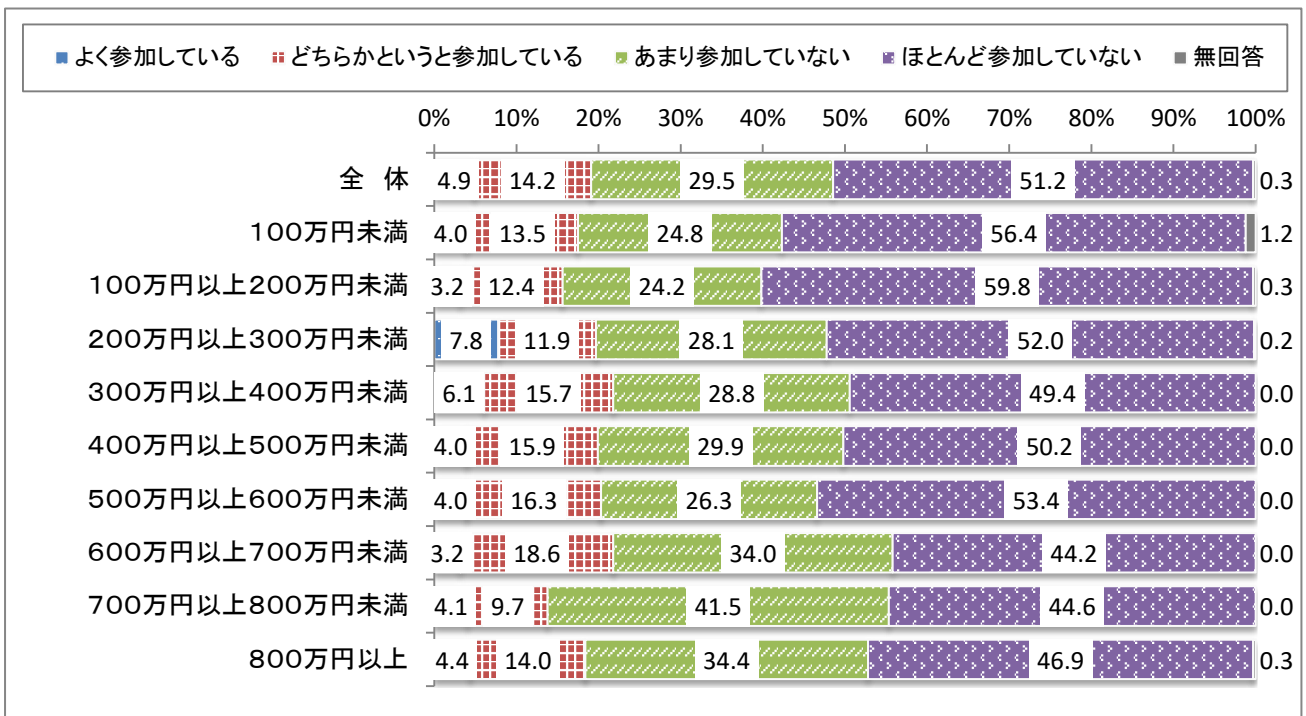
図表Ⅱ-2-93 地域活動への参加の程度（年代別）



図表Ⅱ-2-94 地域活動への参加の程度（性別）



図表Ⅱ-2-95 地域活動への参加の程度（世帯年収別）





**(3) 困ったときの相談先を知っている程度 (問2-1-3)**

困ったときの相談先を知っているかについては、「ほとんど知らない」(41.5%)の割合が最も高く、次いで「あまり知らない」(34.8%)、「どちらかという知っている」(18.5%)、「よく知っている」(4.9%)となっている。

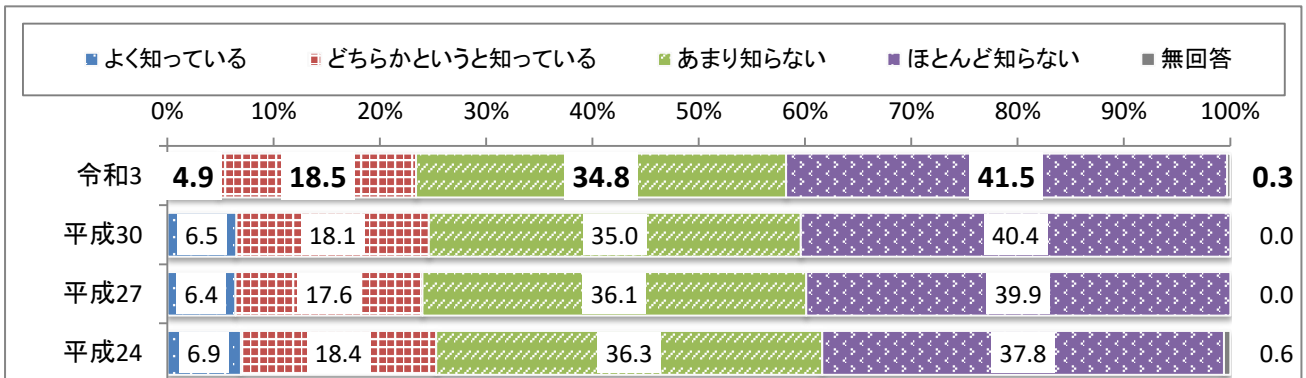
過去3回の調査と比較すると、大きな変化はないが、「ほとんど知らない」の割合が4割に達し、上昇している。地域別にみると、八重山・北部は知っている割合が3割以上で高いが、那覇市は2割未満と最も低くなっている。那覇市の「ほとんど知らない」の割合は5割超で高い。

年代別にみると、年代が上がるとともに知っている割合が高くなる。10代・20代の「ほとんど知らない」の割合は5割となっている。

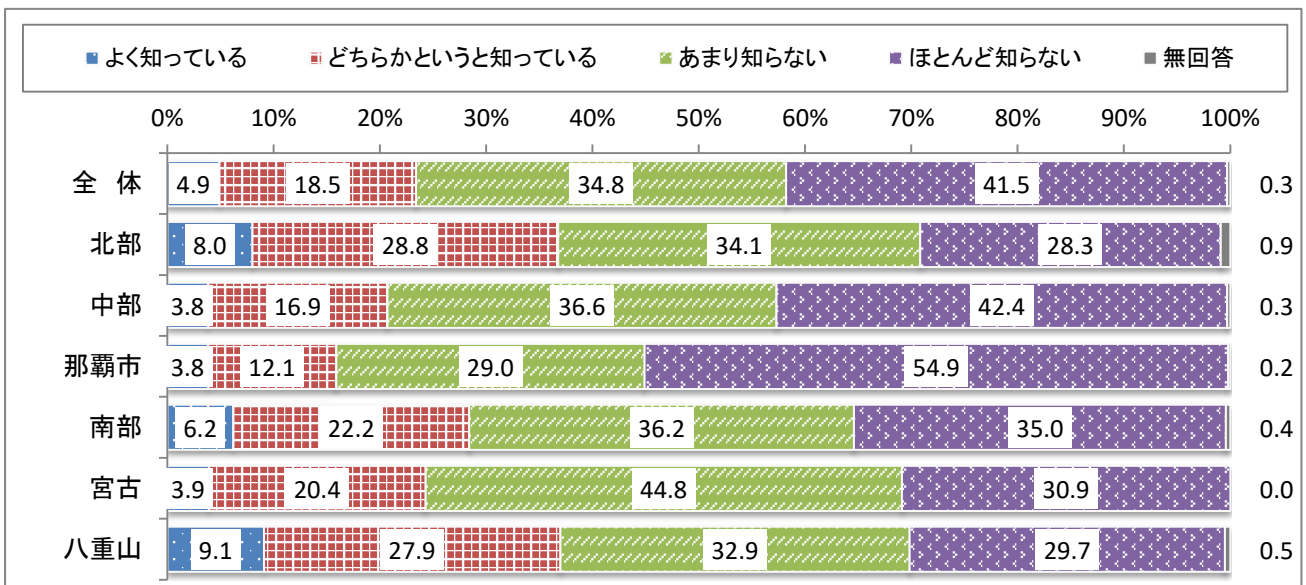
性別でみると、女性より男性の知っている割合が若干高くなっている。

世帯年収別にみると、知っている割合は年収600万円以上700万円未満の世帯が最も高い。「ほとんど知らない」の割合は、100万円以上200万円未満(45.2%)が最も低い。

図表Ⅱ-2-96 困ったときの相談先を知っている程度 (時系列比較)



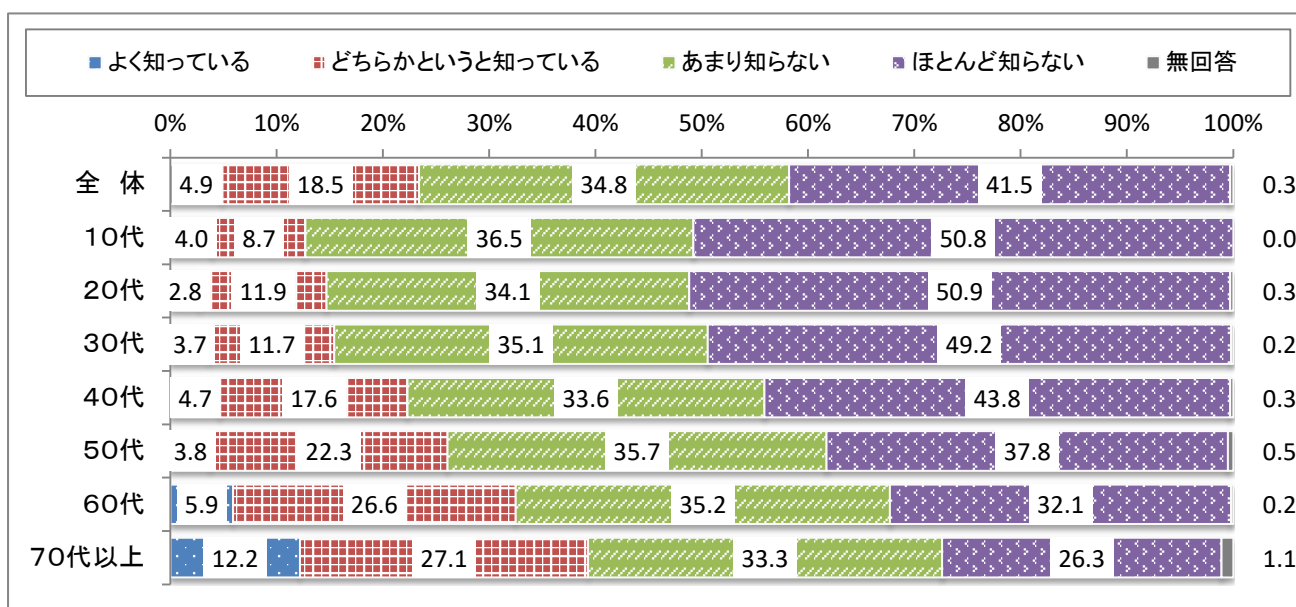
図表Ⅱ-2-97 困ったときの相談先を知っている程度 (地域別)



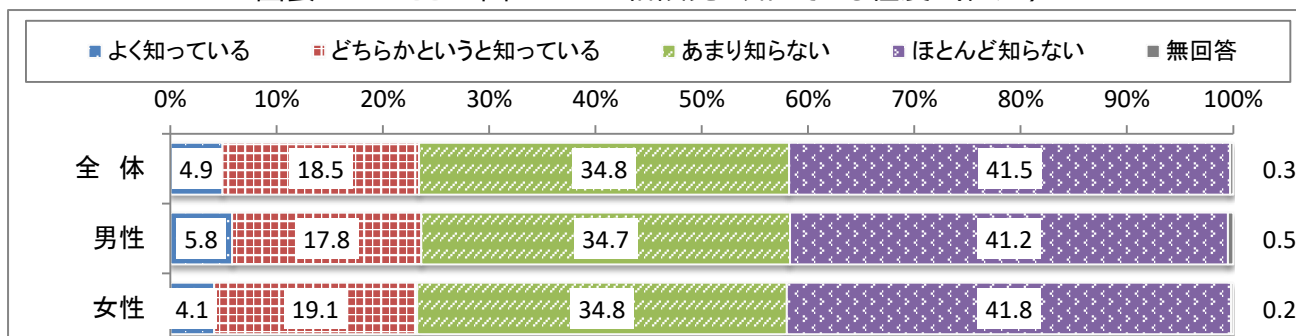


## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

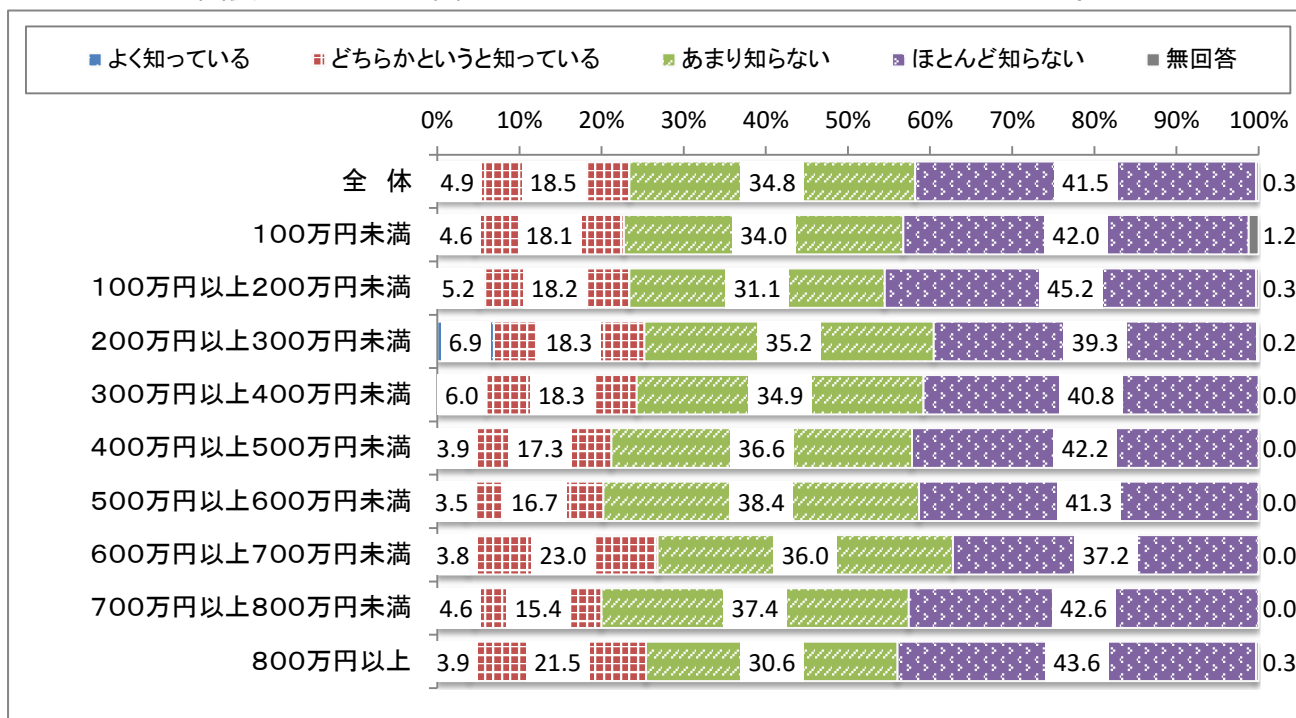
図表Ⅱ-2-98 困ったときの相談先を知っている程度（年代別）



図表Ⅱ-2-99 困ったときの相談先を知っている程度（性別）



図表Ⅱ-2-100 困ったときの相談先を知っている程度（世帯年収別）



**(4) 地域の交流のあり方に対する希望 (問2-2)**

希望する地域の交流のあり方については、「挨拶程度の交流がある地域」(37.7%)の割合が最も高く、次いで「日常的な交流もある地域」(33.0%)、「困ったときに助け合える地域」(25.5%)、「近隣の方と交流のない地域」(3.3%)となっている。

過去3回の調査と比較すると、「困ったときに助け合える地域」の割合が減少し、「挨拶程度の交流がある地域」の割合が上昇している。

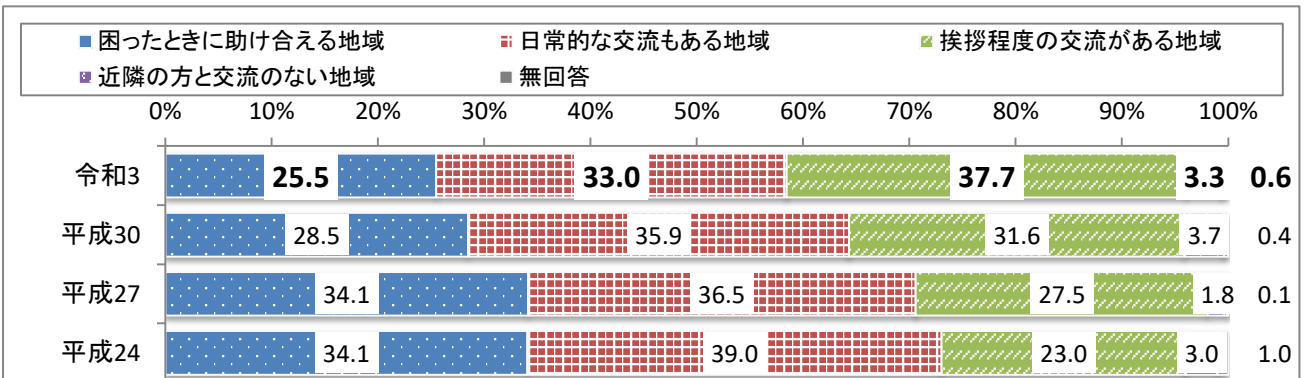
地域別にみると、宮古の「困ったときに助け合える地域」「日常的な交流もある地域」の割合が75.7%と最も高く、那覇市は「近隣の方と交流のない地域」の割合が4.2%と最も高い。

年代別にみると、10代で「困ったときに助け合える地域」の割合が3割強で最も高く、他の年代では2割台に留まっている。20代は「近隣の方と交流のない地域」の割合が他年代よりも高くなっている。

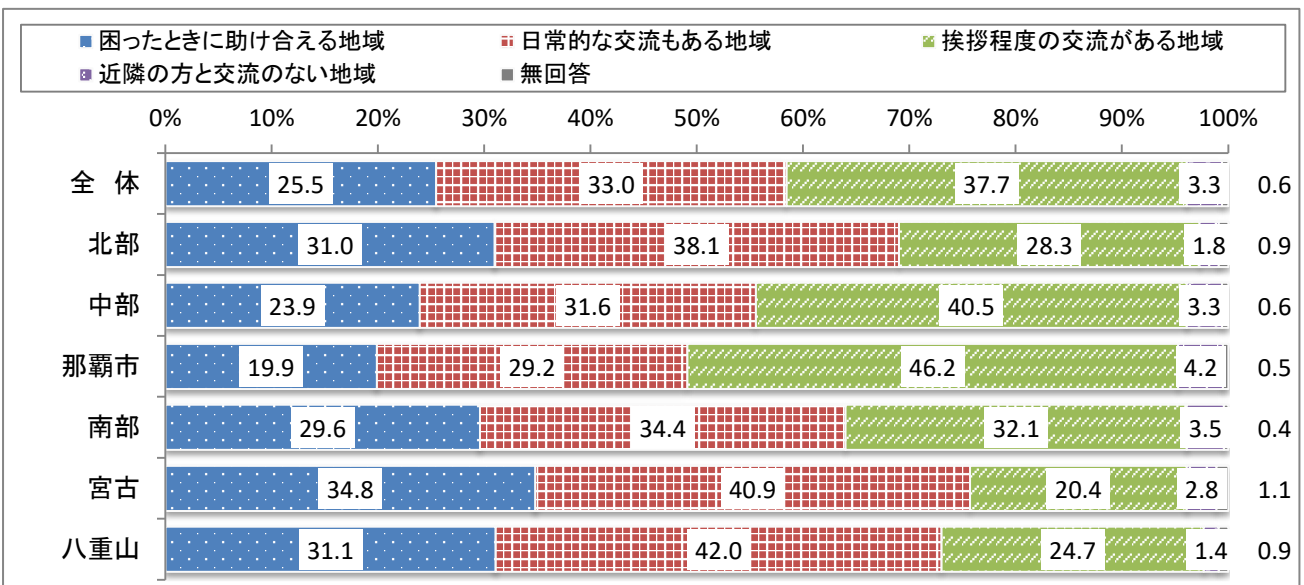
性別でみると、男性より女性が「困ったときに助け合える地域」「日常的な交流もある地域」の要望が若干高い。

世帯年収別にみると、「困ったときに助け合える地域」の割合は、年収800万円以上(29.8%)が最も高い。

図表Ⅱ-2-101 地域の交流のあり方に対する希望 (時系列比較)

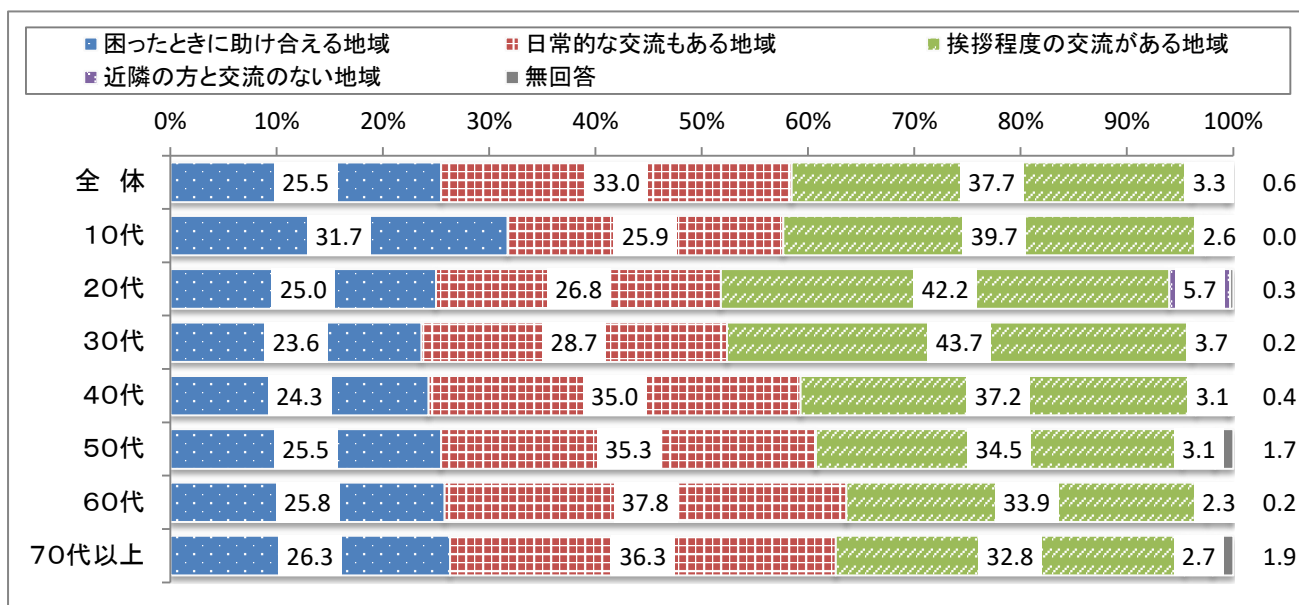


図表Ⅱ-2-102 地域の交流のあり方に対する希望 (地域別)

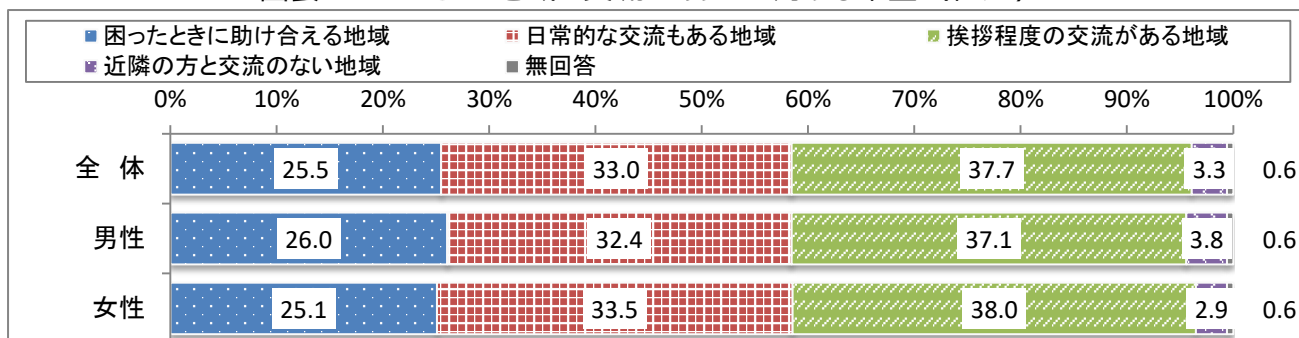


## II 本調査の結果 第2章 県民の自己像

図表Ⅱ-2-103 地域の交流のあり方に対する希望（年代別）



図表Ⅱ-2-104 地域の交流のあり方に対する希望（性別）



図表Ⅱ-2-105 地域の交流のあり方に対する希望（世帯年収別）

